桜美林学園創立100周年記念
桜美林学園同窓会創立65周年記念誌

# 桜美林学園同窓会
# 65年の歩み

桜美林学園同窓会

桜美林学園創立100周年記念
桜美林学園同窓会創立65周年記念誌

# 桜美林学園同窓会
# 65年の歩み

桜美林学園同窓会

桜美林学園創立100周年記念
桜美林学園同窓会創立65周年記念誌

# 桜美林学園同窓会
# 65年の歩み

桜美林学園同窓会

# ご挨拶

## 同窓会創立65周年記念誌 発行によせて

桜美林学園　理事長
**小池　一夫**
（71大英）

2021年は、桜美林学園にとって記念すべき節目の年に当たります。桜美林学園が創立されて100周年、桜美林を心から愛する人々の集まりである同窓会が創立されて65周年を迎えました。日頃から学校とは、そこで学んでいる学生や生徒、教職員の方々だけで成り立っている訳ではなく、卒業生や保護者の方々、その学校と関わりを持つ様々な人々の協力のもとに成り立っているものと考えています。とりわけ同窓会の存在価値は極めて大きいと思っています。

同窓とは文字通り「同じ窓の下で学ぶ」という意味で、「同じ学校または同じ先生に学んだこと。また、その人。」（精選版　日本国語大辞典）と定義づけられます。「窓」は「比喩的に外と内をつなぐもの。」（広辞苑）と定義づけられているように、譬えにも使われることから、学校で学んだことを卒業後に外の世界において活用するという、まさしく安三先生の提唱した「学而事人」の精神と相通ずるものと考えられます。「窓の雪」や「窓の蛍」のように中国の故事にも「窓」が登場します。両者は共に「苦労をしながら学問をする」ことの譬えに用いられます。学問を志す貧しい人々が書を読むために雪明かりや蛍が放つ光を光源として集めて、それを頼りに学問に励んだと言われています。そのような同じ窓の下で切磋琢磨した仲間こそが真の同窓生なのです。

学生生活において苦楽を共にした卒業生であればこそ、その学びの場であり、自らを育ててくれた学校こそが、その後の人生において強い心の支えとなり、懐かしい思い出の詰まっている大切な宝のような場でもあるものと思います。私にとっての桜美林大学はまさしくそのような掛け替えのない大切な心の拠り所となっています。私は『同窓会だより』にも書かせてもらったように教員として48年間、学生の時を含めると52年間を桜美林で過ごしました。幸運にも人生の大半を桜美林と共に歩むことができました。そして2021年４月に理事長職を拝命することになりました。

本学園の多くの同窓生の方々が国内外において各方面で目覚ましい活躍をされていることを知るたびに、大変誇らしく思っています。本学園が引き続き質の高い魅力溢れる教育環境を整えて、社会が真に求めているような優れた人物や立派な人材を次々と輩出することこそが本学園が責任をもって果たすべき使命であると考えます。創立100周年を迎えたこの時期に、これまで歩んできた教育の足跡を振り返りながら、この先本学園が取り組むべき教育方針を明確にすることが強く望まれます。

引き続き同窓生一人ひとりがいつも誇りに思えるような、心の拠り所となるような、みんなに愛される、そのような桜美林学園であり続けてほしいと心から願っています。

## 記念誌発行のご挨拶

桜美林学園同窓会　会長
**山本　美浩**
（86大中・82高校・79中学）

2021年（令和３年）５月28日、桜美林学園はその前身である中国北京崇貞学園から数えて100周年を迎えました。1965年から1969年にキリスト教新聞に掲載された清水安三先生執筆の「起きろ石ころ」には、「学園の前身は北京の崇貞学園で、さらにこの崇貞学園の創成期時代が、すなわち奉天の児童館だったといってもよいであろう」という一節があります。桜美林学園の創成は1918年の奉天（現中国遼寧省瀋陽）までさかのぼることができます。

清水安三・郁子先生が敗戦により中国から引き揚げて山口県仙崎港を経て東京に到着した翌日、昭和21年（1946年）３月23日、賀川豊彦先生との偶然の再会により今の町田キャンパスの地を紹介され、その年に桜美林学園は設立されました。

同窓会は、学園設立から10年後の昭和31年（1956年）に桜まつりと合わせて開催されたのが始まりで、令和３年に65周年を迎えました。清水安三先生が自ら執筆、編集されていた『復活の丘』は、当時は学園広報誌として第１号が1955年８月に発行され、昭和58年（1983年）第134号まで続きました。それ以降は同窓会誌として引き継ぎ、その後『同窓会だより』と誌名は変わりましたが第205号まで歴史を重ねています。同窓会の活動は、『復活の丘』、『同窓会だより』の発行をはじめ、「桜まつり」、「総会」、「リ・ユニオン」、「傘寿・喜寿・古希・還暦祝い礼拝」、「成人の祝い礼拝　茶話会」などイベントの開催、また全国支部設立、支部リ・ユニオン開催支援、大学祭、中高文化祭への参加など、同窓生と在校生、学園を結ぶ懸け橋として活動を継続しています。

今までの同窓会記念刊行物は、『復活の丘　復刻版１、復刻版２』、『せんかた尽くるとも（清水安三先生説教・講話集、桜美林学園史跡探訪）』、『創立者者清水安三先生生誕120年新聞』などを発行してきました。

今回、学園創立100周年を記念して、改めて同窓会活動の歴史を振り返り、同窓生の皆さま、今後の同窓会をささえていかれる未来の同窓生の皆さまに残す貴重な資料として、同窓会100周年実行委員会記念誌プロジェクトメンバーが中心になり本誌を発行することができました。発行にあたり、学園関係者の皆さま、貴重な写真等の資料をご提供頂きました同窓生の皆さまに改めて御礼申し上げます。

中国北京朝陽門外の陳経綸中学には清水安三先生の胸像が設置されています。広い中国でも日本人の胸像が置かれている学校は他にはないでしょう。古代中国の「仁・義・礼・智・信」五常の教えに、さらに人間にとって最も大事な徳目「望」を加え六倫とされた清水安三先生の教え、まさに「せん方尽くれども、希望（のぞみ）を失わず」という思いを受けつぐすべてのオベリンナーの皆さまにとって、本書が第二のふるさとである桜美林学園、学園同窓会を理解する一助になることを祈念いたします。

荊冠堂


同窓会創立65周年記念誌
発行によせて　桜美林学園 理事長　小池　一夫

記念誌発行のご挨拶　桜美林学園同窓会 会長　山本　美浩


## 学園創立 100 周年


１．崇貞学園の歴史 …… 2
２．崇貞学園・桜美林学園の創立者
清水安三先生・清水美穂先生・清水郁子先生　紹介 …… 5
３．桜美林学園創立 …… 7


## 同窓会の始まり


４．桜まつり …… 9
５．同窓会の成り立ち …… 10
６．初期の活動 …… 11
７．桜美林東京クラブと同窓会室 …… 14


## 同窓会活動


８．霞が関ビルでの総会・お誕生祝会
（初めての学園外総会開催） …… 16
９．学園創立 30 周年記念同窓会総会
（周年事業の始まり） …… 16
１０．総会＆リ・ユニオン …… 18
リ・ユニオン開催一覧 …… 32
１１．郁子先生レリーフ除幕式／安三先生銅像建立 …… 34
１２．役員経験者　同窓会の思い出 …… 36


## 行事活動


１３．大学祭参加 …… 41
参加記録 …… 42
１４．中高文化祭参加 …… 43
１５．賀寿（傘寿・喜寿・古希・還暦）祝い礼拝 …… 44
賀寿祝い礼拝一覧 …… 46
１６．成人の祝い礼拝 茶話会 …… 47
成人の祝い礼拝 茶話会一覧 …… 49


## 組織活動


１７．第一次支部会（発足・活動） …… 51
１８．第二次支部会（発足・活動） …… 52
支部会一覧 …… 57
１９．学生を応援・成果表彰 …… 60
成果表彰一覧 …… 61


## 広報活動


２０．発行誌の歴史 …… 63
２１．『復活の丘』復刻版 …… 64
２２．『せん方尽くるとも』 …… 65
２３．「創立者清水安三先生生誕百二十年新聞」 …… 65
広報誌一覧 …… 66


## 巻末資料


理事長・学園長・校長一覧 …… 68
安三先生語録 …… 69
校歌 …… 72
旧荊冠堂と校章 …… 74
学園建物・史跡由来 …… 76
桜美林学園創立 100 周年記念 同窓会記念事業 …… 84
歴代同窓会会長・副会長一覧 …… 86

御礼 …… 87


※本誌では、同窓生の卒業年を下記のように表記しています。
例：1965年度高校卒 ⟶ 65高校
1965年度短期大学英語英文科卒 ⟶ 65短英
1985年度大学経済学部経済学科卒 ⟶ 85大経

復活の丘 桜美林教会

信望愛

朝陽門

# 学園創立100周年

この度の学園創立100周年記念同窓会創立65周年記念誌発行については、文中の清水安三先生の語り口をできるだけそのままに読んでいただきたいと考え、『復活の丘』内の引用文を現代文に直したり、口調を変えたりしておりません。『復活の丘』は安三先生が原稿をご自分で書かれていた発行物です。当時の安三先生の講話を聴かれた方も、音声を聞いたことがないという方も、文章から安三先生を感じることが出来る記念誌となっております。

# 1．崇貞学園の歴史

## 創立者清水安三先生と賀川豊彦氏(初代理事長・教育家)の出会い

### 賀川さんと私

確か大正八、九年(1919年～)の頃であった、賀川豊彦氏は北京へ来遊せられたのは。私とはその時以前に於いては一面識もない間柄であった。…私は万寿山だの大和殿だの、それから天壇を案内したり、中国の学者、社会主義者にお引合せしたりした。そしてまたご希望で、中国のスラムを共に視察した。その折、たしか天橋の泥棒市場を見物している折だった。「僕が、君だったら、シナの貧民窟に飛び込むがネ」といわれた。当時は私はまだ何の事業をも開始せず、専らシナ語を勉強していたんだが、私が後年貧しい人々の住む朝陽門外に学校をたて天橋のスラム街に、愛隣館を建設したのも、元をただせばその折の賀川さんの示唆に依るところが多かった。

『復活の丘』第44号/1960年5月15日

| | |
|---|---|
| 1921年 5月28日 | 北京朝陽門外に崇貞工読女学校設立 |
| 1936年 3月 | 崇貞学園大増設（７０００坪の土地、講堂、理化教室） |
| 1941年 4月 | 崇貞学園に日本人部を作り、女学校となる。 |
| 1945年 8月 | 北京市政府教育局により崇貞学園を接収される。 |

＊賀川豊彦氏(1888年～1960年)
中学三年時に受洗し、伝道者を志す。1920年の自伝的小説『死線を越えて』がベストセラーに。
崇貞学園創立前に、上記の出会いがあり、「美穂先生(安三夫人)はすっかり賀川崇拝者となり、亡くなる前日にわざわざ賀川先生に京都府立病院まで来てもらって、祈りを捧げてもらったという。――小林茂著『東支那海を越えて』より」
桜美林学園が創設される町田の土地を紹介し、桜美林学園初代理事長となる。

## 崇貞学園の思い出

玄(ヒョン)　次俊(ツァジュン)さん(崇貞学園卒業生)

私は崇貞学園日本人部（女学校）第1回卒業生です。当時、私たちは国土を侵され、姓名も言葉も奪われた浮草のような仮りの日本人の身分で、清水安三・郁子先生の教育を受けた韓国人でした。正式に韓国の歴史や韓国語などは教わったこともありませんでした。誰から付けられたか知らない田中という姓が戸籍に記載されて使われていました。でも、清水先生からは、一度だって田中さんと呼ばれた覚えはありません。

むくげ(槿花一木槿)

清水先生の教育方針は、50年前、既に旧い公教育に先行していました。「キリスト教主義による国際的教養人の育成」、この教育目標は崇貞学園から始まり、桜美林に継承、延長されていると思います。『復活の丘』（第139号）に載っている村田幸郎先生の寄稿「中高一貫と国際教育」を意義深く読みながら、在りし日の清水両先生の覇気満々とした水準の高い講義ぶりが思い出されました。率直に言いますと、あの時は、私たちには理解できない点もありました。教育の先駆者と言われた立派な先生の理想教育を受容する実力がなかったのです。

特に、郁子先生は日本一の女流教育者と定評されていて、『男女共学論』や『女性は動く』などの有名な著書には、女性参政権も唱え、優れた女性運動の先駆者の一人であったと記憶しております。旧い日本の教育、詰め込んで同型の人間を造る教育には徹底的に反対なさいました。知識より先ず人格の陶冶、また一人一技、即ち、神様が人間に与えてくださるそれぞれの賜物にたとえ、(コリント第1・12章)教育目標を聖書に基づいた学道愛人(道を学び人を愛す)学而事人(学んで人に事える)の教訓を強調、実践なさったのです。

たちあおい(立葵)

夏になると、学園の校庭には色とりどりの立葵(たちあおい)がいっぱいに咲き乱れます。先生は2、3人の韓国の学生だけに「この葵の花に似ている花を知っているかね」と問われました。が、答える人は誰もいません。「本当に知らんのかね」と、反問されたのです。「むくげ(槿花一木槿)という花で、朝鮮の国花だよ。薄紫色の槿花だが、茎には虫がよくつく。虫はつくが虫には負けず、きれいな花を咲かせる強い花だ。」と、教えてくださいました。あの時代は、朝鮮国内ではむくげの花を見ることができませんでした。植えるのも禁止され、植えてある木も根こそぎ掘り出されてしまった時代で、罪のない植物の花まで難を受けなければならなかった時代でした。

安三先生が校名を崇貞と名付けられた由来は、貧しい中国の女児たちが安い価で貞操を売るのを嘆いて、貞操こそ命であり、尊いものだということを教えるために、「崇貞至高貞是不二也」(崇貞は至高なり、貞是れ不二也―貞操を崇めることは最高のモラルであり、貞操は二つとない尊いものである。)と説かれました。この校名に縁のあるのが春香伝という朝鮮李朝時代の古典の物語です。学園では年中行事の一つとして学芸会が行われます。この時には必ず上演されるのです。脚本台詞は安三先生が中国語に訳され、出演は中国人部の生徒が交代でやりました。粗筋（あらすじ）は、ある有夫女が、あらゆる誘惑にも屈せず、命を賭けて貞操を守る烈女の伝記です。東洋人の中で朝鮮女性が特別貞操観念が強いとか、沈清伝という物語に出て来る孝行娘のことや、私たちが聞いたことのない朝鮮古典文学を面白く教えてくださいました。

1970年8月、安三先生を囲んで、25年ぶりにソウルの古宮秘苑で、20数名の崇貞の同窓生が集まり、意義ある歓迎会を開きました。

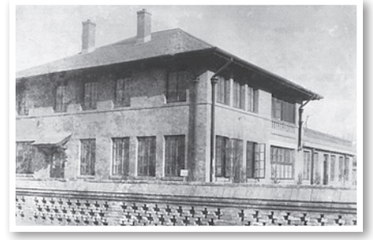
翌日、ホテル会合の時、突然、重大な発言をなさいました。その晩一晩中お考えになったことで、ソウルに崇貞学園を建てようという夢を描かれたそうです。先生のお話では「私個人が犯した罪ではないが、朝鮮に対しての少しばかりの償いとして何か残したい。それには失った皆さんの母校、崇貞を韓国に建てるのも素晴らしい夢ではないか」と先生の言葉には力が入っていました。お年八十歳の先生の夢が、お年にかかわらず永久に若く燃ゆるのを見て、さすが偉い先生だなあ、と感嘆しました。

『同窓会だより』151号/1993年10月15日

## きっかけは安三先生のひと言

高橋　幸枝さん(元 崇貞学園職員・桜美林学園診療所医師)

その当時私は先生の資格は持っていないですよ。でね、私が一生懸命やるもんだから、まあ、清水夫妻の秘書みたいな形で。秘書ってったって雑用よ、身の回りの世話したり。それで先生と一緒によく学校とそれからあの一医療の慈善「愛隣館」やってましたでしょ。そこへ先生と一緒に行ったんですよ。それからもひとつ、作業場っていうか、要するにあの頃は貧しい女の人たちには売春以外に仕事がない、そういう人たちに仕事を与えること、それから貧しい人に医療をしてあげること、それと教育と三つが柱だったわけですよ。私が先生と「愛隣館」というところの医療をやっていて、きったない人たちがいっぱい来るんだけれども、でもいい仕事だなと私は思ったわけ。でね、医者がなかなか無いんですって。で、先生に「どうしてこんなにいい仕事なのに人来ないんでしょうね？」って言ったら、安三先生が「安いから人来てくれないんだよ、金出さないからだ。」ってこう先生おっしゃったの。「ああそうですか。」と言ったら先生が、「あーた、医者になりなさい。」って言われたのよ。私はねえ、突然だったから考えてもみなかったからね。それからだいぶ経ってからでしたよ。そんなにねえ、いい仕事なのにやれる人がないなら、出来ることならやってみようかなって。その頃私学校出てから10年も経ってましたのよ。26歳か27歳くらいの時に。そしてそしたら「あんたやったらいいよ」って。したら郁子先生が「高橋さんいなくなったら困るじゃないの。あんたどうするのよ。」って喧嘩(笑)。そう、雑用係に抜けられちゃうと。つまんない雑用をする人がいないわけですから。でも、「あんたやったらいいよ。」っていうからやろうと思ったんだけど、だからねぇ、私先生は恩人だと思っているんです。先生のすすめがなければ医者になんてならなかった。



愛隣館

愛隣館の内部

※そして高橋先生は日本へ帰国され猛勉強ののちに福島の医大へ入学され、1953年5月桜美林学園診療所に勤務。後に神奈川県の秦野病院理事長となられました。

『同窓会だより』193号/2015年4月15日

**美穂先生の碑**　　**馬（マ）　淑秀（シュクシュウ）さん（崇貞学園卒業生）**

清水安三先生が北京で教育に励んでおられた崇貞学園の卒業生で後に崇貞学園の先生をしておられた馬淑秀さんは、安三先生の先夫人美穂先生が亡くなられた時、そのお墓に次の様な碑文を記したことで知られています。

原文

清水美穂一生不求自己之
学校三分之一為丈夫三分
之一為児女其一生未着珍
貴衣履所用之物皆係友朋
所贈之舊者不幸早歿臨終
時嘱日将白骨帯往中国
葬埋此為我対於中国最後
之供献

安三先生と畏三先生（第５代理事長）

和訳

故清水美穂は自己の安楽を求めず、その生涯の三分の一を崇貞学園のために、三分の一を夫のために、残る三分の一を子女のために献げ、一生人々から古着をもらって着て、身に美服をまとわなかった。そして臨終のさい、「私の白骨は中国へ持って行って埋めて下さい。それが私の中国に献げる最後のものですから」と遺言した。（「朝陽門外」より）

『同窓会だより』152号/1994年６月１日

朝陽門



## ２．崇貞学園・桜美林学園の創立者 清水安三先生・清水美穂先生・清水郁子先生　紹介

### 清水安三先生

1891年（明治24年）６月１日 滋賀県高島郡新儀村大字北畑（現在高島市）に生まれる。
清水家は、代々庄屋であり米蔵７棟を持つ富裕地主であった。６歳の時父親を失うが母親の愛情と賢い子育てに育まれ、それが将来先生自身の教育学の基ともなった。

#### 若き日に影響を受ける

**中江藤樹**
1608年　近江国高島郡（現在の滋賀県高島市）に生まれる。
教育家として、生涯を歩む。江戸時代初期の儒学者。朱子学から陽明学に転向し「致良知」を唱えた。近江聖人として奉られた人物であり、安三先生の一生の心の師。６歳の時伯父さんに連れられ藤樹祭・250年忌に行くと時の総理大臣伊藤博文が来た。目前で藤樹像に深々と頭を下げた。総理大臣に頭を下げさせる藤樹さんとは、何と偉い人なんだろう、よしわしも藤樹さんになってこまそう。と思った。

**ウィリアム・メレル・ヴォーリズ**
1880年　アメリカ合衆国カンザス州に生まれる。
1905年　滋賀県立商業学校に英語の教師として赴任。安三先生が通う膳所中学校の英会話の授業も担当。キリスト教の東洋伝道に献身。安三先生は、ヴォーリズ先生を通してキリスト教に出会い日本組合大津教会で洗礼を受ける。近江ミッションを設立。ヴォーリズ建築事務所はその一つである。
1938年に帰化し「一柳米来留（ひとつやなぎ　めれる）」と改名。

**新島襄**
本名新島七五三太（シメタ）1843年　安中藩主板倉公の江戸屋敷　神田一ツ橋で生まれる。同志社大学の創立者。安三先生は、新島先生の教育方針を目指した。
崇貞学園、桜美林学園を通して教育理念となった「学而事人」学んで人に事（つか）えるは新島先生の徳育教育・使命教育を目指している。「大学設立こそは少（わか）き日に新島襄に享けし夢かも」の石碑が学園内に設置されている。

**僧　鑑真**
688年　中国　揚州に生まれる。
唐招提寺を建立。鑑真は５度の日本への渡海に失敗。過酷な渡海で失明するにもかかわらず志を貫き753年６度目に来日を果たす。日本に帰化して授戒にその生涯を捧げた。安三先生は、同志社大学卒業の年、唐招提寺を訪れ、鑑真に感動しその心意気に「わいこそは、日本の鑑真になってこまそう」と志を立て中国に渡る決心をした。

1917年　安三先生　キリスト教の伝道者として　中国に渡る。
1921年　北京朝陽門外に住む悲惨な中国貧民の生活、売春に生きる娘たち。貧困にあえぐ子女に手工芸をしながら学べる半工読の崇貞女子学園を設立。その教育姿勢が評価され「北京の聖者」と称された。
1946年　敗戦により帰国。後妻の清水郁子先生と共に東京都町田市に「キリスト教主義に基づく国際的な教育人育成」を建学の精神とする学校法人桜美林学園を創立。「学而事人」は清水安三先生が終生大切にした言葉であり、学園のモットーとなっている。
1988年１月17日
急性心不全により召天　96歳

（『石ころの生涯』・『希望を失わず』より）

### 清水美穂先生

1896年（明治29年）7月23日　滋賀県彦根市に生まれる。

彦根藩士　横田耕太郎の長女。祖母は井伊家に仕え家老に次ぐ役職であった。彦根高女在学中にキリスト教に出会い洗礼を受ける。同志社女学校普通部を経て、大正7年3月同家政科を卒業。同志社系の牧師や学生との出会いがあり　清水安三先生と出会う。大連基督教会にて結婚（24歳）。奉天で南満医大病院看護婦学校講師。北京で夫を助けて飢餓被災児の救済に従事。崇貞女学校では恩師ミス・デントンを理想としながら、図画、手工芸、裁縫、体操などを教えた。

1924年安三先生の留学に同道して渡米。働きながらもマクドゥエルカレッジで洋裁を学び卒業。帰国後米国で習ったフランス刺繍を応用した品を生徒と作り、経営資金を得る。1932年京都で我が子、2男1女の教育に専念。 積年の無理がたたり病状が悪化。

1933年12月19日　結核により召天38歳

（『石ころの生涯』より）

美穂先生と家族
1918年（大正7年） 5月28日 横田美穂と結婚
1921年（大正10年）長男・泰 誕生
1922年（大正11年）長女・星（星子）誕生

### 清水郁子先生

1892年（明治25年） 9月13日 島根県松江市に生まれる。本名 小泉イク。

13歳の時にキリスト教会の日曜学校に通う。東京女子高等師範学校在学中の23歳で、洗礼を受ける。成績優秀でいつも首席。卒業後教職に就く。その後　当時女性の入学が認められていなかった東京帝国大学の授業に聴講生として参加。1920年　28歳で米国オハイオ州のオベリン大学神学部、大学院に学ぶ。卒業式では代表演説をする栄誉を担う。

帰国後、当時としては極めて進歩的な「男女共学論」を唱え日本の教育界で言論活動を展開。国内に留まらず国際的な女性運動の舞台でも、日本代表として活躍。

美穂先生の召天の後、幼い子供たちのためと、崇貞学園を共に発展させていく為のパートナーを求めていた安三先生と、1936年結婚。 安三先生と共にたくさんの中国人、朝鮮人、日本の生徒を教育。優秀な学生には日本留学支援も行う。協力して崇貞学園及び桜美林学園の教育事業に献身。創立間もない桜美林はアメリカ政府からもさまざまな援助を受けた。国際的な教養と語学力の持ち主である郁子先生は、アメリカの関係者との交渉も行った。

高い理想を求め実践する為に　崇貞学園、桜美林学園を築き上げて来た。

1964年6月24日 脳溢血により召天71歳

（『石ころの生涯』より）

郁子先生と家族
1930年代後半（昭和10年代半ば）
左から安三先生、泰さん、郁子先生、
星子さん、畏三さん

## 3．桜美林学園創立

### 賀川さんと私（清水安三先生）

終戦後1946年（昭和21年）3月19日朝無一物で中国より山口県仙崎港に着いた。3日後の3月22日、私共は背に大きいリュックを負うて、午前五時と云うに、東京へ着いた。…翌日すなわち3月23日、私は一ヵ月もお湯に入っていなかったので、 江戸の名物朝風呂へ行くことにした。ＹＭＣＡの前の錦湯へ行き…明治書院という出版屋の前まで来ると、小川町の方から賀川さんがやってこられるではないか「やあ、賀川先生」「おお、帰ってきたか。生きて帰れてよかったネ」「…」「これから君は何をする？」「農村に学校と教会と病院を建てたいものだと、夢を見てるのです」「そうか、それじゃ僕が学校にでも病院にでもなる建物を紹介してやる」私は早速、賀川さんの秘書の小川清澄君に伴われて、東京郊外南多摩郡忠生村へやって来た。恰も吉野桜が満開だった。

『復活の丘』第44号/1960年5月15日

1946年 5月　桜美林学園開校式　桜美林高等女学校設立認可
1947年 3月　桜美林中学校設立認可
1948年 3月　桜美林高等学校設立認可
1950年 3月　桜美林短期大学設立認可
1951年 3月　学園・財団法人を学校法人に改組
1966年 3月　桜美林大学設立認可
1968年 3月　桜美林幼稚園設立認可
1992年 3月　大学院設置認可

### 復活の丘

「学園の立てる丘を以前は「並びが丘」と称したのだそうな。「復活の丘」の名称は故郁子先生が名付けたものである。学園は創立以来、復活の祭の朝早暁、この丘の頂にある丸木の十字架の下で昇天祈祷会を持つのを年中行事の一つとなしている。何故にこの丘を「復活の丘」と名付けたというに、それは桜美林学園そのものが北京崇貞学園の復活したものだからである。」

『復活の丘』第77号/1966年4月29日

創立者 清水安三先生と清水郁子先生

川上ヨシ先生　橋本英雄先生　水町京子先生（歌人）

三到図書館

# 同窓会の始まり



## 4．桜まつり

### 桜まつり　空前の父兄会

1957年4月28日には学園の桜まつりが催された。午前9時から創立11周年の記念式が持たれた。園長清水郁子女史は「まず神の国の義を求めなさい。然らば凡て必要なものは悉く興えるであろう」（マタイ伝6章33節）という聖句を選んで、「この聖句に依りて進みましょう。」と述べ、過去十年間の歴史は学園は実に奇跡の連続であったこと。この間、教員諸兄姉がよくも乏しきに耐えて今日までやって来て下さったものだと述べた。

それよりピアノ独奏、独唱、バレエ、ヴァイオリン独奏、卒業生の飛び入りの合唱などあって、後に「寮の英雄達」と題する劇が演ぜられた。…午後2時からは、父兄会が持たれたが、来会者は実に243名で、絶後ではなかろうが空前の大集会であった。…父兄会とはまた別に、卒業生の同窓会が開かれた。当日は花曇りの曇天であったが雨は降らず在学生との野球試合、排球競技などグランドに於いて行われた。

『復活の丘』第18号/1957年5月1日

### 吹聴

今年ほど学園の桜がタイムリーに咲いた年はかつてなかった。学園には二種類の桜樹があって、吉野は4月9日入学式に、そして4月28日の桜まつりの当日には八重が最も見ごろだった。今年はうちのスクールソングの中に歌える「希望輝く桜美林に、嗚呼今春は酣に　桜の庭は花ざかり、若人たちの居るところ　学園常に栄あれ」の文句通りの状態に於いて創立記念日の桜まつりを迎えた。文字通りに爛漫と咲きほこれ、ぽたぽたとこぼれんばかりの桜花であった。今年の桜まつりには､生徒のパパさまママさんが240何名来られた。

敢えて絶後とは云わざるも、実に空前のつどいであった。そして口々に桜美林は櫻の名所としても、京浜界わいには類ないものでしょうと噂して居られた。

米国の学校には、ダッド　アンド　マザー　カミングデーという日があって、その日にはお母さん、お父さんが皆かり集められて、わが子の学び屋を訪れることがあるが、うちの学園もまた、春は桜まつり、秋の運動会には、パパもママも皆きっとお出かけ下さるのが学校行事として、持ちたいものである。

『復活の丘』第18号/1957年5月1日

## 5．同窓会の成り立ち

### 同窓会の始まりは1956年4月29日の桜まつりから

**清水郁子先生の発信**

秋季大運動会10月9日（日）本学園グラウンドに於いて開催。…猶当日各クラス毎に同窓会（レユニオン）を持ちたく存じます。

『復活の丘』第3号/1955年10月1日

**桜まつりは4月29日**

1956年父上母君来校の日　各年各同窓会、クラス会も開かるべく、また今年は創立10周年の感謝のつどいも開催。この時同窓会が始まる。

『復活の丘』第9号/1956年4月1日

**同窓会総会報告**

桜美林学園同窓会総会が1957年4月28日恒例の桜まつりの日に開催された。総会出席者71名が第4棟目2階の短大合併教室に集い、役員選出等左の通り行われた。

開会1時20分

1．議長及び書記選出で議長井上佳忠氏、書記稲葉 熙氏と決定。

1．経過報告　梅澤秀郎氏

同窓会発足以来、その活動は殆どなく今日に至った。この度母校学園では「復活の丘」に念願の鉄筋校舎が建つ事になり、同窓生有志の方々から、愈々（いよいよ）「この時こそ卒業生の活躍時である」という熱心な聲がありましたのでこれを契機に同窓会の確立をすべきであると、今日の会開催に至った。

1．役員選出

会長　　平本昌一
副会長　井上佳忠
同　　齊藤まさ
幹事　　奥脇弘久、梅澤秀郎、皿島　忍、熊野御堂潤、稲葉　熙、細野甚一、青柳節子
松本　忠、濃沼茅子、山室安子、佐藤富美、高橋重一、小澤稔慧、石川武士
久布白由紀枝、小方彦司郎、咲間玲子以上17名。　※1959年同窓会名簿にて確認

1．会長の挨拶

1．名誉会長の挨拶（この日同時に父兄大会が行われた為、あいにく名誉会長出席できず、代理）
清水先生始め、桜美林学園に学びし者全てが待ち望んでいた「復活の丘」に鉄筋校舎の建つ日が目前にやって来ましたので、卒業生の皆さんの心からの協力を得て校舎が完成されます様、ご尽力下さいます様にお願いいたします。　以上午後2時35分閉会

『復活の丘』第18号/1957年5月1日



## 6．初期の活動

### 総会・納涼祭

**総会及び納涼祭のお知らせ**

同窓の皆様、益々御健勝の事と思います。送られてまいります『復活の丘』で母校の発展、先生方の近況、級友の健在など懐かしまれている事と思います。

さて、同窓会の方も役員の皆様多忙の中を会の発展と充実の為に努力してくださいます。去る4月には定例の総会を開会得ませんでしたが次の様に納涼祭を兼ね総会を開きますので是非御出席下さいます様御案内いたします。

尚今回は級毎に集まる事に重点を置きますので久し振り誘い合っていただきたいと思います。その会で配布する予定で第一回目の同窓会名簿の作成に努力中でございますのでご期待ください。

同窓会総会及び納涼祭

一．期　日　　8月8日（土）8月9日（日）
一．場　所　　桜美林学園
一．集合及び解散　　集合　8月8日17時
解散　8月9日15時
一．主な行事　　（1）会食　（3食）
（2）音楽鑑賞（フォークダンスを含む）
（3）宿泊（毛布1枚持参）
（4）早天祈祷会
（5）同窓会総会（9日、10時～11時）
（6）記念写真
（7）水泳（水着ご準備ください）
（8）その他
一．会　費　　300円

注、納涼祭に出席できない方は総会だけでも御出席ください。

1959年同窓会名簿

『復活の丘』第36号/1959年7月15日

**第3回納涼祭を迎えて**

1959年8月8日（土）9日（日）第3回桜美林学園同窓会納涼祭を開催しました。　台風接近のために生憎の悪天候で、午後5時の受付には会長唯一人というさびしい有様でしたが、それでも遅い夕食のころまでに8人の仲間が集まって来ました。学園に在職する同窓生10名を合わせて18名に清水両先生、川上先生、川村先生、甲斐先生を交えての会食、それに引き続いての自己紹介。川上先生、川村先生の思い出話、安三先生の必ず実現される夢の話と、少人数ながらも楽しい会食を済ませた後消灯時間までを思い思いの時を過ごしました。翌9日も雨の為、新校舎屋上から相模連山を下に眺めながらの早天祈祷会を断念、小チャペルで静かな祈りのひと時を過ごしました。…10時からの総会は30分遅れて開会された。

総会

1．会長の経過報告
2．会計報告（稲葉）
3．来年度納涼祭開催方法について

『復活の丘』第37号/1959年8月15日

**納涼同窓会　今年こそは**

二、三年前から、毎夏お盆の頃に泊まり込みの同窓会が、納涼祭の名の下に開催されて来た。けれどもどういうわけか極めて集りがわるく、誠にしめっぽいニギヤカさを欠いた集いになりがちであった。そこで今年こそは、ニギニギしい楽しい納涼まつりにしようという計画で開催することにした。

盆踊りのつもりで、フォークダンスをやろうと考えても、5人や10人の集りでは踊るにも踊れんから今年は、どうか何百名という卒業生が、奮って参加せられるように。

『復活の丘』第54号/1961年7月15日

## 空前の災禍

桜美林学園は1958年（昭和33年）3月8日の火災により、講堂と炊事場倉庫製パン工場202坪を焼失。また、1969年12月24日にはタバコの投げ捨てによって旧校舎の4棟目、5棟目、清安寮が全焼と二度の火災により、講堂や校舎の再建を余儀なくされた。

## チャペル建築愈々（いよいよ）起工

学園は先月8日の卒業式の当日食堂と講堂を焼いてしまった。取り敢えず、広々とせる食堂と完備せるキッチンと火災保険金を得て早急の間に建築し、既に4月8日の入学式の当日竣工し終わった。私たちの学園に於いて講堂がなければ、学園に宗教的雰囲気を※醞醸（うんじょう）せしめることが出来ぬ。グラウンドでの青空朝拝は祈祷はせいぜい黙祷でしか行い難い。…従来学園のジュニアチョルチは全員礼拝を以て毎土曜日に行い来った、学生信徒が献金を集め、献金の祈祷を捧げるのを常としているが、運動場にて会衆が立ったままの礼拝は至難である。…そこで少し無理算段の冒険であるが、愈々講堂の建築起工を決行することにした。…その資金は既に350万円の寄付金が集積している。私学振興財団からの借款、NCCの教会堂建築費助成金、米国オベリン大学、また外国の在留日本人へ檄文が送付してあるからその内に与えられるであろう。依りてこの上乍ら皆様のご祷授の程をお祈り申上げる。

※醞醸：醸し出すこと

『復活の丘』第27号/1958年4月15日

## 講堂再建のため同窓会立つ

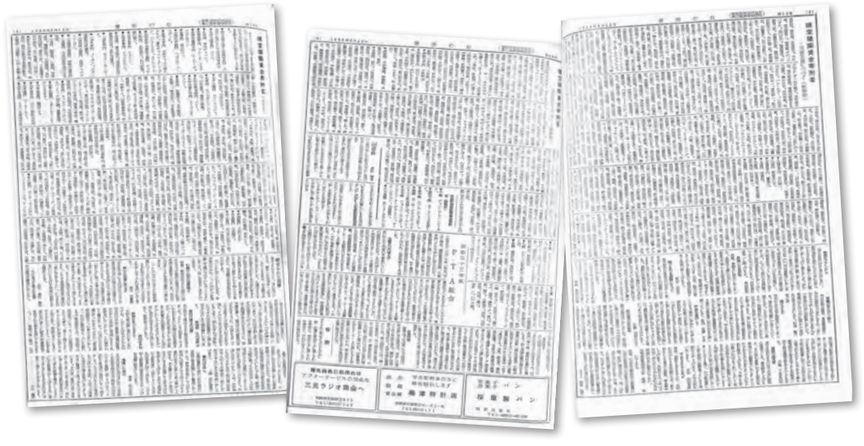
1958年3月9日桜美林学園卒業生有志40名は、学園5棟目の教室に会合して、母校講堂再建の為同窓生全部に向かってゲキを飛ばし、手分けて訪問運動を為すことを決議した。

『復活の丘』第26号/1958年3月15日

### 募金状況（中間報告）

| | |
|---|---|
| ・父兄及び在校生 | 403,470円 |
| ・PTA募集見舞金 | 111,400円 |
| ・同窓生とその父兄 | 251,979円 |
| ・外国の方 | 540,124円 |
| ・一般の方 | 745,138円 |
| 総計 | 2,052,111円 |

『復活の丘』第27号/1958年4月15日



## お礼のことば

3月8日出火の際には、一早く駆けつけ、お見舞いくださいまして誠にありがとうございました。その際には心からなるお見舞金を頂戴いたしまして、誠にありがとうございました。

…この度ここに「講堂建築特別号」を発行し、改めてご寄付をご報告申し上げ、紙上を以て深くお礼申し述べます。

…猶多数皆様のおかげにて、漸く建築資金調達の見込みがつきましたので新講堂建築の設計はヴォーリズ建築事務所に依嘱いたしました処…どうか建築工事が無事順調に進捗し得る様常にご加祷くださいます様お願い申し上げます。

昭和33年6月15日　桜美林　短大学長　清水安三
同　園長　清水郁子
同　高等学校長　川上ヨシ
教職員　一　同

『復活の丘』第29号/1958年6月15日

1969年12月24日の二回目の火事では、
練習をしていた高校野球部の生徒が学園の物品を火事から救った。

## 同窓会からのお願い

卒業生の皆様　益々ご活躍のことと存じます。さて、私共は母校がさしたる紛争もなく年毎に成長発展をつづけてきましたことを喜びかつ誇りにしていましたが、たまたま一人の通行者の無責任な行為から校舎を焼かれてしまうと言う突然の不幸に見舞われてしまいました。先ず、学園及び罹災された高校男子生徒、短大及び大学女子学生舎監及び職員方に対しては本当にお気の毒に思う次第です。しかしながら安三先生を始め諸先生方学生生徒諸君又近隣の方々の働きとご協力によって急速に復旧に向かっていることは頼もしい限りです。私共卒業生としましても、罹災者への励ましと新しい寮建設のため、できる限りの力添えをしたいと存じます。すでに学園まで歩を運び義援金をお持ち下さった卒業生や、はげましの手紙と共にご送金下さった同窓生がたくさんございますが、まだご送金していただけない方がございましたら一日も早くご芳志のほどを、この際特にお願いいたします。同窓生としての結果を示したいと存じます。

同窓会会長　平本　昌一

『復活の丘』第91号/1970年2月1日

## 7．桜美林東京クラブと同窓会室

**桜美林東京クラブについて**

たまたま本年4月の桜まつりの時、清水安三先生より桜美林東京クラブ設立のはげましがあり有志30数名の集りと賛成を得て本年6月発足の運びとなりました。　同窓会会長兼東京クラブ会長理事　平本昌一

「同志社大学の在京卒業生のために、立派な東京同志社倶楽部が銀座にある。うちの卒業生の為にも何とかクラブができぬものだろうか」と清水先生から伺った。

・・「神田神保町一丁目の林彰文堂の3階に一部屋借りて、そこに桜美林東京クラブを開きたいと思う。」・・桜美林東京クラブは、日曜祭日を除く毎日、正午から午後8時まで開かれております。まもなく宿泊設備なども整う筈ですので、上京される方も気軽にご利用いただけることと思います。

『復活の丘』第82号/1967年9月10日

**東京クラブを大いに使って下さい**

学園が町田市にあって、桜美林東京クラブという一室が神田（お茶の水）にある。距離にして随分離れているわけだが、この神田の一室に、ちょいちょい電話が掛かる。「桜美林学園というのは何処にあるのですか」「桜美林学園の電話番号を教えてください」「桜美林大学には何科と何科があるのですか」等々、これは一見何の値打ちのない事の様だけれども、やはり桜美林東京クラブが利用されていることの一つで、電話ばかりでなく部屋(8坪)も利用していただきたい。

『復活の丘』第93号/1970年8月20日

**東京クラブも移転**

1976年1月23日夜、清水安三先生から、同窓会に対する要望と、スカラシップファンド（奨学金基金）に対する構想など昔に変わらない熱意あふれるお話があった。安三先生のおっしゃるには、同窓会の充実とファンドの成果は実に「表裏一体」の関係であり、学園としては今後卒業生のアフターケアについて力を注ぐつもりとのこと。その一環として、学園内に同窓会事務局のために独立した一室を設ける、活動の充実をはかるために、神田の桜美林東京クラブの部屋は閉鎖することになった。一見撤退のように感じられるが、町田の学園、神田のクラブという同窓会事務の二重性、学園にとっても同窓会の本拠は何処かという情報系統の二重性などの不便は解消されることになる。ただし、同窓会の東京支部としての性格を持つ「桜美林東京クラブ」の組織はそのまま残り、学園にその本部を移転することとした。

『復活の丘』第115号/1976年2月20日

**同窓会室与えられる**

ここ数年来、同窓会は急速に膨れ上がり、今春の新会員は、大学英文科第一期生38名を含め、1038名で、総数は延べ8589名。これを機に念願の「同窓会室」が与えられることになりました。母校訪問の卒業生がゆっくりとくつろげる一室です。是非お立ち寄り下さいますよう。右ご案内まで。

『復活の丘』第89号/1969年7月1日

**同窓会事務室が決まる**

ここ数年来、同窓会の事務局は、学園の本部一階の応接室を仮事務所としておりましたが、このほど、学園内の明々館(短大校舎)に一室が与えられました。チャペルの左側の建物で、正面ロビー(新設の玄関からは入る)の左の階段を上ってすぐの中2階です。

『復活の丘』第116号/1976年5月25日

学園創立者 清水安三先生銅像



# 同窓会活動

## 8．霞が関ビルでの総会・お誕生祝会(初めての学園外総会開催)

日時　1972年11月12日（日）
場所　霞が関ビル35階ゴールドスター室（東京都千代田区）

### 同窓会総会の開催について(お知らせ)

私どもの学園は戦後に出来ましたから歴史的古さでは何にも誇れるものではありませんが、この二十数年間は戦後の最も困難な時でありましたのにも拘らず学長先生御夫妻を始め多くの先生方の心からの熱意ある御努力によって、幾多の難問題を越え、今日一万を超える卒業生の延人数を数えるに至りました。

同窓会は学園の創立より、7、8年遅く故清水郁子先生の御提唱によって、始められたものと記憶しておりますが、今日、ここに学園始って以来初めて、同窓生の発意により、全国の卒業生にお呼びかけして一堂に会する機会をもち得ます事を、ただもう嬉しく感激致しております。この日には、皆さんが勇んでご出席下さいますようお待ち致します。その為に暇とお金と周囲の皆様のよき御助力がありますよう祈っております。

会場は、遠くからいらっしゃる方々の事を考え、都心に致しました。

学園そのものは勿論、一万人の卒業生をもつものとして恥かしくない立派な建物が並び、創立当時とは雲泥の差でございます。お帰りに御都合のつく方は学園にお立寄り下さいませ。(所在地はもう南多摩郡忠生村ではござりませぬぞ)

若い卒業生は殊に、これからの学園のために又新しい元気に溢れたそのエネルギーを、全同窓生が望んでおりますので、会を盛大にしますためにも是非お友達をお誘い合わせの上ご出席下さいませ。

とにかく多勢御出席下さい。先生方も多勢御出席下さる予定です。

『復活の丘』第102号/1972年10月20日

## 9．学園創立30周年記念同窓会総会(周年事業の始まり)

日時　1976年11月13日（土）
場所　ホテルニュージャパン（東京都港区）

本学園の30周年を祝って記念の同窓会が赤坂のホテルニュージャパンで盛大に行われた。

当日は、日本各地から各年代の卒業生が多数出席した。恩師の先生方も多数おいでになり、約350名ほどの出席で、会場のホールも狭いほどの盛況であった。とくに、夏の高校野球で全国優勝した野球部の好意で、あの深紅の優勝旗が会場のステージに飾られ、また熱戦の記録写真も陳列され、この日は創立記念の喜びと野球優勝のお祝いとが重なって会場の雰囲気は、始まる前から熱気ムンムンといった状態。

プログラムは、第一部「礼拝」祈祷・平本昌一氏(51短英)、奏楽・桜井萌氏(55高校)、司会は小西隆雄氏(52短英)で行なわれ、第二部は引き続いて祝賀会となり藤田紀世志氏(58短英)と小椋郊一氏(57高校)の共同司会で行なわれた。…

清水安三先生は「母校の今後の発展は、ひとえに卒業生の活躍にかかっている。本日は創立30周年の祝賀会だが、創立50年、100年祭を盛大に行えるようにするには、卒業生の母校愛に大いに期待する以外にはない。卒業生が社会に出て実績をあげた経験をもとにして、学園の評議員、理事となって活躍して欲しい。大いに学園の門戸を開くつもりだ」とお話しになった。出席者一同、オベリンナーとしての自覚を胸にズンと納めたはずである。…最後は全員で輪になって懐かしい旧校歌と、現在の校歌を大合唱、清水安三先生の音頭で「万歳」の三唱、さらには安三先生の胴上げまで行われて幕を閉じた。

＊この年から5年ごとに周年事業を実施。

『復活の丘』第118号/1977年2月1日

### 野球部甲子園全国優勝

1976年夏大会初出場で初優勝を果たす。
第58回全国高等学校野球選手権大会。8月21日午後1時決勝戦。
西東京代表桜美林高校は大阪強豪・ＰＬ学園と対戦。
手に汗握る熱戦を展開。延長11回、桜美林高校は、菊池太陽くんのサヨナラ2塁打で勝利。
全参加校2890校の頂点を果たす。

| 決勝戦 | | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 十 | 十一 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ＰＬ | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 3 |
| | 桜美林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1x | 4 |

甲子園における選手権大会は思いもかけなかった優勝を遂げることが出来ましたが、これは平素から校内では安三先生を始め、先輩同僚の先生方にご理解を戴き、校外からは、一方ならぬご支援を賜ったおかげで幸を味わっているのが私のこの頃です。

時もよく、学園創立30周年の式典にさきがけて、大きな花火を打ち上げることが出来て、本当にご同慶にたえない思いです。

8月23日に、はなばなしいパレードを以て迎えられましたが、翌日から一、二年のメンバー38名は、久し振りで自分のグラウンドで汗を流し、9月中旬から始まる新人戦の準備に入りました。

どうしても改良しなければならないのは、グラウンドです。今の状態では余りにも粗末で、バックネットも今から十年前、第一回の甲子園出場の記念に、安三先生がポケットマネーで建てて下さったものですが、…これは11月のシーズンオフになったらすぐに着手するつもりです。…秋季大会は9月19日から始まり初戦は大勝することが出来ました。勝って兜の緒を締めて、来春の選抜に出場できるよう全員の力を集めて頑張ります。　(佐藤保野球部部長　記)

『復活の丘』第117号/1976年10月1日

学園のグラウンドで(8月23日)

浜田宏美監督、安三先生、橋本校長、佐藤部長

## １０．総会＆リ・ユニオン（1981年～ 2021年）

**「リ・ユニオン」とは**

「リ」は再び、「ユニオン」は結合という意味ですから、卒業後、再び集まるということで、同窓会を指します。但し同窓会の組織という意味よりも皆が集まるという意味での同窓会と考えてください。

### 安三先生お誕生祝会
### 学園創立35周年記念同窓会総会開催

**日時　1981年7月5日（日）**
**場所　池袋サンシャインビル（東京都豊島区）**

ことしは、母校桜美林学園の創立35周年にあたります。また、毎年7月には、同窓会の主催で清水安三先生のお誕生会を開いています。久しぶりに会場を都内にうつして、日本一高いビルの高い階（サンシャインビル59階）に、古い卒業生から、3月に卒業したばかりのフレッシュメンバーまで、約400名が集まりました。まず第一部として、同窓会総会を行い、①同窓生名簿の発行、②特別会費の導入などをきめました。この特別会費は、卒業後20年以上の会員の皆さんに、一口5000円の会費を納めていただくというものです。これまで会費は、卒業の時に納めてもらうだけだったのですが、これではその年度内の事業をまかなうだけで精イッパイです。卒業後20年以上の会員の皆さんのお手元には、すでに郵便で「特別会費」のお願いをしてありますので、その用紙をお使いになって、ご送金ください。

『復活の丘』第131号/1981年11月25日

### 学園創立45周年記念同窓会総会＆リ・ユニオン開催

**日時　1991年9月16日（月）**
**場所　小田急ホテルセンチュリー・ハイアット（東京都新宿区）**

今年のリ・ユニオンは、9月16日、創立者清水安三先生生誕100年、桜美林学園創立45周年を記念して、新宿新都庁舎前の小田急ホテルセンチュリー・ハイアット（最大の宴会場センチュリールーム）において開催されました。危ぶまれた天候にも恵まれ、来賓、現旧職員、卒業生約500名が一堂に会し、午前11時半から午後2時までの2時間半を賑やかに過ごしました。今回の特徴のひとつは、司会者にあります。今回は司会を、真打ち確定の女流落語家古今亭菊乃さん（1993年に真打ちになり、菊乃改め菊千代）にお願いしました。菊乃さんは昭和49年度高校、昭和54年度大学中文科卒のオベリンナーです。巧みな話術により、会の雰囲気全体をリ・ユニオンに相応しいものとして下さいました。

『復活の丘』第147号/1991年11月30日

第147号　復活の丘　1991年11月30日（8）

**特別記念 リ・ユニオン 500名集う**
**清水安三先生 生誕100年**
**桜美林学園 創立45周年** 於：ホテルセンチュリーHYATT

会長
向井孝次 33高

今年のリ・ユニオンは、9月16日、創立者清水安三先生生誕100年、桜美林学園創立45周年等を記念して、新宿新都庁舎前の小田急ホテルセンチュリー・ハイアット（最大の宴会場センチュリールーム）において開催されました。
危ぶまれた天候にも恵まれ、来賓、現旧教職員、卒業生約500名が一堂に会し、午前11時半から午後2時までの2時間半を賑やかに過ごしました。
今回の特徴のひとつは、司会者にあります。今回は司会を、真打ち確定の女流落語家古今亭菊乃さんにお願いしました。
菊乃さんは、昭和49年度高校、昭和54年度大学中文科卒のオベリンナーです。巧みな話術により、会の雰囲気全体をリ・ユニオンに相応しいものとして下さいました。菊乃さんの益々のご活躍を応援したいと思います。
次に、出席者の年齢層が非常に若返ったこと、そして、出席者の年齢幅が広がったことが特徴としてあげられましょう。実に、18才から89才にまで及んでいます。若い卒業生の出席が増加傾向にあるということは、同窓会活動にとっても、学園にとっても、誠に喜ばしいことと思います。
また、頂きましたアンケート結果は、テーブルをグループ分けしてはどうか、年度生への呼び掛けが欲しい、立ち詰めはかなわないといった会場設営やリ・ユニオンの持ち方、健康食品時代を反映した食品の選び方等々広範囲にわたり有益なご意見ご指摘に満ちており、有り難く今後の参考とさせて頂く所存です。
次回のリ・ユニオンでまたお会いしましょう。ご協力ありがとうございました。

**高校新校舎建築状況**

教頭　近藤傳二

前回の報告に書いておきましたように、工事も順調に進み、九月で建物全てのコンクリート打ちも終り、現在は設備関係の工事が建物の中で急ピッチで行なわれています。今度の建物は各階毎に室内の配色を変え、その雰囲気に変化をもたせるといった斬新な校舎で、完成すれば話題をよぶことでしょう。外装はここ数年間に学園で建築されたものと同じように、外壁に錬瓦を使い、柱の部分はベージュ、屋根外壁をダークグリーンにし大変モダーンな建物となります。校舎以外の体育館部分は、一階が、屋外のスポーツ種目が雨天時に練習できる広場及び楽器の練習ホール、二階は教員室及び四〇〇人収容の食堂、三階は卓球、ダンス等のできる軽スポーツホール、四、五階がバレー二面、バトミントン六面、一五〇〇人収容出来る体育館兼多目的ホールとなっています。特に多目的ホールには演劇ができる設備を整え、映画も出来るようになっています。このような立派な校舎が来年二月完成いたします。高校ではこれを機に校舎内では上履に切り変え、短い休み時間でも体育館を利用し運動や遊びができて生徒の運動不足の解消と同時に校舎の美化と衛生保持のため実施することにしましたのでご理解、ご協力をお願いいたします。

### ～崇貞学園の卒業生とバインダー星子先生を迎えて～
### 同窓会総会＆リ・ユニオン

**日時　1994年7月3日（日）**
**場所　町田キャンパス　老実館**

総会は老実館2階会議室で開かれ、引き続きリ・ユニオンは一階ホールで執り行われました。今年のリ・ユニオンは中高PTA・中高後援会・同窓会が一つになり、中国から馬淑秀先生、韓国から崇貞学園の卒業生、アメリカからバインダー星子先生をお迎えしての盛大な会でした。清水安三先生は中国に崇貞学園、日本に桜美林学園を創立し、その卒業生が先生亡きあと、この様に一堂に集い、それぞれの校歌を声高らかに歌っている様子を想像されていたでしょうか。先生は、天国できっと万歳三唱しておられることでしょう。

『同窓会だより』153号/1994年10月15日

＊バインダー星子先生は、清水安三先生・美穂先生の長女。長男 泰さん、長女 星子さん、次男 畏三さんの三人がまだ幼い時に、美穂先生は亡くなられた。

## 学園創立50周年記念同窓会総会＆リ・ユニオン開催

日時　1996年7月7日（日）
場所　銀座東急ホテル（東京都中央区）

### ◇◇◇◇◇ ’96リ・ユニオン　ホームカミング・ディ ◇◇◇◇◇

今年は、創立50周年記念ホームカミング・ディとして「時の扉」をテーマに、例年のかたちを拡大して開催されました。これまでの習わしを守りながらも、新しい工夫ができたらと、準備に一年かけました。組織の大きくなった幸せは、同時に、複数多岐にわたる意見を一つにすることの難しさにつながりました。さて、7月7日の当日は朝方心配された雨雲も広がることなく、370名のご出席をいただきました。

『同窓会だより』157号/1996年10月15日

第８代　向井孝次会長

創立50周年のリ・ユニオンには、次男（86大商）と共に出席した。回を重ねる毎に出席者に新旧の交代が感じられるようになった。此の度は、一気に若返った佐藤新学長に、新時代を迎える桜美林のヴィジョンを見る思いであった。数日後、私は久しぶりに学園を訪ねた。復活の丘の教会内部を拝見してから、八階建ての大学校舎太平館にエレベーターで上って見た。最新設備を有する冷房のきいた校舎で自由に学ぶ学生の姿に隔世の感を味わった。

二宮　泰助（52短英）

## ◇◇◇◇◇ 50周年メッセージ ◇◇◇◇◇

『同窓会だより』157号/1996年10月15日

創立50周年記念の『同窓会だより』特別号では、「先生方のメッセージ」という特集のページを作りました。寄せられた桜美林学園創立50周年に対する先生方の思い出の数々をここに再掲載します。

※役職はすべて当時のもの

桜美林学園は創立50周年を迎え、21世紀に向けて大輪の花を咲かせようと夢を見ております。今年のリ・ユニオンは、東急ホテルで盛大にするということでしたので楽しみにしておりました。

私は桜美林の教員生活36年目です。この間の学校は非常に変化いたしました。36年の在職期間があればこそ、リ・ユニオンに出席しても、卒業生の誰かに会ってお話が出来ると自信を持って出席できます。私は安三先生の「利人不利己」「学而事人」の詞がとても好きです。この気持ちがあると学生がついて来てくれます。今日も卒業生の皆様と楽しい時を過ごしたいと思っております。

桜美林大学教授　　神山　八重子

思い出と言えば、何といっても甲子園での優勝です。就職した当初より、今年は甲子園に行けるぞ!と聞かされ、野球の好きな私はそれだけでわくわくし、早速予選の応援に駆け回りました。この年は大変期待されたチームでしたが堀越学園の前に涙を呑み、大いに落胆ところが、力が落ちると言われた翌年のチームがやりました。あれよあれよというまに勝ち進み、ついに優勝。本番でも快勝の連続、夢中で応援、よい思いを沢山させてもらいました。しかし、ぞっとするようなこともありました。2回戦以降は連戦で勝つにつれ応援の生徒が増え、一方帰宅する生徒もあり、人員の掌握・宿舎の割り当て等をごったがえした浜甲子園で行うのは至難の業でした。一度などは、生徒を全員バスに乗せ、宿に向かったとき、夕闇の中を走る制服が見えました。よく見ると、うちの生徒です。「停めろ！」と叫びました。運転手も驚き急停車し、事なきを得ました。色々ありましたがすべて最良の結果が得られ感謝しております。

桜美林高校教員　　高石　均

創成期桜美林学園で出会った清水安三夫妻の強烈な個性が私の生涯を変えた。昭和31年、校舎はおんぼろだったが、ソフトの方は超一級品だった。「うちの大学は三流の下である」と安三先生は堂々とおっしゃった。だから日本では駄目だ、外国に出て学問をせよ、夢を持て、愛を培え、物事を見極める目を養え。終戦後わずか11年、一様に貧乏で自信喪失者だった私たちに、復活の丘の桑畑を指しては、立ち並ぶ校舎が見えると大ぶろしきを広げたりする彼らの言動は、正に魔法のパンチであった。同級生28人、多くがいまだに活躍中である。

元桜美林大学教授　　杉崎　和子

学園の創立50周年を祝う同窓会の集いが開催され、衷心よりお慶び申しあげます。桜美林の卒業生が社会の第一線で活躍し、時代の要請に応えておられることは、慶賀にたえません。

同窓会が中心になって、21世紀に向け強力なオビリンナーのネットワークが出来れば、後輩にとっても大きな力になることでしょう。

今後も継続性のある活動を期待しております。

同窓会のさらなるご発展をお祈り申しあげます。

桜美林大学就職部長　　神田　秀一

中学の林間学校が、梅雨末期の集中豪雨の中で道路が流され、急遽中止になった就任3年目の76年夏。高校野球部が、延長戦あり、逆転勝ちありでついに西東京大会優勝。あこがれの甲子園、その大きさと独特の雰囲気に次第に少年時代が蘇り、声を枯らしての応援、甲斐あって見事初戦突破、校歌を高らかに歌ううちに、夕日がまぶしく、涙がこみ上げてきました。苦労を重ねてきた人たちにはこの一瞬がたまらないのだろうなと。

この感動を忘れることなく、どんな時にでも全力投球で、自分なりの甲子園を求めて頑張ろうと決意した夏でした。

桜美林高校教員　　伊藤　孝久

## 学園創立55周年記念同窓会総会＆リ・ユニオン開催

日時　2001年9月15日（土）
場所　京王プラザホテル（東京都新宿区）

### ◇◇◇◇◇ 55オベリン　2001年リ・ユニオン ◇◇◇◇◇

今世紀最初のリ・ユニオンが桜美林学園創立55周年、北京崇貞学園創立80周年と重なり、いきなり縁起の良い同窓会となりました。今回は5年ごとに開催される記念行事として新宿の京王プラザホテルで開催され、270名の盛況でした。北京崇貞学園の跡地にできた陳経綸中学より張徳慶校長以下2名のスタッフが参加されましたので、創立者の清水安三先生も桜美林学園と北京崇貞学園との関係が益々深くなって行く様子を天国から見ながらご満悦の事でしょう。

『同窓会だより』167号/2002年1月31日

陳経綸中学からのお客様と一緒に鏡開き

リ・ユニオンに初めて参加して、懐かしい諸先生方や同窓生と再会しました。初めは「オー」「ワー」の感嘆詞だけが出て、名前も思いだせないのですが、しばらくすると40年前の思い出が湧き出てくるのです。まるで、懐かしい故郷に帰ったようなひと時でした。

佐藤　宏明（62高校）

チェリーズによるハンドベルの演奏

第6代　大野一男理事長

二次会も盛会

恒例の校歌斉唱

## 学園創立60周年記念同窓会総会＆リ・ユニオン開催

日時　2006年9月16日（土）
場所　セルリアンタワー東急ホテル（東京都渋谷区）

### ◇◇◇◇◇ リ・ユニオン2006 ◇◇◇◇◇

今年のリ・ユニオンは桜美林学園創立60周年（崇貞学園85周年）の大きな節目の年9月16日渋谷の「セルリアンタワー東急ホテル」で開催されました。11時より総会が開催。礼拝の後、2006年度の事業報告、決算、2007年度の事業計画、予算の報告がなされ、新役員が決まりました。12時より同ホテル「ボールルーム」で懇親会が開催され、アナウンサーの岡本妙子さんと幹事の小枝久二雄氏の司会により開幕となりました。

『同窓会だより』177号/2007年5月1日

学園創立60周年に合わせて同期会が催されることを知りました。この10年間級友達ともご無沙汰が続いているので、何が何でも出席することを決意しました。たった2年間の限られた学園生活でしたが私の人生に於ける最も充実した青春時代でした。

ダッツラー・萬里江（63短英）

前回の同窓会には残念ながら出席できませんでしたが、今回は幸いにも友人が連絡してくださったおかげで出席できましたことは大きな喜びでした。

内藤　マリヤ（66短英）

今年は乾杯の音頭を、カリフォルニアと、ハワイからご出席いただいた内藤マリヤさん（66短英）、ダッツラー萬里江さん（63短英）にお願いいたしました。仲間と先生方と歓談しながら美味しい食事をいただき、活躍する卒業生として濱田令子さん（95短生）所属の厚木チェリーズの素晴らしいハーモニカ演奏があり、ハーモニーの美しさに感動し魅了されました。つづいて中村建司氏（71高校）、江渡恵さん（71高校）による木の笛（取り壊されたチャペルの柱から作られた笛）と、アイリッシュハープの演奏がおこなわれ、やさしい音色に心洗われる思いがしました。その後、お楽しみ抽選会で大いに盛り上がり、出席者全員で学園歌斉唱し閉会となりました。

倭文　好秋（74大経）

## 同窓会総会＆リ・ユニオン開催

日時　2007年7月14日（土）
場所　町田キャンパス　太平館ホール

### ◇◇◇◇◇ 俳優 夏木陽介氏トークショー ◇◇◇◇◇

夏木陽介氏の「素顔にせまる」と題して2007年リ・ユニオンのゲストとしてお迎えしました。半世紀振りに学園を訪れ、様変わりしたキャンパスで同期の方々も駆けつけて楽しいひとときを過ごされました。

『同窓会だより』178号/2007年11月15日

当日のイベントは最初に中・高校生による力強い吹奏楽の調べ、続いてはハンドベル、合唱。音色やハーモニーに耳をすませていると、当時のことが自ずと浮かんでまいります。

「夏木陽介　トークショー」司会者との軽妙なやりとりに思わず気分もほぐれ、机を並べていた頃のいたずら学生だった彼の姿が目に浮かんできました。あの頃からやはりカッコ良かったですね。皆と違うオーラが出てましたもの。

花束まで贈呈させていただくことになり、「今日来て良かった！」という感謝の思いでいっぱいになりました。懇親会では後輩との記念撮影でスターは引っぱりだこ。やっぱりすごいです。

一人一人の個性を生かした教育、大きな愛に包まれていると感じさせるものが桜美林にはあります。今回思い出に残る楽しい企画にしていただいた、リ・ユニオンの役員の皆さまには心より感謝すると共に次回にはもっと友人を誘い参加したいと感じました。

稲垣　靖子（53高校）

ハンドベル部

吹奏楽部

合唱部

### Profile

**俳優　夏木陽介**

1953年度桜美林高校卒業
1958年、『密告者は誰か』で映画主演デビュー。以来、映画約120本、ドラマ約40本に出演する。代表作は映画『太平洋の嵐』『野盗風の中を走る』『億万長者になった男』、テレビでは『青春とはなんだ』『Gメン'75』『荒野の用心棒』など。
2008年デビュー50周年を迎え、また、1985年から1993年まで「パリ-ダカール・ラリー」にチャレンジし日本中にRVブームを引き起こしたほか、水彩画、乗馬など幅広い趣味を持つ。

## 同窓会総会＆リ・ユニオン開催

日時　2010年7月24日（土）
場所　町田キャンパス　太平館ホール

### ◇◇◇◇◇ 講談師 神田紫氏による〔桜美林物語〕◇◇◇◇◇

2010年のリ・ユニオンは安三先生の生涯の軌跡に焦点をあてるというコンセプトにより、講談師　神田紫師匠にお願いをして『桜美林物語』を語っていただきました。

創立者清水安三は、1945年11月8日、中国において26歳から56歳までの30年間、心血を注いで育て上げた北京崇貞学園を日本の敗戦で接収された。翌年中国の本土を離れ、3月19日山口県仙崎港に上陸。厚生省から2個のおにぎりと金1,000円を配給された…。桜美林物語の始まりである。
その巧みな語りに会場は皆魅了されました。

『同窓会だより』184号/2010年11月20日

### Profile

**女流講談師　神田　紫**

1971年度　桜美林短期大学英語英文科卒業
文学座演劇研究所卒業
1979年　二代目神田山陽に入門
1989年　真打昇進
日本講談協会元会長
(公社)落語芸術協会　会員
認定特定非営利活動法人　富士山クラブ理事
TV、ラジオ他での活動も盛んである。
環境講談『もったいない善兵衛』を創作し、「人、物、自然を大切にし、感謝する心」を伝えている。

## 学園創立90周年記念同窓会総会＆リ・ユニオン開催

＊2006年7月23日の学園創立60周年記念同窓会総会＆リ・ユニオン開催から2011年7月23日の90周年まで5年しかたっていないにも関わらず、今回90周年となったのは、学園が崇貞からの年数を含めることにしたためである。同窓会もそれに倣って、今回より90周年とすることになった。

**日時　2011年7月23日（土）**
**場所　新横浜国際ホテル（神奈川県横浜市）**

桜美林学園同窓会総会＆リ・ユニオンは7月23日（土）11時30分より新横浜国際ホテルに於いて開催されました。・・・第二部の懇親会は、多数のご出席をいただきました。アトラクションとしては、桜美林大学ソングリーディング部クリームＯＧのダンスの素晴らしい演技を拝見しました。1960年度に卒業された方に当時の「思い出の校歌と応援歌の踊り」もご披露いただきました。

『同窓会だより』186号/2011年12月1日

東日本大震災を覚えつつ、創立90周年の同窓会に出席出来ましたことを嬉しく思います。和やかな雰囲気の懇親会での、級友との語らいも愉しい事でしたが、会長・来賓のご挨拶や、VTRを通して、桜美林学園の大発展、卒業生の活躍に、素晴らしいものを感じました。

笠原　澄子（57短英）

## 同窓会総会＆リ・ユニオン開催

**日時　2012年6月2日（土）**
**場所　町田キャンパス　荊冠堂チャペル**

### 賛美ゲスト　本田 路津子氏

リ・ユニオンには、過去数回、歌声を披露して頂いており、澄み渡る美しい声は、毎回多くの卒業生を魅了しました。この日も、変わらず爽やかな歌声で会場を包み込んで、優しい時間が流れていました。

『同窓会だより』188号/2012年12月1日

### Profile

**本田　路津子**
1966年度桜美林高校卒業
1970年度桜美林大学文学部英語英米文学科卒業
在学中は、聖歌隊に所属。1970年、CBSソニーからデビューする。デビュー曲『秋でもないのに』、に続いて『風がはこぶもの』、『一人の手』等のヒット曲を飛ばし、高音の澄んだ美しい声で多くの人々を魅了した。一年間続いたNHK朝の連続テレビ小説『藍より青く』のテーマソング『耳をすましてごらん』で、お茶の間でも親しまれ、2度のNHK紅白歌合戦にも出場。澄んださわやかな歌声で、神の愛と慰めを与える讃美歌とゴスペル、そしてフォークソングを歌うコンサートは、団塊の世代を超えて多くの人々の心を捉えている。

第7代　佐藤理事長と

今年もふたりで桜美林学園同窓会《リ・ユニオン》に参加しました。
総会ではまず、荊冠堂チャペルにて礼拝がもたれ、小林茂牧師によるメッセージがありました。聖書の教えを通して安三先生が終戦後中国から引き揚げてきて、東京・町田に学園を創立したいきさつを詳しく話されました。私たちには今なお新鮮な感じがして、家に帰ってから安三先生の本『石ころの生涯』を探してきて読み直しているところです。

吉田　宏（78高校）　　恵子（77高校）

## 同窓会総会＆リ・ユニオン開催

日時　2013年6月1日（土）
場所　場所　町田キャンパス　太平館ホール

**講演　「桜美林とモンゴル」佐藤紀子氏**

2013年6月1日、太平館レクチャーホールにて開催。元、在大阪モンゴル国名誉領事で卒業生の佐藤紀子さんの「桜美林とモンゴル」の講演会がありました。当日は15年前モンゴルで竣工式と入学式を同時スタートした学校の幼かった新入生が留学生として桜美林で学んでいて、感動の対面もあり、素晴らしいひとときでした。

『同窓会だより』190号/2013年12月1日

佐藤紀子さんとモンゴル留学生

Profile
**佐藤　紀子**
1962年度桜美林短期大学家政科卒業
1990年モンゴル初訪問。
1991年日本モンゴル文化経済交流協会設立。
元、在大阪モンゴル国名誉領事(1998年～ 2013年)
日本モンゴル交流の架け橋として、モンゴル訪問回数は200回以上。モンゴル民族の楽器・馬頭琴を中心としたモンゴル音楽を日本へ紹介。モンゴル国立馬頭交響楽団の全員での日本公演が13回を超える。

左から、杉崎和子先生・佐藤さん・
兵庫から参加のバルク良子さん

モンゴルの民謡を歌うモンゴル留学生

スタッフ一同(幹事と学生)

モンゴルの留学生による馬頭琴の演奏

## 同窓会総会＆リ・ユニオン開催
## 「木槿の花の咲く頃―清水安三物語／トークショー」

日時　2014年6月7日（土）
場所　町田キャンパス　太平館ホール

ゲスト：清水安三顕彰会会長 足立清勝氏
　　元高島町町長 海東英和氏

滋賀県高島市で2013年12月に上演された『木槿の花の咲く頃―清水安三物語―』
新旭町町民劇(2000年)、高島市市民劇(2013年)として、安三先生のその人生を描く。劇作家大峰順二氏の脚本・演出による演劇公演が実現。
安三先生を演じられた元高島町町長の海東氏、清水安三先生顕彰会会長の足立清勝氏を迎えて、上演時の苦労などをトークショーという形でお聞きしました。

『同窓会だより』192号/2014年12月1日

## 同窓会総会＆リ・ユニオン
## 喜寿・古希・還暦祝い礼拝　同時開催報告

**日時**　2015年6月27日（土）
**場所**　町田キャンパス　荊冠堂チャペル

今年は、総会と喜寿・古希・還暦祝い礼拝が同時開催となりました。総会後、毎年リ・ユニオンとして行ってきた懇親会を、喜寿・古希・還暦の対象者に経験してもらおうとの行事委員会の提案で、同日開催となりました。高校のクラス会をはじめとして、各テーブルに明るい笑顔が集まり、恩師との話も弾んでいました。

今年は傘寿の方々も同期を募って参加され、卒業生の夏木陽介さんもお元気そうなご様子で、懇親会に参加下さいました。

『同窓会だより』194号/2015年12月5日

忙しいことを理由にこれまで一度も出席することなく還暦、そして定年退職を迎えることになりました。

37年ぶりに母校をおとずれました。ソフトで温かい佐藤先生のお声に、数多くの先生方が思い出され、そのあとの懇親会でも級友との卒業以来の再会に懐かしい時代が蘇りました。

細川　金男（77大英）

中学・高校と6年間にわたり桜美林学園で過ごしました。

昭和47年双子だった私と弟は春の甲子園に参加しました。残念ながら弟は選手として私はアルプススタンドで「フレー・フレー」のエールをきった応援団としてですが‥‥今でも、その野球部のメンバーは毎年1月（もう35年以上）野球部同窓会をしています。

伊崎　俊介（73高校）

還暦の方々

感謝の花を先生方に

総会の様子



## 同窓会総会＆リ・ユニオン開催

**日時**　2019年6月1日（土）
**場所**　町田キャンパス　荊冠堂チャペル

**講演**　「未来への遺言」阿部友昭氏 ～東日本大震災の時の経験を伝えたい～

6月1日の総会＆リ・ユニオンでは、講演会の阿部友昭氏のお話に感動された方が多くいらっしゃいました。阿部氏は、宮城県本吉郡南三陸町志津川出身で2011年の東日本大震災当時、南三陸町立歌津中学校長として、自宅が家屋全壊流出したにもかかわらず、避難所となった中学校でのご苦労と伝えたいことを「未来への遺言」として話してくださいました。一に命、二に心、三に夢。若い人に「命が一番大切なんだよ」と伝えたいという想いを込めた言葉が参加者の胸に響きました。

『同窓会だより』201号/2019年9月20日

### Profile
**阿部 友昭**
1975年度桜美林大学文学部中国語中国文学科卒業
同年より宮城県中学校教諭として勤務。2003年から気仙沼市立新月中学校長、南三陸町立戸倉中学校校長、南三陸町立歌津中学校長を歴任。2011年退職。現在桜美林学園同窓会　宮城支部　副支部長。
自らの被災経験をもとに「命・心・夢」を大切にしようと各地で講演活動をしている。

最初、リ・ユニオンへの参加は気持ち半分でした。一人で行く気にはなれなかったため、大学で同じゼミだった友達に行くか聞いてみたところ、「他の人にも行くか聞いてみるね」と連絡が来ました。その後、「他の人は行かないみたいだけど、私は一人でも行く」と連絡が来たため、自分から話を出しておいて、友達一人に行かせる気にはなれなかったため参加することにしました。総会の感想は、参加して良かったのかという不安と緊張で内容がほとんど頭に入ってきませんでした。当日一緒に参加した友達に総会の感想を聞くと阿部友昭氏講演会が印象に残ったようで「震災の話が聞けたのは貴重な経験だった。桜美林の大先輩に、津波の時、校長先生として生徒や地元の方々を助けたような凄い方がいらっしゃるとは思わなかった。」と言っていました。リ・ユニオンの感想は、知ってる人はおらず不安でしたが、大先輩の方々がやさしく接してくださり話しやすかったです。また、知ってる先生もいないと思っていたのですが、一度だけ講義を受けた先生がおり、5～6年ぶりに話ができたことにこの場に参加して良かったなと思いました。最後に、今回参加してみて悪くないなと、良い経験のひとつになったと思います。

佐藤　佑樹（16大LA）

# リ・ユニオン開催一覧



| 年 | 月　日 | 総会会場 | 懇親会会場 | 主なイベント |
|---|---|---|---|---|
| 1956 | 04.29(日) | | | 桜まつりと同窓会開催 |
| 1957 | 04.28(日) | 壮園寮 | | 桜まつり・第一回同窓会総会開催 |
| 1958 | 04.29(火祝) | | | 桜まつり・同窓会総会開催 |
| 1959 | 04.26(日) | | | 桜まつり・同窓会総会開催 |
| 1959 | 08.08(土) | | | 同窓会納涼祭開催 |
| 1959 | 08.09(日) | | | 同窓会総会開催 |
| 1960 | 04.24(日) | | | 桜まつり |
| 1960 | 08.06-07(土-日) | | | 同窓会納涼祭・総会開催 |
| 1961 | 08.12-13(土-日) | | | 同窓会納涼祭・総会開催 |
| 1962 | 04.29(日) | | | 桜まつり・レユニオン |
| 1966 | 04.29(金祝) | | | 学園創立20周年記念式・桜まつり・同窓会総会開催 |
| 1968 | 04.29(月祝) | | | 同窓会総会開催 |
| 1969 | 04.29(火祝) | | | 桜まつり・同窓会総会 |
| 1970 | 08.29(土) | 韓国ソウル | | 崇貞学園同窓会開催 |
| 1972 | 11.12(日) | 霞が関ビル | | 同窓会総会開催 |
| 1975 | 04.29(火祝) | | | 桜まつり・同窓会総会開催 |
| 1976 | 11.13(土) | ホテルニュージャパン | | 学園創立30周年記念同窓会開催 |
| 1977 | 07.03(日) | | | 安三先生お誕生会・同窓会総会開催 |
| 1978 | 07.03(月) | | | 安三先生お誕生会・同窓会総会 |
| 1979 | 07.08(日) | | | 安三先生お誕生会・同窓会総会 |
| 1981 | 07.05(日) | 池袋サンシャイン | | 安三先生お誕生会・学園創立35周年同窓会開催 |
| 1982 | 07.04(日) | | | 安三先生お誕生会・同窓会総会開催 |
| 1983 | 07.03(日) | | | 安三先生お誕生会・同窓会総会開催 |
| 1984 | 07.01(日) | | | 安三先生お誕生会・同窓会総会開催 |
| 1985 | 07.07(日) | | | 安三先生お誕生会・同窓会総会開催　顕彰碑設立 |
| 1986 | 06.01(日) | | | 学園創立40周年記念事業・清水安三先生銅像除幕式<br>安三先生お誕生会・同窓会総会開催 |
| 1987 | 07.05(日) | | | 安三先生お誕生会・同窓会総会開催 |
| 1988 | 07.03(日) | | | 同窓会総会&リ・ユニオン開催 |
| 1989 | 07.02(日) | | | 同窓会総会&リ・ユニオン開催 |
| 1990 | 07.01(日) | | | 同窓会総会&リ・ユニオン開催 |
| 1991 | 09.16(月) | ホテルセンチュリー・ハイアット | | 学園創立45周年記念同窓会総会&リ・ユニオン開催 |
| 1992 | | | | 同窓会総会&リ・ユニオン開催 |
| 1993 | 07.04(日) | | | 同窓会総会&リ・ユニオン開催 |
| 1994 | 07.03(日) | | | 同窓会総会&リ・ユニオン<br>バインダー星子先生(安三先生長女)　崇貞卒業生<br>馬淑秀氏、魏玉宋氏 |
| 1995 | 07.02(日) | | | 同窓会総会&リ・ユニオン開催 |
| 1996 | 07.07(日) | 銀座東急ホテル | | 学園創立50周年記念同窓会総会開催<br>高校吹奏楽部OBによるアンサンブル、落語一席<br>大学箏曲部OBによる箏・尺八による合奏 |
| 1997 | 07.06(日) | 太平館レクチャーホール | 太平館ピロティー | 同窓会総会開催<br>中富貴仁さん山田真一さん琴・尺八ライブ<br>古今亭菊千代さん落語一席、チェリーズ演奏 |
| 1998 | 07.05(日) | サレンバーガー館 | 太平館ピロティー | 同窓会総会開催・安三先生の思い出を語る<br>大原直美さんコンサート |
| 1999 | 09.23(木祝) | 太平館レクチャーホール | 太平館ピロティー | 同窓会総会開催・本田路津子さんコンサート |

同窓会活動

| 年 | 月　日 | 総会会場 | 懇親会会場 | 主なイベント |
|---|---|---|---|---|
| 2000 | 07.02(日) | 太平館レクチャーホール | 太平館ピロティー | 同窓会総会開催・諸星　裕副学長講演<br>チェリーズ演奏、大学チアリーダー演技 |
| 2001 | 09.15(土) | 京王プラザホテル | | 学園創立55周年記念同窓会総会開催<br>チェリーズ演奏、寺島和均クインテッド演奏 |
| 2002 | 09.16(月祝) | 太平館レクチャーホール | 学生ラウンジ | 同窓会総会開催・ピーコさん　講演会 |
| 2003 | 09.14(土) | 太平館レクチャーホール | 桜カフェ | 同窓会総会開催<br>梓ゆみコンサート&寺島和均クインテッド演奏<br>チェリーズ演奏 |
| 2004 | 09.20(土) | 太平館レクチャーホール | 桜カフェ | 同窓会総会開催・PFC見学会、チェリーズ演奏<br>寺島和均クインテッド演奏 |
| 2005 | 09.19(土) | 荊冠堂チャペル | 桜カフェ | 同窓会総会開催<br>植木紀夫先生パイプオルガン演奏<br>チェリーズ演奏 |
| 2006 | 09.16(土) | セルリアンタワー東急ホテル | | 学園創立60周年記念同窓会総会開催<br>ハーモニカアンサンブル 厚木チェリーズ演奏<br>中村建司さん江渡 恵さん 木の笛演奏 |
| 2007 | 07.14(土) | 太平館レクチャーホール | 学生ラウンジ | 同窓会総会開催<br>夏木陽介さんトークショー・高校吹奏楽部他演奏・<br>大学クラブ活動見学 |
| 2008 | 07.26(土) | 荊冠堂チャペル | 太平館学生ラウンジ | 同窓会総会開催・コール萌・大学クワイヤー合唱<br>江渡 恵さんパイプオルガン演奏 |
| 2009 | 07.25(土) | 荊冠堂チャペル | 太平館学生ラウンジ | 同窓会総会開催・中里 斉画伯講演<br>チェーリズ演奏、大学クワイヤー合唱 |
| 2010 | 07.24(土) | サレンバーガー館 | 太平館学生ラウンジ | 同窓会総会開催・神田 紫さん講談「桜美林物語」 |

**2011年、学園創立年を崇貞学園創立年より数えることになりました。**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2011 | 07.23(土) | 新横浜国際ホテル | | 学園創立90周年記念・清水安三先生生誕120年<br>同窓会総会開催<br>大学チアダンス クリームOG公演 |
| 2012 | 06.02(土) | 荊冠堂チャペル | 桜カフェ | 同窓会総会開催・本田路津子さんコンサート |
| 2013 | 06.01(土) | 太平館レクチャーホール | 学生ラウンジ | 同窓会総会開催<br>佐藤紀子さん講演「モンゴルと桜美林」<br>稲垣貴子さん独唱、留学生によるモンゴル紹介 |
| 2014 | 06.07(土) | 太平館レクチャーホール | 桜カフェ | 同窓会総会開催<br>「木槿の花の咲くころ」トークショー<br>チェリーズ演奏、アルパ演奏　塩満友紀さん |
| 2015 | 06.27(土) | 荊冠堂チャペル | 桜カフェ | 同窓会総会開催・活躍するオベリンナーの紹介 |
| 2016 | 05.28(土) | 荊冠堂チャペル | 荊冠堂地下ホール | 学園創立95周年記念同窓会総会開催<br>神田 紫さん講談「桜美林物語 大学誕生編」<br>「私の桜美林物語」大学設立時の思い出 |
| 2017 | 06.03(土) | 荊冠堂チャペル | 桜カフェ | 同窓会総会開催<br>木南利夫さんによるフラメンコギター演奏と踊り |
| 2018 | 06.02(土) | 荊冠堂チャペル | 荊冠堂地下ホール | 同窓会総会・開催モンゴル舞踏&エイサー |
| 2019 | 06.01(土) | 荊冠堂チャペル | 桜カフェ | 同窓会総会開催<br>阿部友昭氏講演「未来への遺言」<br>桜美林大学クワイヤー奉唱 |
| 2020 | 新型コロナウィルス感染防止対策により開催中止、総会はHP掲載・Web開催にて実施 | | | |
| 2021 | 新型コロナウィルス感染防止対策により開催中止、総会はHP掲載・Web開催・動画配信にて実施 | | | |

# １１．郁子先生レリーフ除幕式／安三先生銅像建立

## 1977年10月2日(日)学園創立30周年記念事業・清水郁子先生レリーフ除幕式

「学園の創立30周年を記念して同窓会で準備を進めておりました初代桜美林学園長・清水郁子先生（清水安三先生夫人）の記念碑が10月2日に出来上がりました。10月2日は、故郁子先生のお誕生日にあたり安三先生のご希望で、この日に除幕式が執り行われました。また、安三先生には、碑の文字「初代桜美林学園長」「清水郁子」「十字架を負うて我に従え（マタイ伝16節24章）」などの文字をお書きいただき、格調高い記念碑とすることができました。

『復活の丘』第120号/1977年10月15日

文哉館での除幕式を祝う食事会

## 1986年 6月 1日(日) 学園創立40周年記念事業・清水安三先生銅像除幕式

「桜美林学園創立者清水安三先生の銅像が出来上がり、6月1日好天の下にその除幕式を取り行うことが出来ましたことを感謝を込めて茲に改めて御報告申し上げます。これは私共同窓会が主体となって実施いたしました学園創立40周年記念事業です。・・・特に学園創立40周年であったこと、学園がそれに適した発展を遂げていたこと、教育情勢が物・量から質への転換を迫られる時であったこと、そして何より清水先生がお元気に96回目のお誕生日を迎えられるお慶びなどいろいろの思いが重なりましてこの時期に実現を見たものと感じていることろです。　　同窓会会長　向井孝次」

『復活の丘』第138号/1987年6月1日

初代会長平本昌一氏と小林茂牧師

# １２．役員経験者　同窓会の思い出

## 第５代・第７代会長（1972/11 ～ 1975/3、1976/4 ～ 1985/6）

## 川合　貞義（94 大院・57 短英）

**略歴**

桜美林短期大学卒業、亜細亜大卒業後、東京衛材研究所入社。（有）相模商会を設立し（株）ヘルスケアに発展させる。これまで薬事功労により数々の表彰を受け、相模原市及び神奈川県でも様々な貢献をする。
桜美林大学大学院修了。桜美林学園同窓会会長、桜美林学園評議員・理事を歴任。
現在桜美林学園同窓会顧問、桜美林学園名誉理事。

桜美林学園創立100周年を期に、同窓会65周年記念誌発行、おめでとうございます。

私が、初代、四代同窓会長平本先輩より会長の任を引き継いだのは、1972年でした。

平本氏は学園創立10年後、1956年に同窓会を立ち上げられました。永い間、同窓会の業務は学校の職員が、学園創立者清水安三先生のもとで行われていましたので、同窓会は安三先生（当時学生は安三先生と名前で呼んでいた）と、安三先生が発行していました『復活の丘』と共に歩んで来たといえるでしょう。

私が引継いだ時は、やはり学校の職員で中学校の先生をなさった田中栄子さんでした。栄子さんは、『復活の丘』発行の手伝い、「桜美林東京クラブ」、同窓会の仕事と毎日忙しく回って居られました。同窓会の仕事は主に卒業生の消息調査と管理でした。1982年に発行した、卒業生約28,000名、830ページの大冊、会員名簿を発行出来たのは、田中さんの努力が大であった事に感謝し、ここに記します。

1972年、初めて同窓会を学園外、東京霞が関ビルで開催しました。交通の便もよく全国から250名を越す卒業生が集まりました。安三先生は多くの方々と終始笑顔で話をしていました。

1976年は、夏に高校野球部が甲子園で優勝した年でした。学園、PTA、同窓会は大忙しでした。安三先生はじめ、多くの卒業生も応援に駆け付けてくれました。イエス・イエス・イエスの校歌で甲子園を沸かせ、イエスの学園として世間に名を馳せました。終了後近くの店で安三先生と数人の卒業生が集まり、優勝の祝杯をあげましたが、先生も上機嫌でビールを美味しそうに口にしていたのが、印象的でした。

同じ年の11月13日、学園30周年記念同窓会を東京のホテルニュージャパンに於て開催しました。甲子園優勝後間もないこともあり、350名という多くの卒業生、家族が深紅の優勝旗が飾られる会場いっぱいになり、賑やかな同窓会となりました。安三先生も集まった多くの卒業生に、殊の外喜び長い話をなさっていました。後半熱気溢れる中で、安三先生の大きな万歳三唱で終了予定でしたが、誰からともなく「安三先生の胴上げを」の声があり数回宙を舞った。先生は「胴上げされたのは初めてじゃ」と大笑いしていたのを記憶しています。

30周年記念事業として計画していた、1964年に亡くなられた初代学園長清水郁子先生のレリーフは1977年に設置できました。計画当時、学園・PTA共同との話がありましたが、同窓会独自で製作、旧チャペル前に学校関係者、同窓会幹事等で、除幕式を行いました。

この頃から、安三先生の銅像作成の話が話題となり、計画を立てましたが、大きな難問は安三先生との交渉でした。先生は「ハトの糞が頭に乗っているのがいやだ」「生きている間は造らないでくれ」「そんなところに金を使うな」等色々と理由をつけ、頑に断り続けられました。仕方なく胸像で室内用ということにして、先生は承知をしませんでしたが反対もしなかったので、石膏で仮に胸像を作り、一方で全身の計画を進め、ある程度形が進んだ時点で何度か先生との交渉の末、全卒業生の要望である事を強調して、ようやく前回同様承知も反対もなかったので製作に至りました。除幕式では、非常に喜んで居られました。後日先生に「銅像はどうですか？」と伺ったら「わしゃ知らん。銅像に聞いてみィ」と笑って居られた事が、嬉しい思い出となりました。

安三先生は、郁子先生のレリーフ、自分の銅像の製作と、自分に関わる事に金を使わせる事に、遠慮なさったに違いありませんが、製作、設置した事は良かったと思いました。安三先生の、バイブルを持って少し横を向いている姿は、当時副会長であった小椋郊一氏の案でデザインしました。

同窓会の仕事を通し、多くの方々と出会い色々な経験をさせて頂き感謝しています。特に学園創立者清水安三先生、郁子先生が亡くなられる迄、学園の業務と共に仕事をやらせて貰った事は、一生の大きな宝物となりました。ありがとうございました。今後の学園と同窓会の発展を祈念いたします。

## 第６代会長（1975/4 ～ 1976/3）

## 藤田　紀世志（58 短英・55 高校・52 中学）

**略歴**

1950年（昭和25年）桜美林中学入学、同高校、同短期大学卒業。その後法政大学社会学部卒業。

（株）リコーに入社し、宣伝部、企画部なども所属。1964年の東京オリンピック、大阪万博、さらに札幌冬季オリンピックなどにリコーが参加したため、その企画運営に参画、担当課長職。

1976年（昭和51年）桜美林学園に転職。清水安三先生の命により総務部にて同窓会担当となる。その後、大学教務部や、入試広報室に所属（アドミッションセンターの前身）。学生募集や入学試験にお企画運営や実施を担当。企画広報部長を務める。国際学部の設立、大学院の設立、大学入試センター試験の導入、AO入試の導入、入試業務のシステム化、コンピューター化、試験答案採点法のデジタル化などの原型を作った。39歳から65歳まで計26年間の在職。

**桜美林の学生生活で得たこと**

何しろ太平洋戦争の直後、清水安三先生が桜美林を設立されたと同時位の時期に中学に入学したということになる。何故入学したかというと、桜美林まで歩いて20分ぐらいの場所に、たまたま私たち家族が住んでいたから、ということになろうか。本人の私が小学校６年で父親が決めたからである。父がどの程度清水安三先生のことを知っていたか、ほとんど知らなかったであろう。父は元教員（師範学校卒の訓導）であったので、長男の私に良い教育を受けさせたいと考え、海のものとも山のものともわからない桜美林に入れてみたのであろう。父は病気で失職し、金もないから電車通学させられない。手近な所に桜美林ができたのだ。

敗戦直後の軍需工場の寄宿舎の跡の校舎だ。木造２階建てで外観はそれなりに立派（?）であったが、窓ガラスは破れ放題、床は穴が開き、ひどいありさま。安三先生の『石ころの生涯』に書かれている通りであった。公立中学に行った連中からは「オビリン、オビリン、ボロ学校！」とからかわれていたものだ。

しかし桜美林の教育は、安三流の「本物にふれる」教育であった。特に英語は外国人教師が発音、会話などを担当し、時には米軍基地からチャプレン（軍隊付きの牧師）や、奥さんたちが出張して来て授業をしたり、米軍の家庭に招いてくれたりもした。

いわば何もないところから、工夫して一つ一つ積み上げていった時代である。制服もない、土足のまま教室で授業を受ける。暖房も工場時代に使っていた、木製で内側にはブリキの板張りの大火鉢（桶）だ。するめを持ってきた生徒がいて、授業中に焼いて食べた（匂いが教室中に漂って）、すぐにばれ、安三先生から大目玉を食らった。ダニエル先生（姉妹）、スイム先生、チャプレンのサレンバーガー夫妻などの方々が英語教育だけでなく、西洋、アメリカ文化の一端を垣間見たというきっかけを作ってくださった。少年時代に肌で触れたことは、後々の私の人生にどんなに役に立ったことかわからない。

一つ一つ工夫しながら前へ進むという安三流の考え方は、私のサラリーマン時代にも、そして桜美林に戻って、仕事をさせてもらったときにも非常に役に立った。文学部と経済学部だけの時だ。現在のように、パソコンやケータイがある訳ではなく、ましてマンパワーがある訳でなく、文書を作るのにも和文タイプや、横書きの和文タイプを打っていた時代、コピー機も青焼きだった。何をするにも民間企業に勤めていた私にとっては大変だった。工夫しながら自力や外部の力を借りながら業務をしていたことを思い出す。なにしろ当時の桜美林学園は中小零細企業だったのだから。

同窓会のことでは、卒業してほかの大学へ行っていたときも、「桜まつり」に桜美林に遊びに行くと、総会をするので議長をやれ、と先輩の大野一男先生や梅沢さんなどに引っ張り出されたのも、はるか昔の思い出である。

同窓会で、清水郁子先生の胸像を作ったのも、私が桜美林に転職したころである。1977年（昭和52年）の10月に完成、除幕式を開催した。制作は二科会評議員の森野圓象氏。

私が同窓会の会長をしていた時期に、ホテルニュージャパンでの学園創立30周年記念会や霞が関ビルでの高校野球優勝の祝賀同窓会を開いたのも良き思い出である。

同窓会としては、当時から大学と中高の卒業生の同窓会を別の組織にしてはどうか？が課題としてあった。というのも大学に学部が増え、大学院もでき、大学の卒業生が圧倒的に多くなるのは目に見えていたからである。今後どうするかが課題であろう。

創立100周年、同窓会創立65周年、おめでとうございます。

こんなおめでたい記念に、思い出話を書くことができ、少しは母校の発展に寄与することができたと自慢できるのも、大野一男先生、佐藤東洋士元理事長、小川欣亭先生たちのおかげである。天国から「大したことはしていないじゃないか」と叱られそうである。

なお、蛇足ながら私の生涯の伴侶も桜美林出身だし、娘も、妹も、義弟も卒業生だ。いわば、オビリンファミリーである。

## 第9代会長（1998/7 ～ 2006/8）

## 小礒　明（03大院・73大経）

**略歴**

桜美林大学経済学部卒業
同大学院国際学研究科修士課程修了（博士後期課程）
東京都監査委員（全国都道府県監査委員連合会会長）
前桜美林学園理事、常任理事
桜美林大学特任教授
現在、桜美林学園顧問、桜美林学園評議員、桜美林学園同窓会顧問
一般社団法人桜美林大学校友会会長、桜美林大学客員教授
社会福祉法人明王会理事長、東京都議会議員（公営企業委員会委員長）

桜美林学園創立100周年、桜美林学園同窓会創立65周年、誠におめでとうございます。清水安三先生が崇貞学園を創立してから今年で記念すべき100周年を迎え、同窓会も65周年を迎えられることができましたことは、卒業生のひとりとして大変喜ばしく思います。

振り返りますと、私が同窓会に関わらせていただくようになったのは、今から約50年前のこと。当時は、若い卒業生ばかりで、安三先生を囲む仲良しクラブのような組織でした。しばらくして幹事を拝命してからは、新しい時代を迎える中で活躍される卒業生も増え、それを支援できる同窓会組織にするため、事務局の常勤化、全国での支部づくりなどに取り組み、組織の基幹づくりに携わらせていただきました。また、卒業生が集まることができる場所づくりとして、（仮称）清水安三記念館の積立基金も2002年度から始めました。

100周年を迎えた学園は、これまでの大学・大学院、中学、高校、幼稚園に加えて、小中一貫校の創設も検討しています。大学だけでみても2005年から学群制を取るようになり、従来の町田キャンパスに加え、現在は6キャンパスと増え、在校生が1万人を超える有数の総合大学と成長して参りました。少子化が進む中で、中学、高校、大学とそれぞれ進路として選んでもらえるよう、学園は歩みを続けていかなければなりません。

私自身、学生としてキャンパスに通い、卒業してからも同窓会幹事、副会長、会長として、学園では評議員、理事、常任理事として関わらせていただき、今でも教壇に立たせていただいております。清水安三先生をはじめ、これまでに学園の中で出会った先生方、そしてわが母校である桜美林学園には、強い思いを抱いています。これからますます発展していく学園、そして世界へ羽ばたいていく卒業生を献身的に協力、支援していく所存です。

学園の創立100周年、同窓会創立65周年を節目に、今後のますますのご発展と、卒業生、在校生、教職員の皆様のご健勝を心から祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

大学インフォメーションセンター（一粒館）

## 副会長（1976/4 ～ 1982/6）

## 鈴木　圓子〔旧姓　山口〕（55高校）

**略歴**

桜美林学園高等学校、國學院大學卒業後、桜美林学園高校教諭。
同窓会幹事、副会長、桜美林学園評議員を歴任。

### 第二の故郷　桜美林学園

現在の桜美林学園の所在地は東京都町田市常盤町です。私の在学した校舎は東京都町田市南多摩郡忠生村矢部でした。八幡神社の並びで現在の野球場・アメリカンフットボール場のある所です。当時は一見廃屋かと思しき兵舎が立ち並んでいました。ところが、4月下旬には数十本の八重桜が満開となり何と見事なことか。清水安三・郁子御夫妻はここを桜美林学園のはじまりの地となさったのです。

清水御夫妻・教職員・寮生が住居兼学び舎として起居を共にし、少人数でしたので「一つの家族」という言葉がぴったりの日常でした。

当時、今の校舎等のある所は水田と麦畑で「復活の丘」と呼び、夏の夜の横浜の花火等は丘に登って見たものです。

桜まつり・運動会・クリスマス会等楽しい行事がありました。印象深かったのは運動会の仮装行列です。毎年どこかの学年が必ず安三夫妻の引き揚げ時の姿を再現し、沸き起こる拍手が止まらない程でした。また夏の臨海学校は藤沢の竜口寺を宿舎に開校され、片瀬海岸での水泳は思い出の一つです。中でも早朝の岩頭礼拝は江の島に渡り、荒磯に立ち大海原を前に、『世界に羽ばたく人間になれ!!』との清水先生のお言葉は緊張感をもって拝聴したものです。

私は近くに住んでいますので、昭和・平成・令和と学園の発展を実感している者の一人です。

特に甲子園での野球の全国優勝は奇しくも学園創立三十周年の節目の年でした。ホテルニュージャパンでの祝賀会では、創立30周年と書かれた横断幕と、優勝旗の側に立たれた清水安三先生の笑顔が忘れられません。

現在は卒業生の数も昔とは比較にならない程多くなりましたが、リ・ユニオンや、成人式、還暦・古希・喜寿の集い等に創立時代の「家族」の精神が受け継がれていると感じています。

同窓会の事務局や幹事の方々の御苦労には感謝の念で一杯です。これからも学園ニュース等届けてくださいますよう切望いたします。

相共に学びし窓を後にして　オビリンナーは輝きており（圓子）

## 幹事

## 佐藤　節子〔旧姓　青柳〕（54短英・52高校・49中学）

**略歴**

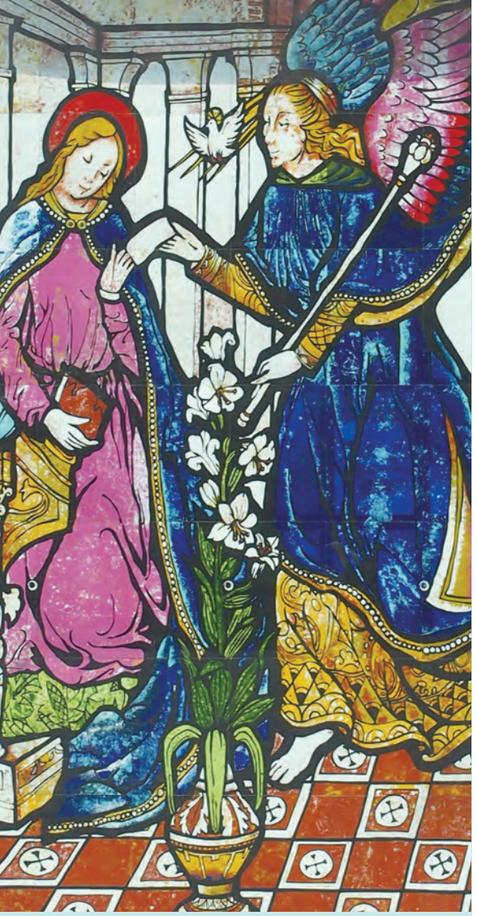
桜美林短期大学卒業後、桜美林学園職員、同窓会発足時より幹事。

私にとって、同窓会の発端は、1957年8月11日に、清水安三先生御夫妻のお宅で第一回納涼祭として集まったのが始まりと思います。まだ卒業生もそう多くはなく、写真を見ても半数は学園の教職員です。

このころはカメラも今程誰もが持つ時代ではなく、『復活の丘』誌を参考にしらべると、1972年迄は桜祭りや、納涼祭という形で同窓会を開いておりましたようです。

1967年には「桜美林東京クラブ」が誕生し、会長は平本晶一さんでした。1969年、7月に同窓会室が与えられました（明々館812-1号）。1972年11月12日に同窓会総会を東京都千代田区霞ケ関ビルで開催、それ以降の事は不詳です。

※学園職員、同窓会の幹事として、その礎と発展のために永きにわたりご奉仕くださいました。（編集委員）



### 受胎告知

おとめマリアのもとに天使ガブリエルが訪れて救い主を懐胎したことを告げ、マリアは戸惑いつつも、信仰をもってその告知を受け入れる場面です。

荊冠堂チャペル ステンドグラス

# 行事活動

## １３．大学祭参加

### 大学祭に参加するようになった経緯

幹事自らが大学祭に参加し、学生と一緒に楽しむこと、甘酒をふるまい模擬店の場を同窓会の存在をアピールの場にしました。次に、芸能界で頑張っている卒業生を応援するために、大学の落研とタイアップして「桜美林寄席」を開催しました。落語家の古今亭菊千代さんの縁故を頼り、講談師の神田紫さんから、今や落語界の重鎮となっている柳屋花緑さんまで、毎回豪華なゲストの方が登壇してくれました。

### 第一回桜美林寄席

当時、幹事であった落語家の古今亭菊千代さんの協力で同窓会として大学祭に際し、大教室を借りて「桜美林寄席」を開催することになった。学園の近隣に住む方々にも安価な木戸銭で開放し人気を博した。

Profile

**古今亭菊千代**

1979年度桜美林大学文学部中国語中国文学科卒業
社会人を経て1984年二代目古今亭圓菊に27歳で入門。同年古今亭菊乃を名乗り修業、二ツ目昇進。1993年三遊亭歌る多師と共に落語四百年の歴史の中で初となる女性真打に昇進。菊千代を襲名。以降、本来の寄席やホール、各落語会の出演のほか、手話と一緒に楽しむ落語、朝鮮・韓国語での落語、新作、自作品、エッセイ、また、南米など海外の日系の方々の前でも多数口演。
著書：『古今亭菊千代噺家です』日本出版社、『体験！子ども寄席』全５巻　偕成社

| | |
|---|---|
| 1993 | 大学祭協力 |
| 1994 | 甘酒サービス |
| 1995 | 甘酒サービス |
| 1996 | 甘酒サービス、同窓会コーナー開設 |
| 1997 | 甘酒サービス、同窓会コーナー開設 |
| 1998 | 第1回桜美林寄席<br>林家しん平氏、神田紫氏、古今亭菊千代氏 |
| 1999 | 第2回桜美林寄席<br>三遊亭好楽氏、林家小正楽氏 |
| 2000 | 第3回桜美林寄席<br>桂南橋氏、三増紋之助氏 |
| 2001 | 第4回桜美林寄席<br>三遊亭小遊三氏、大田屋元九郎氏 |
| 2002 | 第5回桜美林寄席<br>古今亭志ん駒氏、ダーク広和氏 |
| 2003 | 第6回桜美林寄席<br>柳屋花緑氏、桧山うめ吉氏 |
| 2004 | 第7回桜美林寄席<br>笑福亭鶴光氏、翁家勝丸氏 |
| 2005 | 第8回桜美林寄席<br>古今亭志ん駒氏、江戸屋まねき猫氏 |
| 2006 | パネル展示、お茶サービス |
| 2007 | パネル展示、お茶サービス |
| 2008 | パネル展示、お茶サービス |
| 2009 | パネル展示、お茶サービス |
| 2010 | パネル展示、お茶サービス |
| 2011 | パネル展示、お茶サービス |
| 2012 | パネル展示、お茶サービス |
| 2013 | パネル展示、お茶サービス |
| 2014 | パネル展示、お茶サービス |
| 2015 | パネル展示、お茶サービス |
| 2016 | パネル展示、お茶サービス |
| 2017 | パネル展示、お茶サービス |
| 2018 | パネル展示、お茶サービス |
| 2019 | パネル展示、お茶サービス |
| 2020 | コロナ禍のため、WEB配信<br>同窓会は不参加 |
| 2021 | コロナ禍のため、WEB配信<br>同窓会は不参加 |

## １４．中高文化祭参加

### 中高文化祭に参加するようになった経緯

同窓会は大学だけでなく、中高卒業生も会員となっている。1993年から参加してきた大学祭と並んで中高でも文化祭に参加すべきではないかという声が幹事会で出て、当時副会長の佐藤誠一郎氏が中心になり、2007年から参加するようになった。佐藤氏は中高のPTA会長経験者で，中高と太いパイプがあったため、連携もスムーズに運んだ。現在ではブースでの売り上げは、毎年中高の教育充実に寄付されている。

### 参加記録

| | |
|---|---|
| 2007 | パネル展示、グッズ販売 |
| 2008 | パネル展示、グッズ販売 |
| 2009 | パネル展示、グッズ販売 |
| 2010 | パネル展示、グッズ販売 |
| 2011 | パネル展示、グッズ販売 |
| 2012 | グッズ販売<br>＊場所が変わり、パネル不可 |
| 2013 | グッズ販売 |
| 2014 | グッズ販売 |
| 2015 | グッズ販売 |
| 2016 | グッズ販売 |
| 2017 | グッズ販売 |
| 2018 | グッズ販売 |
| 2019 | グッズ販売 |
| 2020 | 中・高文化祭中止 |
| 2021 | 中高文化祭は在校生のみ参加<br>同窓会は不参加 |

# １５．賀寿（傘寿・喜寿・古希・還暦）祝い礼拝

## 還暦の会が始まった経緯

高校卒業生たちの立ち上げた「二十歳の祝会」は、素晴らしい物でありました。それで、自分たちを祝う前にまず先輩方からと、当時の幹事が59歳の時に「還暦祝い会」を提案しました。

## 還暦会員祝会

2004年1月12日に01年桜美林高校卒業生が成人式を開催し、その後毎年「成人の祝い礼拝」が実施されるようになったことから、同窓会では2006年から同日茶話会を開催して成人を祝うようになったので、卒業生もなにか別の祝会をということになった。

ちょうど2006年が学園創立60周年にあたり、同窓会として60歳になる同窓生をお祝いしようと呼びかけたのが始まり。幹事会のメンバーが中心となって「還暦会員祝会」を開催。

2006年4月29日の「還暦会員祝会」は、復活の丘桜美林教会で礼拝が行われ、食事会が川上記念館で催された。

第２回還暦祝い礼拝・桜美林教会

その後、第3回からは新チャペルで行われ、第4回までは「還暦祝い礼拝」、第5回からはそれ以前に還暦を過ぎていた方から、自分たちもやってほしいとの意見が出され、古希を追加した。2011年の第6回からは、喜寿の会員を加え、2018年の第13回からは傘寿の方を追加、最終的には「傘寿・喜寿・古希・還暦祝い礼拝」と名称が変更されている。

# 賀寿祝い礼拝一覧

| | | |
|---|---|---|
| 2006年4月29日 | 第1回還暦会員祝会 | 桜美林教会 |
| 2007年4月29日 | 第2回還暦祝い礼拝 | 桜美林教会 |
| 2008年4月29日 | 第3回還暦祝い礼拝 | 荊冠堂チャペル |
| 2009年4月29日 | 第4回還暦祝い礼拝 | 荊冠堂チャペル |
| 2010年4月29日 | 第5回古希・還暦祝礼拝 | 荊冠堂チャペル |
| 2011年4月29日 | 第6回喜寿・古希・還暦祝い礼拝 | 荊冠堂チャペル |
| 2012年4月28日 | 第7回喜寿・古希・還暦祝い礼拝 | 荊冠堂チャペル |
| 2013年4月27日 | 第8回喜寿・古希・還暦祝い礼拝 | 荊冠堂チャペル |
| 2014年4月26日 | 第9回喜寿・古希・還暦祝い礼拝 | 荊冠堂チャペル |
| 2015年6月27日 | 総会＆リ・ユニオン/第10回喜寿・古希・還暦祝い礼拝 同日開催 | 荊冠堂チャペル |
| 2016年4月23日 | 第11回喜寿・古希・還暦祝い礼拝 | 荊冠堂チャペル |
| 2017年4月22日 | 第12回喜寿・古希・還暦祝い礼拝 | 荊冠堂チャペル |
| 2018年4月21日 | 第13回傘寿・喜寿・古希・還暦祝い礼拝 | 荊冠堂チャペル |
| 2019年4月20日 | 第14回傘寿・喜寿・古希・還暦祝い礼拝 | 荊冠堂チャペル |
| 2020年4月18日 | 傘寿・喜寿・古希・還暦祝い礼拝 ※新型コロナ感染防止対策により中止 | |
| 2021年6月12日 | 傘寿・喜寿・古希・還暦祝い礼拝 ※新型コロナ感染防止対策により中止 | |
| 2022年6月11日 | 賀寿（傘寿・喜寿・古稀・還暦）祝い礼拝 | 荊冠堂チャペル |

# １６．成人の祝い礼拝 茶話会

## 成人の祝い礼拝が始まった経緯

藤崎堅信（2009年当時高校教頭）先生によれば、2001年度桜美林高校卒業生有志が、“成人式の日に学校のチャペルで昔の仲間とお世話になった先生方と共に讃美歌を歌い、聖書を読み、礼拝を守って節目の時を共有したい”との申し出がきっかけで2004年から「成人式」が始まり、2006年より「成人の祝い礼拝」が始まり、同窓会ではこの年より茶話会を開催してお祝いしている。懐かしい母校で先生方から祝福してもらう、まさにホームライクスクール桜美林ならではの行事である。

## 2004年１月12日

### 桜美林での成人式を終えて

2004年1月12日、成人式の日。この日私たちは一生忘れることのできない一日を送った。1年かけて企画してきたことが実現となる日、しばらく会っていなかった仲間に会える嬉しさ半分、式を成功させなくてはという緊張が半分の落ち着かない気分。発起人9人が集合し、打ち合わせる間もままならず、チャペルに入ると、事前に用意した題字が目に飛び込んできた。今日本当にこの日がやってきたんだと実感する。式の内容は礼拝方式。これまでの桜美林での習慣が身についているせいか、式の間私語をする者はいない。急遽行われることになったイラン地震への献金も、学生時代より少し奮発した。柴牧師、ヒックス前校長先生からお祝いの言葉を、そして学校、先生方による歌のプレゼントもいただいた。元吹奏楽の仲間に演奏してもらい、記念写真を撮り、成人式の幕を閉じた。

この式を企画・実行していく上で、沢山の方に助けていただいた。私たちはそのひとりひとりに感謝の気持でいっぱいである。特に始めから終りまで相談にのってくださった藤崎先生には言葉では言い表わせない程である。成人した私たちはこれから色々な境遇に出会うことだろう。それは決して楽しいことばかりではないだろう。しかしその度にこの式を思い出して、一歩でも前進していけるようになることを心から願う。

熊切　杏奈（01高校）53期生

## 2010年１月11日

こんなにもたくさんの「再会」を果たしたことはなかった。

市での成人式を終え、胸を弾ませながら桜美林チャペルへと向かった。

少し残念なことに、会場は私たちが長らく親しんだ荊冠堂ではなく、卒業とともに完成した新しいものだった、綺麗なところで式を行えるのは嬉しいのだが、古く無機質なコンクリートの床が懐かしく思われた。

それでも、59期生が集えば不慣れな会場も雰囲気は高校生の時のそれで、式が始まってみればまったく慣れたものだった。パイプオルガンによる前奏に始まり、主の祈り、賛美歌に説教……。

全体を省みれば、友人に捧げる黙祷などもあり、決して笑顔だけに包まれた式ではなかった。しかし、旧友との再会も悲しい別れも、私たちが高校を卒業してから未来へと歩み続けている証なのだと思う。

塩満　友紀（07高校）59期生

### 2015年1月12日

成人式当日は雲ひとつない快晴で、私たちの成長を祝福しているようでした。チャペルには約200名もの変わらない仲間が集まり、本田栄一先生のおことばをいただきました。引き続き行われた桜カフェでの立食パーティーではなつかしい仲間との再会の喜びを解放し、凄まじい盛り上がりとなりました。晴れて成人を迎えることが出来た私たちは、これからさらに成長していきます。

赤穂　沙崎(12高校) 64期生

### 2020年1月13日

2020年1月13日に、69期生の成人式を行いました。チャペルでの成人祝福礼拝では、約200人の卒業生や過去最多人数のご両親、お世話になった先生方にご参列いただきました。堂本チャプレンによる説教は「希望と確信」という題で、これから私たちが社会の一員として活躍していく上で、支えとなるようなメッセージを頂きました。式を通して高校時代の友人や、先生方との繋がりの大切さを再確認しました。そうしたつながりは一生物です。人と人との繋がりを、これまでもこれからも大切にしていきたい、と思えた成人式になりました。

和久田　大翔(17高校) 69期生

## 成人の祝い礼拝　茶話会一覧

| | |
|---|---|
| 2004年1月12日 | 高校第53期生成人式 |
| 2005年 | 開催なし |
| 2006年1月 9日 | 高校第55期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2007年1月12日 | 高校第56期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2008年1月14日 | 高校第57期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2009年1月12日 | 高校第58期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2010年1月11日 | 高校第59期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2011年1月10日 | 高校第60期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2012年1月 9日 | 高校第61期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2013年1月14日 | 高校第62期生　大雪のため中止 |
| 2014年1月13日 | 高校第63期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2015年1月12日 | 高校第64期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2016年1月11日 | 高校第65期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2017年1月 9日 | 高校第66期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2018年1月 8日 | 高校第67期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2019年1月14日 | 高校第68期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2020年1月13日 | 高校第69期生　成人の祝い礼拝 茶話会 |
| 2021年1月11日 | 高校第70期生　※コロナ禍のため中止 |
| 2022年1月10日 | 高校第71期生　※成人式祝い礼拝のみ開催　コロナ禍のため茶話会は中止 |

2018年1月8日　第11代　佐藤誠一郎同窓会会長

## 羊飼いへの告知

古代ユダヤ社会において、律法を守ることができない罪人とされていた羊飼いが、真っ先に天使から救い主誕生の知らせを受ける場面です。

荊冠堂チャペル ステンドグラス

# 組織活動

## １７．第一次支部会（発足・活動）

これまで同窓会本部は支部誕生のため幾度か役員会を開き、何処に働きかけようかと相談した。しかし、これは作るものではなくて、生まれるものであった。即ち、長野県在住の同窓生の熱意が、折しも清水安三先生のご計画によって建てられた桜美林小諸山荘を起点として発足した事は、大きな慶びである。

### 第一次長野支部　1974 年 10 月 12 日

発会式は小諸山荘新築記念の集いの前夜6時30分より参会者一同夕食を共にして、木の香も新しい小諸山荘で行われた。出席者は清水安三先生、田口理事長、川村、橋本、小川、伊藤、大野の諸先生と本部から田中と徳田副会長が出席し、・・・。掛川幸雄氏の支部発足に至るまでの経過説明がありその後同窓会長野県支部発足の宣言がなされ一同の拍手をもって承認された。

『復活の丘』第110号1974年11月15日

### 第一次相模原支部　1979年12月8日

桜美林学園同窓会の支部として長野県支部に続いて、川合会長のおひざ元の相模原市に支部が生まれました。相模原市上溝で書店を経営されている中村宣勝氏（61高校）が中心となって企画したもので、去る12月8日に清水安三先生、橋本英雄先生、小川留三先生、川上ヨシ先生をお招きして、相模原市にある福祉センターで、支部設立準備会を開いて、正式に支部として発足しました。

『復活の丘』第127号/1980年2月25日

### 第一次八王子支部　1980年5月24日

昨年暮の同窓会相模原支部の発足に続いて、5月24日に八王子支部が新たに出発しました。
八王子支部とはいっても、日野、昭島などの周辺を含んでいます。初代支部長に皿島忍氏（当時昭島市長）を選出した八王子市民会館には約50名の卒業生が集まり、最年少者は現在高校生と親子ほどの年齢差が見られました。

『復活の丘』第128号/1980年7月5日

### 第一次北海道支部　1981年4月25日

選抜高校野球の甲子園で、関西支部の発足したあとを受けて、4月25日には、札幌で北海道支部の発足会が開かれました。当日は、札幌厚生年金会館に、高校、短大、大学と各校のオビリンナー約40名が集まり、支部設立総会ということで、正式名称、規約、役員などを決めました。名称も「桜美林学園同窓会北海道支部」となり、初代支部長には佐野公平氏(70大中)が選ばれ、新しい組織のスタートが踏み出されました。

『復活の丘』第131号/1981年11月25日

### 第一次多摩稲城支部　1985年9月30日

当日は、清水安三先生始め多くの学校関係者の方にご出席頂き、全体として少ない出席にもかかわらず、かなり盛り上がりのある総会でありました。～今後は若い皆様と、又家族も含めた楽しい強い団結の中で素晴らしい支部を作り上げていきたいと思います。

『復活の丘』第136号/1985年6月15日

# １８．第二次支部会（発足・活動）

## 町田支部　2002. 09. 16（祝・月）リ・ユニオン同時開催

2002年9月の同窓会リ・ユニオン会場で発会式を行いましました。佐藤誠一郎支部長（70高校）のもと発足した町田支部は、相模原支部と共に歩みはじめ、2010年には町田市立版画美術館で開催されていた個展「中里 斉展　モダニズム・ニューヨーク」とタイアップし、中里氏（53高校）のレクチャー付き鑑賞会＆茶話会を企画しました。2017年には初めて町田支部単独での支部会を開催、学園のお膝元の支部として同窓生との交流を深めています。

2017. 7. 21の支部会

## 相模原支部　2002. 09. 16（祝・月）リ・ユニオン同時開催

相模原支部は、町田支部と共に2002年9月の同窓会リ・ユニオンの会場で発会式を行いました。支部長には古川隆則氏（63高校）が就任、町田支部と共に活動をしてきました。2017年からは霧生 保氏（71高校）が支部長を引き継ぎ、相模原市橋本の“HK LOUNGE”で相模原支部単独の支部会を開催しました。「参加して良かった！」と楽しんでいただける会を目指し頑張ってまいりますので、ぜひ支部会へ足をお運びください。

2017. 11. 18の支部会

## 群馬支部　2002. 11. 09（土）東急イン内 つきじ植村

1年の準備期間を経て2002年11月前橋駅そば東急インで、群馬支部発会式を開催しました。川島淳子支部長（76短家）からスタートした群馬支部は、2016年より結城 茂支部長（76大中）にバトンを渡し支部の輪を広げています。年の一度の支部会は、群馬県の魅力を生かし温泉地で開催、心身ともに温まる支部会となっています。群馬県在住のオビリンナーの懇親の場になるよう目指してまいります。

2005. 2. 27の支部会

## 千葉県支部　2003. 02. 23（日）センシティタワービル内 東天虹

2003年2月、千葉県支部の発会式を開催しました。発会式へは佐藤東洋士学長をはじめ、約30名の会員の皆さんにご参加いただき、これを機に毎年この時期に支部会を開催することが決まりました。以来、義理と人情を大切にする伊東茂治支部長（83大経）の声掛けのもと、毎年多くの方にご参加いただいています。千葉県支部は年齢や卒業年度に関係なく、多くの皆様に参加していただいていることが特徴です。ご家族やご友人をお誘いいただき、お気軽にご参加ください。

2013. 02. 02の支部会

## 厚木・愛甲支部　2003. 03. 08（土）アツギ・ミュージアム

2002年5月20日、厚木市・愛川町・清川村に在住する同窓会員を中心に同窓会厚木・愛甲支部が発足しました。支部長には松本樹影氏（95高校）が就任、翌年の2003年3月8日、アツギ・ミュージアムで発会式を開催しましたが、支部継続が難しくなり2011年4月に残念ながら閉鎖となりました。

## 愛媛支部　2003. 10. 19（日）チサンホテル松山

2003年10月に松田ちから支部長（69高校）の声掛けにより、愛媛支部が発会しました。発会式は県内在住同窓生数80人弱ということもあり少数でしたが、年代が違っても青春時代を過ごした“桜美林”の思い出話に花が咲き、楽しいひと時となりました。これまでの支部会開催回数は3回となかなか開催にこぎつけずにおりますが、四国4県でのブロック開催も含め、より良い継続方法を考えています。

2003. 10. 19の支部会

## 沖縄支部　2003. 11. 08（土）ホテル西武オリオン

2002年の設立準備会を経て2003年11月沖縄支部発会式を迎えることができました。出席された支部会員により、役員には新城昭二支部長（80大経）、野里千恵子副支部長（58短家）、松原芳和副支部長（87大英）、金城仁之副支部長（87大経）が選出されました。発足以降、毎年11月に那覇市内で支部会を行い、親睦を深めています。学園より最も遠い支部ですが、会員数は500人ちかくおります。多くの会員に参加いただけるよう、今後も沖縄の地域性に合わせた魅力ある支部運営を行なってまいります。

2005. 11. 5の支部会

## 山梨支部　2004. 05. 22（土）甲府富士屋ホテル

2004年5月、甲府市内の甲府富士屋ホテルで発会式を開催しました。初代支部役員は支部長に宮沢勇二氏（83大商）、副支部長に長島達也氏（82大商）、事務局長には依田和美氏（82大商）が就任し、出席者26名の賑やかな会となりました。その後2019年からは支部長を長島達也氏へ引き継ぎ活動を続けています。県内には有名な観光地も多くあるため、会場を甲府市内から移動しての開催も検討しており、アットホームで楽しい雰囲気を守りながら新鮮味も求めていきたいと考えています。

2015. 10. 24の支部会

## 北海道支部　2004. 10. 09（土）ホテルニューオータニ札幌

1981年に清水安三先生の祝辞のもと発会した北海道支部は10数年の活動休止ののち、2004年10月に引き続き佐野公平氏（70大中）を支部長に支部再開準備会を開催、活動を再開しました。その後、支部長を本間嗣治氏（74大経）、山田弘昭氏（80大英）、矢吹光弘氏（83大英）へとバトンタッチしています。2019年10月の支部会10回目を記念した支部旗授与の際は、大々的に祝賀会を開き支部独自の会員カードを製作、参加者へ配布しました、また2021年12月にはコロナ渦で各支部会の催行見合わせが続く中、全国で初めてオンラインでの支部会を開催しました。

2004. 10. 9の支部会

## 八王子支部　2006. 10. 22（日）八王子エルシィ

八王子支部は2006年10月に発会式を行いましたが、その後活動を休止しています。八王子市内在住の同窓生は多く、地元野球場で桜美林高校の試合が行われることもあります。母校の野球の応援をはじめ、他支部との交流、趣味の集いなど、現在活動再開に向け準備を進めています。

2006. 10. 22の支部会

## 広島支部　2006. 10. 28（土）いしまつ懐石割烹

2006年10月、福山市内において発会式を開催しました。幅広い年代の卒業生が集まり、懐かしい“復活の丘”に想いを馳せました。支部長には今川敦子氏（74短家）が就任、その後2009年、2019年と支部会を開催しています。これまではすべて福山市内での開催でしたが、今後は広島市内での開催も企画していく予定です。ゆっくりとしたペースですが、これからも会員相互の親睦を深められる楽しい支部会の運営をいたします。

2006. 10. 28の支部会

## 横浜支部　2008. 09. 06（土）ロイヤルホール横浜

横浜支部は、2008年9月に横浜中華街のロイヤルホール横浜で発会式を開催しました。支部立ち上げは横浜市在住の同窓会員の熱心な思いにより実現したもので、以来毎年支部会を開催しています（コロナ期を除く）。発足当時から支部長を務めている田中洋子氏（65短英）と精力的に活動する支部役員により今後も新たなチャレンジを行い、支部のモットーである“同窓生間の交流”の実現をしていきます。同窓会支部の中でも会員数が一番多い支部です。一緒に大きな横浜支部の輪を作っていきましょう。

2017. 10. 29の支部会

## 多摩・稲城支部　2009. 05. 23（土）京王プラザホテル多摩

2009年5月に21名の同窓生にご出席いただき、発会式を開催。支部長に田代恒雄氏（71大経）、副支部長に本吉　顕氏（62高校）・田沼良介氏（73大経）が就任し、多摩・稲城支部がスタートしました。発会式にご参加いただいた佐藤理事長の「皆さん、学園の応援団になってください！」という言葉が強く印象に残っています。これからも多摩・稲城から学園を盛り立ててまいります。

2017. 5. 20の支部会

## 福岡支部　2009. 10. 25（日）平和楼本店

2009年10月、福岡市内の平和楼本店において福岡支部の発会式を開催しました。1981年に清水安三先生をお呼びして第一次支部会を発足した福岡支部。その時の清水谷真也支部長が再び指揮を執り、第二次福岡支部を発足しました。発会式には学園関係者5名を含む33名が出席、福岡県以外の熊本県、大分県、佐賀県、山口県からもお越しいただきました。残念ながらそれ以降の支部会の開催はありませんが、再始動に向け準備を進めています。

2009. 10. 25の支部会

## 大阪支部　2010. 02. 21（日）大阪クリスチャンセンター

2010年2月、大阪支部発会式が大阪クリスチャンセンターで行われました。24名の参加者により規約を制定、矢崎邦彦支部長（58短英）による大阪支部がスタートしました。その後、2015年より佐藤紀子氏（62短家）、2017年より水野真理氏（68短家）へ支部長を引き継いでいます。また2017年からは隣の兵庫支部との合同開催をはじめました。2019年の支部発足10周年記念では、学園から小林牧師にお越しいただき学園創立に纏わる清水安三先生・郁子先生の講和をいただきました。卒業後何年、何十年経とうと桜美林の一員であることを自覚し、母校への想い大切に支部活動を続けています。

2016. 3. 12の支部会

## 滋賀支部　2011. 06. 12（日）今津サンブリッジホテル

2011年6月、滋賀支部の発会式を開催し、支部長には岡本三四二氏（77大商）が就任しました。発会式へは26名が出席、清水安三先生の生まれ故郷での支部の発足を喜びました。安三先生の滋賀県での知名度はたいへん高く、清水安三先生顕彰会の発足や清水安三記念館も設立されています。中でも清水安三先生顕彰会の活動は活発で、毎年安三先生に関するワークショップを開催しており、2013年には高島市民劇「木槿の花の咲く頃 ＝清水安三物語＝」のサポートをしています。滋賀支部では清水安三先生顕彰会との共同企画などを中心に、安三先生の生誕地ならではの活動を進めています。

2011. 6. 12の支部会

## 兵庫支部　2014. 08. 23（土）芦屋マリーナ内 マレロッソ

2014年8月、兵庫支部は目の前に海が広がる恵まれたロケーションに建つレストラン マリロッソで発会式を行いました。出席された23名の皆さんは、その景色の美しさを堪能しつつ懇親を深めました。支部長のバルク良子氏（57短英）はご自宅へも参加者を招き、参加者をもてなし、会はとてもアットホームなものとなりました。2回目からは大阪支部との合同開催となり会場を大阪市内へ移していますが、神戸市と大阪市、交互での開催の検討も進んでいます。

2014. 8. 23の支部会

## 宮城支部　2016. 05. 15（日）仙台国際ホテル

2013年7月に福島県で開催した「東北ブロック同窓会」をきっかけに誕生した宮城支部は、東北地方ではじめて支部として2016年5月に仙台国際ホテルで発会式を開催しました。支部長には佐久間光一氏（69大英）が就任し、活動をスタートしました。2018年の支部会からは会場を広瀬川に移し「芋煮会」を計画、参加者たちは豊かな自然の中で宮城風と山形風の芋煮を楽しみながら、賑やかな会となりました。秋の風物詩「芋煮会」は宮城支部の恒例行事となりつつあります。和気藹々と芋煮を囲む会は心身だけでなく、オビリンナーの絆もしっかり温まることでしょう。

前列左から3番目　第8代 大越　孝理事長
右から3番目　第9代 小池一夫理事長
2016. 5. 15の支部会

## 北海道支部　2021. 12. 18（土）オンライン リ・ユニオン

全国の支部として初めてオンラインによるリ・ユニオンが開催されました。学園から大越中学校高等学校長、後藤法人本部長、同窓会本部より山本会長および数名の幹事が出席。

来賓挨拶の後、「北海道支部38年間の歩みDVD」を鑑賞し支部の歴史を学び、また現役学生にも参加してもらい、学生の現状と目標を伺いながら今後の支部発展の担い手の育成について座談会をおこないました。北海道支部は新たな試みの中から支部の発展を目指し精力的に活動しています。

ZOOM北海道リ・ユニオンの様子

# 全国支部長会議

## 第1回全国支部長会議　　2012年11月3日(土)

同窓会発足以来、初めて全国支部長会議が多摩アカデミーヒルズで開催されました。

学園創立55周年（2001年）より現在の支部体制になり、支部開催10回を超える支部が出てくる中、同窓会本部は今後の支部活動を促進するため各支部の問題点や要望をお聞きしようという試みで、全国の支部長の方々にお集まりいただき情報交換をおこなった。(全国15支部中13支部の支部長、副支部長が参加)

## 第2回全国支部長会議　　2013年11月2日(土)

前年に引き続き、北は北海道から南は沖縄まで13支部18名の支部役員の皆様にお集まりいただき、全国支部長会議が多摩アカデミーヒルズにて開催されました。

「同窓生のため、学園のため、在校生のため」という同窓会理念に基づき、支部の基本理念から運営に関するまで様々な内容で会議は進行。支部の運営強化、支部間交流、本部からのバックアップなど、各支部長の熱い思いが飛び交う予定時間を超える会議となりました。

## 第3回全国支部長会議　　2021年1月23日(土)

コロナ禍により同窓会活動が制限されている中、8年振りに全国支部長会議をZOOMにておこないました。

17支部のうち8支部と設立準備中の青森と山形からも参加いただきました。学園より大越理事長（当時）、畑山学長、河本事業開発部長のご参加をいただき学園の現状をお話ししていただきました。同窓会本部からは、学園100周年にともなう同窓会記念事業、さらに同窓会と交友会との関わりについて、そして『同窓会だより』の支部紹介について報告されました。各支部からは事前アンケートを含め様々な要望をいただき、本部は今後対応していくと回答しました。

## 第4回全国支部長会議　　2021年7月3日(土)

本年、年度をまたいでの2度目のオンライン会議を開催。10支部12名と本部幹事18名が参加しました。山本会長より本部と支部はコミュニケーションをより充実させ、活動の活性化を図っていきたいという挨拶、さらに前会議で支部からの要望事項の回答として、新たな支部支援策と規定の改定を報告。また、更なる支部支援の在り方について意見交換が活発におこなわれ、支部からの多くの要望・提案も出ました。今後も支部長会議を毎年定例会とすることが承認され閉会となりました。

第4回リモート会議の様子





# 支部会一覧

| 開催年 | 月　日 | 支　部 | 場　所 |
|---|---|---|---|
| 2002<br>(平成14)年度 | 2002年　9月16日（月） | 町田･相模原　発会式 | リ･ユニオン同時開催 |
| | 2002年11月　9日（土） | 群　馬　　発会式 | 前橋東急イン |
| | 2003年　2月23日（日） | 千　葉　　発会式 | センシティータワー |
| | 2003年　3月　8日（土） | 厚木･愛甲　発会式 | アツギ･ミュージアム |
| 2003<br>(平成15)年度 | 2003年10月19日（日） | 愛　媛　　発会式 | チサンホテル松山 |
| | 2003年11月　8日（土） | 沖　縄　　発会式 | ホテル西武オリオン |
| | 2004年　2月14日（土） | 群　馬　　第2回 | マリエール高崎 |
| | 2004年　2月22日（日） | 千　葉　　第2回 | センシティータワー |
| | 2004年　2月25日（水） | 町田･相模原　賀詞交歓会 | ホテル ザ･エルシィ町田 |
| 2004<br>(平成16)年度 | 2004年　5月22日（土） | 山　梨　　発会式 | 甲府富士屋ホテル |
| | 2004年10月　9日（土） | 北海道　　再開準備会 | ホテルニューオータニイン札幌 |
| | 2004年11月20日（土） | 沖　縄　　第2回 | 養老乃瀧　松山店 |
| | 2005年　1月29日（土） | 千　葉　　第3回 | ホテルサンガーデン千葉 |
| | 2005年　2月26日（土） | 町田･相模原　第2回 | ホテル ザ･エルシィ町田 |
| | 2005年　2月27日（日） | 群　馬　　第3回 | 高崎ワシントンホテルプラザ |
| 2005<br>(平成17)年度 | 2005年　9月　3日（土） | 山　梨　　第2回 | ベルクラシック甲府 |
| | 2005年10月16日（日） | 北海道　　第2回 | 札幌グランドホテル |
| | 2005年11月　5日（土） | 沖　縄　　第3回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2006年　1月21日（土） | 群　馬　　第4回 | 伊香保東急ビラ |
| | 2006年　2月18日（土） | 千　葉　　第4回 | ホテルニューオータニ幕張 |
| | 2006年　3月　4日（土） | 町田･相模原　第3回 | ホテル ザ･エルシィ町田 |
| 2006<br>(平成18)年度 | 2006年10月　7日（土） | 北海道　　第3回 | ル･ジャンティオム |
| | 2006年10月22日（日） | 八王子　　発会式 | 八王子エルシィ |
| | 2006年10月28日（土） | 広　島　　発会式 | いしまつ懐石割烹 |
| | 2006年11月　4日（土） | 沖　縄　　第4回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2006年11月11日（土） | 山　梨　　第3回 | 甲府富士屋ホテル |
| | 2007年　1月27日（土） | 群　馬　　第5回 | 高崎ワシントンホテルプラザ |
| | 2007年　2月17日（土） | 町田･相模原　第4回 | ホテルラポール千寿閣 |
| | 2007年　2月18日（日） | 千　葉　　第5回 | ホテルニューオータニ幕張 |
| 2007<br>(平成19)年度 | 2007年11月11日（土） | 山　梨　　第4回 | ベルクラシック甲府 |
| | 2007年11月17日（土） | 沖　縄　　第5回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2008年　1月26日（土） | 群　馬　　第6回 | 伊香保 温泉ホテル木暮 |
| | 2008年　2月16日（土） | 千　葉　　第6回 | ホテルニューオータニ幕張 |
| 2008<br>(平成20)年度 | 2008年　9月　6日（土） | 横　浜　　発会式 | ロイヤルホール横浜 |
| | 2008年11月22日（土） | 沖　縄　　第6回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2008年11月29日（土） | 山　梨　　第5回 | ベルクラシック甲府 |
| | 2008年12月　7日（日） | 愛　媛　　第2回 | 道後山の手ホテル |
| | 2009年　1月31日（土） | 群　馬　　第7回 | 伊香保温泉 お宿玉樹 |
| | 2009年　2月　7日（土） | 千　葉　　第7回 | ホテルニューオータニ幕張 |
| 2009<br>(平成21)年度 | 2009年　5月23日（土） | 多摩･稲城　発会式 | 京王プラザホテル多摩 |
| | 2009年　9月　5日（土） | 横　浜　　第2回 | ローズホテル横浜 |
| | 2009年10月24日（土） | 広　島　　第2回 | カフェIMAGAWA |
| | 2009年10月25日（日） | 福　岡　　発会式 | 平和楼本店 |
| | 2009年11月14日（土） | 沖　縄　　第7回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2010年　1月30日（土） | 群　馬　　第8回 | ヘルシーパル赤城 |
| | 2010年　2月　6日（土） | 千　葉　　第8回 | ホテルニューオータニ幕張 |
| | 2010年　2月21日（日） | 大　阪　　発会式 | 大阪クリスチャンセンター |

| 開催年 | 月　日 | 支　部 | 場　所 |
|---|---|---|---|
| 2010<br>(平成22)年度 | 2010年　6月20日（日） | 町田・相模原 | 町田市立国際版画美術館(中里 斉展) |
| | 2010年　7月17日（土） | 多摩・稲城　第2回 | 多摩アカデミーヒルズ |
| | 2010年　9月　4日（土） | 横　浜　第3回 | ホテル横浜キャメロットジャパン |
| | 2010年　9月12日（日） | 北海道　第4回 | osteria sister BEAT DUO |
| | 2010年11月20日（土） | 沖　縄　第8回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2011年　1月29日（土） | 群　馬　第9回 | 小野上温泉旅館花山 |
| | 2011年　2月12日（土） | 千　葉　第9回 | ホテルニューオータニ幕張 |
| | 2011年　2月20日（日） | 大　阪　第2回 | 大阪クリスチャンセンター |
| 2011<br>(平成23)年度 | 2011年　4月19日付連絡 | 厚木・愛甲　支部閉鎖 | |
| | 2011年　6月12日（日） | 滋　賀　発会式 | 今津サンブリッジホテル |
| | 2011年　6月26日（日） | 山　梨　第6回 | 古名屋ホテル |
| | 2011年　9月10日（土） | 横　浜　第4回 | ホテル横浜キャメロットジャパン |
| | 2011年11月26日（土） | 沖　縄　第9回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2012年　2月　4日（土） | 千　葉　第10回 | ホテルニューオータニ幕張 |
| | 2012年　2月18日（土） | 群　馬　第10回 | ヘルシーパル赤城 |
| | 2012年　2月19日（日） | 大　阪　第3回 | 大阪クリスチャンセンター |
| 2012<br>(平成24)年度 | 2012年　6月24日（日） | 滋　賀　第2回 | WEST LAKE HOTEL |
| | 2012年　9月　8日（土） | 横　浜　第5回 | ホテル横浜キャメロットジャパン |
| | 2012年　9月23日（日） | 山　梨　第7回 | 古名屋ホテル |
| | 2012年11月24日（土） | 沖　縄　第10回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2013年　2月　2日（土） | 千　葉　第11回 | ホテルニューオータニ幕張 |
| | 2013年　2月　9日（土） | 群　馬　第11回 | ヘルシーパル赤城 |
| | 2013年　2月17日（日） | 大　阪　第4回 | 大阪クリスチャンセンター |
| 2013<br>(平成25)年度 | 2013年　5月25日（土） | 多摩・稲城　第3回 | 多摩アカデミーヒルズ |
| | 2013年　7月　7日（日） | 宮　城　第1回東北B同窓会 | 郡山ビューホテル |
| | 2013年　7月20日（土） | 町田・相模原　第5回 | ホテル ザ・エルシィ町田 |
| | 2013年　9月　7日（土） | 横　浜　第6回 | ホテル横浜キャメロットジャパン |
| | 2013年　9月16日(祝・月) | 愛　媛　第3回 | 道後山の手ホテル |
| | 2013年11月16日（土） | 沖　縄　第11回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2013年11月30日（土） | 山　梨　第8回 | 古名屋ホテル |
| | 2013年12月　8日（日） | 滋　賀　第3回 | WEST LAKE HOTEL |
| | 2014年　2月　1日（土） | 群　馬　第12回 | ヘルシーパル赤城 |
| | 2014年　2月15日（土） | 千　葉　第12回 | ホテルニューオータニ幕張 |
| | 2014年　2月16日（日） | 大　阪　第5回 | 大阪クリスチャンセンター |
| 2014<br>(平成26)年度 | 2014年　6月14日（日） | 滋　賀　第4回 | ホテルニューオウミ |
| | 2014年　7月26日（土） | 北海道　第5回 | eight Ricefield cafe |
| | 2014年　8月23日（土） | 兵　庫　発会式 | 芦屋マリーナ内 マレロッソ |
| | 2014年　9月　6日（土） | 横　浜　第7回 | ホテル横浜キャメロットジャパン |
| | 2014年11月15日（土） | 沖　縄　第12回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2014年12月　7日（日） | 山　梨　第9回 | 古名屋ホテル |
| | 2015年　1月31日（土） | 群　馬　第13回 | ヘルシーパル赤城 |
| | 2015年　2月　7日（土） | 千　葉　第13回 | ホテルニューオータニ幕張 |
| | 2015年　3月28日（土） | 大　阪　第6回 | ホテル グランヴィア大阪 |
| 2015<br>(平成27)年度 | 2015年　9月　5日（土） | 横　浜　第8回 | ホテル横浜キャメロットジャパン |
| | 2015年　9月26日（土） | 宮　城　第2回東北B同窓会 | ANAホリディ・イン仙台 |
| | 2015年10月24日（土） | 山　梨　第10回 | 古名屋ホテル |
| | 2015年11月14日（土） | 北海道　第6回 | 串焼・おでん 根 駅前店 |

| 開催年 | 月　日 | 支　部 | 場　所 |
|---|---|---|---|
| 2015<br>(平成27)年度 | 2015年11月28日（土） | 沖　縄　第13回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2016年　1月23日（土） | 滋　賀　第5回 | 清水安三記念館 |
| | 2016年　2月　6日（土） | 千　葉　第14回 | ホテルニューオータニ幕張 |
| | 2016年　2月13日（土） | 群　馬　第14回 | ヘルシーパル赤城 |
| | 2016年　3月12日（土） | 大　阪　第7回 | パパミラノ大阪丸ビル店 |
| 2016<br>(平成28)年度 | 2016年　5月15日（日） | 宮　城　発会式 | 仙台国際ホテル |
| | 2016年　9月　3日（土） | 横　浜　第9回 | ホテル横浜キャメロットジャパン |
| | 2016年　9月10日（土） | 北海道　第7回 | 札幌パークホテル |
| | 2016年11月19日（土） | 沖　縄　第14回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2017年　2月　4日（土） | 千　葉　第15回 | ホテルニューオータニ幕張 |
| | 2017年　2月25日（土） | 群　馬　第15回 | ヘルシーパル赤城 |
| 2017<br>(平成29)年度 | 2017年　4月15日（土） | 大　阪　第8回(兵庫合同開催) | 帝国ホテル大阪 |
| | 2017年　4月15日（土） | 兵　庫　第2回(大阪合同開催) | 帝国ホテル大阪 |
| | 2017年　5月20日（土） | 多摩・稲城　第4回 | 多摩アカデミーヒルズ |
| | 2017年　7月21日（金） | 町　田　第6回 | ホテルラポール千寿閣 |
| | 2017年10月29日（日） | 横　浜　第10回 | ホテル横浜キャメロットジャパン |
| | 2017年11月11日（土） | 北海道　第8回 | eight Ricefield cafe |
| | 2017年11月18日（土） | 沖　縄　第15回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2017年11月18日（土） | 相模原　第6回 | HKラウンジ 橋本 |
| | 2018年　2月　3日（土） | 千　葉　第16回 | Restaurant estY |
| | 2018年　3月17日（土） | 群　馬　第16回 | ヘルシーパル赤城 |
| 2018<br>(平成30)年度 | 2018年　9月　1日（土） | 横　浜　第11回 | ホテル横浜キャメロットジャパン |
| | 2018年11月10日（土） | 大　阪　第9回(兵庫合同開催) | ヤサイフレンチノール |
| | 2018年11月10日（土） | 兵　庫　第3回(大阪合同開催) | ヤサイフレンチノール |
| | 2018年11月10日（土） | 宮　城　第2回 | 芋煮会　広瀬川 |
| | 2018年11月17日（土） | 沖　縄　第16回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2019年　2月　2日（土） | 千　葉　第17回 | Restaurant estY |
| | 2019年　3月16日（土） | 群　馬　第17回 | ヘルシーパル赤城 |
| | 2019年　3月23日（土） | 北海道　第9回 | さっぽろテレビ塔 すずらん |
| 2019<br>(令和元)年度 | 2019年　9月　7日（土） | 横　浜　第12回 | ホテル横浜キャメロットジャパン |
| | 2019年10月　5日（土） | 北海道　第10回 | ホテルモントレエーデルホフ札幌 |
| | 2019年10月19日（土） | 広　島　第3回 | 創菜酒膳　肴蔵 |
| | 2019年10月26日（土） | 大　阪　第10回(兵庫合同開催) | 樂待庵 天満橋店 |
| | 2019年10月26日（土） | 兵　庫　第4回(大阪合同開催) | 樂待庵 天満橋店 |
| | 2019年11月　9日（土） | 宮　城　第3回 | 芋煮会　広瀬川 |
| | 2019年11月16日（土） | 沖　縄　第17回 | 一鮮満おもろまち店 |
| | 2019年11月24日（土） | 相模原　第7回 | HKラウンジ 橋本 |
| | 2020年　1月25日（土） | 山　梨　第11回 | リストランテ パローロ |
| | 2020年　2月　1日（土） | 千　葉　第18回 | Restaurant estY |
| 2020<br>(令和2)年度 | 新型コロナウィルス感染防止対策により未開催 | | |
| 2021<br>(令和3)年度 | 2021年12月18日（土） | 北海道リ・ユニオン | (web開催) |

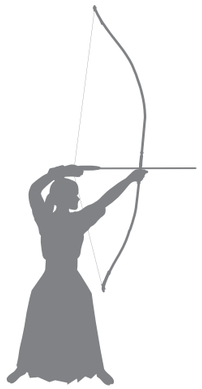
# １９．学生を応援・成果表彰

## ＯＳＣ（桜美林サポーターズクラブ）

同窓会では「学園創立100周年に向けて在校生・保護者・卒業生らが一体となって、学園・学生を応援していこう」というスローガンを掲げ、組織推進委員会主導のもと、桜美林幼稚園父母の会、中高PTA、大学後援会、校友会とで組織した「ALL OBIRIN」体制を作り学園の発展に寄与しようとの声かけで始まった。

現在では「学生・学園を応援していこう」という部分を引き継ぎ、中高大学生に対して、毎年「成果表彰」―（61頁成果表彰一覧参照）という名の下に同窓会は表彰を行っている。また、箱根駅伝予選会や大学野球部、アメリカンフットボール部などスポーツ強化クラブ等に対しても実際の応援活動を行っている。広報誌『同窓会だより』でその活躍を紹介し、卒業生へ在学生の活躍を報告するなど、現役学生の活動を知らしめている。

2012年 1月21日　発足式プレゼン　多摩アカデミーヒルズにて
2015年11月28日　懇談会　栄光館4階大会議室
出席団体：学園、大学校友会・後援会、中高PTA/桜風会、幼稚園父母の会・卒園児母の会、同窓会
2016年 7月16日　連絡会　栄光館大会議室
出席団体：学園、大学校友会・後援会、幼稚園卒園児母の会、同窓会
2017年 7月 8日　連絡会　栄光館4階大会議室
出席団体：学園、大学校友会・後援会、中高PTA、幼稚園父母の会・卒園児母の会、同窓会



# 成果表彰一覧

## 2018年度成果表彰団体

| | 団体名 | 参加形態 | 大会名 | 成績 |
|---|---|---|---|---|
| 高校 | 美術部 | 団体 | 第67回学展 | 最優秀学校賞 |
| 大学 | 弓道部(女子) | 団体 | 第65回全日本学生弓道選手権大会 | 優勝 |
| 大学 | 陸上競技部　駅伝チーム | 個人　田部幹也 | 第94回箱根駅伝 | 学生連合チームに選出3区完走 |
| | | 個人<br>キサイサ・ジョスファト・レダマ | 日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ) | 男子5000m優勝 |
| | | | 第94回箱根駅伝予選会 | 個人成績1位 |
| 大学 | チアリーディング部 | 個人　吉田芽生 | チアリーディング男女混成部門 | 日本代表に選出 |
| | | | 第9回チアリーディング世界選手権大会シニア男女混成部門 | 日本代表チーム優勝 |
| 大学 | 野球部 | 個人　大平達樹 | | 侍ジャパン大学日本代表に選出 |
| | | | 第29回ユニバーシアード競技大会 | 日本代表チーム優勝 |

※2017年4月～2018年3月実績

## 2019年度成果表彰団体

| | 団体名 | 参加形態 | 大会名 | 成績 |
|---|---|---|---|---|
| 高校 | 軽音楽部 | 団体 | 東京都高等学校　総合文化祭<br>軽音楽部門　中央大会 | 東京都教育委員会長賞<br>全国大会出場 |
| 大学 | 陸上競技部　駅伝チーム | 個人<br>キサイサ・ジョスファト・レダマ | 天皇賜盃第87回日本学生陸上競技対校選手権 | 5,000m・10,000m優勝<br>二冠達成 |
| 大学 | 弓道部(男子) | 団体 | 第66回全日本学生弓道選手権大会 | 男子団体準優勝 |
| 大学 | 女子バレーボール部 | 団体 | 関東大学バレーボール2部<br>春季リーグ戦 | 初優勝<br>1部との入替戦勝利で創部初の1部昇格 |

※2018年4月～2019年3月実績

## 2020年度成果表彰団体

| | 団体名 | 参加形態 | 大会名 | 成績 |
|---|---|---|---|---|
| 高校 | 軽音楽部 | 団体 | 東京都高等学校　総合文化祭<br>軽音楽部門　中央大会 | グランプリ<br>全国大会出場 |

※2019年4月～2020年3月実績

## 2021年度成果表彰団体

| | 団体名 | 参加形態 | 大会名 | 成績 |
|---|---|---|---|---|
| 高校 | 山本彩佳 | 個人 | 第22回高校生小論文コンクール | 最優秀賞 |
| 高校 | 秋本　茜 | 個人 | 第22回高校生小論文コンクール | グループ部門<br>読売新聞西部本社賞 |
| 高校 | 落合帆奈 | 個人 | 第22回高校生小論文コンクール | グループ部門<br>読売新聞西部本社賞 |
| 高校 | 田中介進 | 個人 | 第22回高校生小論文コンクール | グループ部門<br>読売新聞西部本社賞 |
| 高校 | 山田南波 | 個人 | 第22回高校生小論文コンクール | グループ部門<br>読売新聞西部本社賞 |
| 大学 | アメリカンフットボール部 | 団体 | 関東学生アメリカンフットボール連盟1部TOP８　Bブロック | Bブロック1位<br>TOP８　2位 |

※2020年4月～2021年3月実績

**東方三博士の礼拝**

救い主イエス誕生を祝うために東方から来た博士たちが、黄金・乳香・没薬を捧げ、幼子イエスを礼拝する場面です。

荊冠堂チャペル ステンドグラス

# 広報活動

## ２０．発行誌の歴史

**①清水安三先生による『桜美林タイムス』1～4号**
**②清水安三先生による『復活の丘』　1955年8月1日第1号～1993年6月1日第150号**

**『復活の丘』**
**発刊のことば－清水安三**

帰国後（北京から）『桜美林タイムス』を発刊したが、その名称が特定の団体の読者を相手としているという理由で、第三種郵便物の認可を得られなかったために、たった4号までしか続かなかった。私共は、日本全国に向かって、否海外にまでも広く発送するので、認可せられぬと郵送料がかさむので困る。そこで、この度は『復活の丘』という新たなる名称を以て発刊することにした。『復活の丘』という名くらい、オビリンナーにとってなつかしき名称はなかろう。また、北京の東郊で一切を失って、精神的に死んじまった私たちが、東京の西郊のこの丘のふもとで、再び芽を吹き出して文字通り復活したのであるから謂わばこの丘の名そのものが、私たちを象徴しているのである。さればこそ何という誌名にしようか。『復活の丘』と名づけたら、それがいい、衆議一決して、この誌名を以て江湖大方に見えることとなった。どうかいく久しく御愛読を乞う。

『復活の丘』第１号/1955年８月１日

**本誌の使命**

「第一の目的は学園後援者への報告である。…第二の目的は父兄への呼びかけにある。…第三の目的は卒業生への呼びかけである。…第四の目的は、生徒を得るための宣伝である。…以上は最も主なる本誌の使命であるが、若しも今一つを加えることが許されるならば、それは学園創立者の精神、学園の歴史を後々の生徒、教職員達に知って頂くために、史料として後世に書き遺して置きたい。実はそれも本誌発行の目的の一つなのである。」

『復活の丘』第15号/1956年12月１日

**③151号より『同窓会だより』と名称変更して発行**

**『同窓会だより』**
**編集後記**

みなさん驚かれたでしょう。封を開けた途端「えっ、これなに？」でも驚いて下さってありがとうございます。しっかり読んで下さってる証拠ですから。中には封を開けもせずそのままポイ…。そこで編集委員一同無い知恵をしぼって何とか新しい企画はないものかと考えたのが、『同窓会だより』を先に、従来の『復活の丘』はうしろに持って来るという新しいスタイルでした。その大きな狙いは、卒業生も多士済々、政治経済・芸能・スポーツ等各方面で活躍する姿を、もっと気楽に（従って取材も楽に）お伝えしようというところにあります。

後半の『復活の丘』は大体今まで通りです。安三先生の説教、今回は短大入学式の式辞を載せました。

今号と次号二回に亘って、北京は崇貞学園の卒業生、玄次俊さんの寄稿文を載せます。流暢な日本文に感心させられますが、あの時代に政府の方針にも屈せず民族教育をやっていたなんて、改めて清水安三先生の偉さに感銘を受けたのは私だけではないでしょう。

151号を皮切りに始まったニュー・スタイルの『同窓会だより』、『復活の丘』皆様のご批判と感想をお寄せ下さい。

『同窓会だより』151号/1993年10月15日

＊『復活の丘』は清水安三先生が記事を書かれていて、当時秘書であった方は、パソコンもfaxもない時代に都心の発行所に原稿をもっていき、そこで安三先生の文字を校正したとお聞きしている。
安三先生召天のあとも、『復活の丘』発行を同窓会が引き継ぎ、『同窓会だより』として続けている。

## ２１.『復活の丘』復刻版

**1991年9月、『復活の丘』復刻版　第一巻（第1号～第100号）発行**
**1996年7月、『復活の丘』復刻版　第二巻（第101号～第150号）発行**

＊巻頭言　学園長　清水畏三先生(1991年当時)

故清水安三先生が自ら編集発行していた『復活の丘』誌が、このたび写真復刻されることになった。

桜美林学園の歴史にとっては、掛け替えのない極めて重要な資料である。しかし、用紙が粗製であるせいか、すでに赤茶けて永久保存が危うくなっている。そこで学園同窓会が配慮してくださることになり、誠に感謝である。

『復活の丘』第1号は1955年8月1日付けだ。A4版で4ページ分、いわば学園広報誌である。

安三先生が「発刊の言葉」を執筆し、郁子先生が「柿八年」と題する文章を書いている。当時の在学生数が記録されている。中学、高校、短大の合計で472人（うち寮生が166人）。個人消息欄には大野一男氏（学長　1991年当時）が8月5日、横浜出帆の氷川丸で米国留学の途につく、といった記事も。桜美林学園の創立は1946年5月だから、第1号の発行まですでに9年余を経ている。…当初は毎月1回の発行、しかし安三先生が年を取るにつれて、次第に発行間隔が延び、ついには年1回発行のいわば“年刊誌”なみになってしまった。

自ら執筆、編集できた最後は、どうやら1983年6月25日付け第134号であるらしい。この年、93歳の誕生日を同窓会で祝ってもらった。安三先生の召天後、『復活の丘』は同窓会誌として存続されることになった。

## ２２.『せん方尽くるとも』

### せん方尽くるとも

桜美林学園創立60周年を記念して、同窓会では『せん方尽くるとも』を発行しました。本の内容としては第一部：清水安三先生説教・講話集。第二部：桜美林学園史跡探訪（カラー写真入り）。附録として、清水安三先生語録、桜美林学園恩人録、桜美林学園年譜が収録されています。…本のタイトル『せん方尽くるとも』は清水安三先生の愛唱聖句「せん方尽くれども希望を失わず」(コリント後書4章8節)から採りました。

Profile

**小林　茂　牧師(51高校)**

元桜美林中学校・高等学校のチャプレン。30年近く桜寮舎監として、学内に居住。

長年に渡り、同窓会幹事として『同窓会だより』の編集にたずさわり、特に清水安三先生の説教の連載を続けてこられた。『せん方～』も、安三先生の孫である清水賢一先生が安三先生の説教や講話をテープに録音されていたものを、文字おこしされたのが小林先生であった。安三先生独特の節回しの口語を文に直すのにご苦労されたとお聞きしている。

現在、同窓会相談役。同窓会では2019年に、先生の永年の同窓会への貢献に感謝し、永年功労表彰を贈った。著書：『東支那海を越えて―清水安三先生の前半生―』

## ２３.「創立者清水安三先生生誕百二十年新聞」

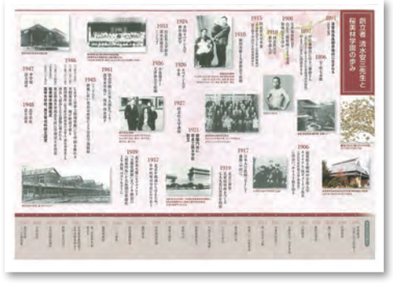
### 創立者清水安三先生生誕百二十年新聞

2011年、桜美林学園創立90周年、創立者清水安三先生生誕120年を記念し、同窓会では「創立者清水安三先生生誕百二十年新聞」を作成しました。

その後改訂時に「創立者清水安三先生と桜美林学園の歩み」とタイトルを変更しましたが、中国での教育活動、桜美林学園開校から今日までの学園の発展の流れをまとめたものです。A3の両面印刷で、一枚で桜美林学園の歴史がわかると発行当時、好評をいただきました。中高文化祭や大学祭、リ・ユニオン、各支部会活動等に際して、参加された方に配布しております。

1891 ～ 2011年版

1891 ～ 2019年版



1891 ～ 2016年版

# 広報誌一覧

ここでは、『復活の丘』後の『同窓会だより』と周年記念誌など同窓会名で発行したものを、まとめて掲載しています。

| 年 | 発行日 | 発行誌名 |
|---|---|---|
| 1975 | 07.04 | 同窓会会員名簿 |
| 1982 | 3月 | 同窓会会員名簿 |
| 1991 | 3月 | 『復活の丘』復刻版第1巻 |
| 1993 | 10.15 | 『同窓会だより』151号 |
| 1994 | 06.01 | 同 152号 |
| | 10.15 | 同 153号 |
| 1995 | 06.01 | 同 154号 |
| | 10.15 | 同 155号 |
| 1996 | 05.15 | 同 156号 |
| | 6月 | 『復活の丘』復刻版第2巻 |
| | 8月 | 同窓会会員名簿 |
| | 10.15 | 『同窓会だより』157号 |
| 1997 | 06.01 | 同 158号 |
| | 10.15 | 同 159号 |
| 1998 | 06.01 | 同 160号 |
| | 10.15 | 同 161号 |
| 1999 | 06.15 | 同 162号 |
| 2000 | 01.31 | 同 163号 |
| | 06.01 | 同 164号 |
| | 10.15 | 同 165号 |
| 2001 | 07.15 | 同 166号 |
| 2002 | 01.31 | 同 167号 |
| | 07.01 | 同 168号 |
| 2003 | 01.31 | 同 169号 |
| | 07.01 | 同 170号 |
| 2004 | 01.31 | 同 171号 |
| | 07.01 | 同 172号 |
| 2005 | 02.01 | 同 173号 |
| | 07.20 | 同 174号 |
| 2006 | 02.01 | 同 175号 |
| | 4月 | 学園創立60周年記念『せん方尽くるとも』発行 |
| | 07.01 | 『同窓会だより』176号 |
| 2007 | 05.01 | 同 177号 |
| | 11.15 | 同 178号 |
| 2008 | 05.01 | 同 179号 |
| | 11.15 | 同 180号 |
| 2009 | 05.01 | 同 181号 |
| | 11.01 | 同 182号 |

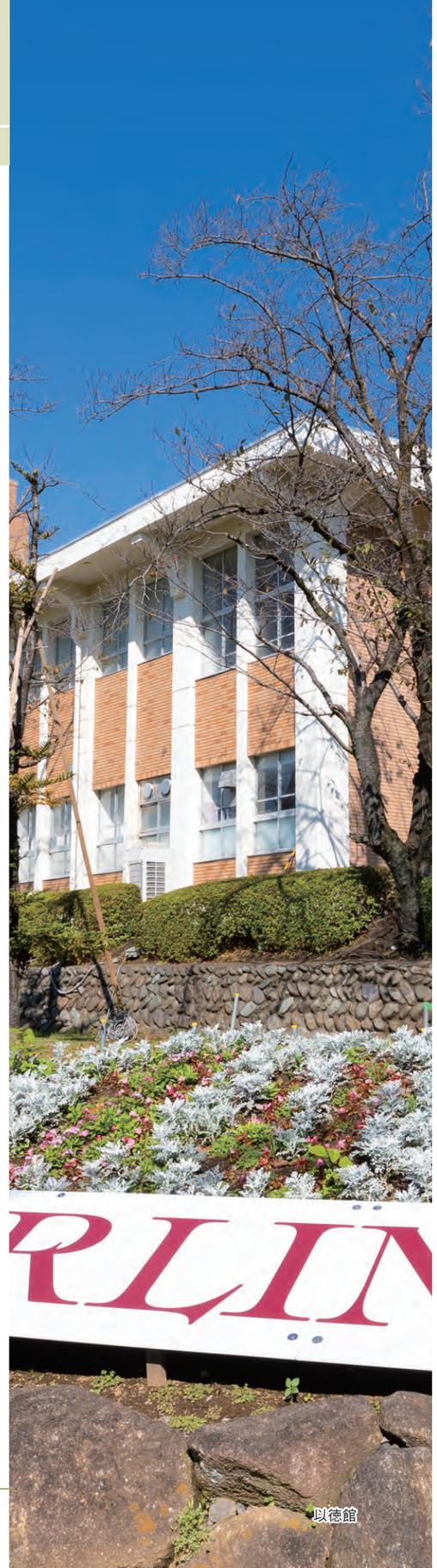
| 年 | 発行日 | 発行誌名 |
|---|---|---|
| 2010 | 05.01 | 『同窓会だより』183号 |
| | 11.20 | 同 184号 |
| 2011 | 06.01 | 同 185号 |
| | 8月 | 「創立者清水安三先生生誕百二十年新聞」 |
| | 12.01 | 『同窓会だより』186号 |
| 2012 | 04.15 | 同 187号 |
| | 12.01 | 同 188号 |
| 2013 | 04.15 | 同 189号 |
| | 12.01 | 同 190号 |
| 2014 | 04.15 | 同 191号 |
| | 12.01 | 同 192号 |
| 2015 | 04.15 | 同 193号 |
| | 12.05 | 同 194号 |
| 2016 | 04.15 | 同 195号 |
| | 4月 | 『生誕百二十年記念新聞』改訂版の『桜美林学園の歩み』を発行 |
| 2016 | 12.05 | 『同窓会だより』196号 |
| 2017 | 04.15 | 同 197号 |
| | 09.22 | 『OBIRINER』41号「同窓会特集」(学園広報部発行) |
| 2018 | 02.26 | リーフレット　*毎年新しく同窓会会員となる卒業生に向けて発行配布。 |
| | 03.25 | 『同窓会だより』198号 |
| | 10.05 | 同 199号 |
| 2019 | 02.18 | リーフレット発行 |
| | 03.25 | 『同窓会だより』200号 |
| | 8月 | 『桜美林学園の歩み』を『創立者清水安三と桜美林学園の歩み』に改定 |
| | 09.20 | 『同窓会だより』201号 |
| 2020 | 02.13 | リーフレット発行 |
| | 03.20 | 『同窓会だより』202号 |
| | 09.01 | 同 臨時号 |
| 2021 | 0203 | リーフレット発行 |
| | 03.25 | 『同窓会だより』203号 |
| | 09.25 | 同 204号 |
| 2022 | 02.02 | リーフレット発行 |
| | 03.25 | 『同窓会だより』205号 |
| | 07.01 | 桜美林学園創立100周年記念 同窓会創立65周年記念誌(本誌)発行 |

## リーフレット発行

現在桜美林学園の卒業生は11万8千人を超えており、日本はもちろんのこと、世界中で活躍しています。毎年同窓会が行っている同窓生向けの行事や『同窓会だより』の発行はもとより、学園・学生への支援という幅広い活動をご理解いただくため、卒業を迎えた会員の皆さまに、2018年よりリーフレットを作成して、卒業式で配布しています。

## 同窓会会員名簿

1975年(昭和57年)9月、同窓会会員名簿が出来上がり、11月15日発行の『復活の丘』にて、おすすめお願いの文章が、清水安三先生、川村健爾先生(第4代学園長)、橋本英雄先生(当時高等学校校長)、小川留三先生(当時中学校校長)4名のお名前と共に掲載されています。その後1982年と1996年にも発行されましたが、個人情報保護法により、現在取り扱いはありません。



# 理事長・学園長・校長一覧

| 役　職 | | 就任日 | 氏　名 |
|---|---|---|---|
| 理事長 | 初代 | 1946年　5月29日 | 賀川　豊彦先生 |
| | 2代 | 1954年　2月　1日 | 小崎　道雄先生 |
| | 3代 | 1973年　1月17日 | 清水　安三先生 |
| | 4代 | 1974年　4月16日 | 田口　敏三先生 |
| | 5代 | 1988年　5月16日 | 清水　畏三先生 |
| | 6代 | 2000年　4月　1日 | 大野　一男先生 |
| | 7代 | 2003年　5月24日 | 佐藤　東洋士先生 |
| | 8代 | 2020年11月　9日 | 大越　孝先生 |
| | 9代 | 2021年　4月　1日 | 小池　一夫先生 |
| 学園総長 | 初代 | 1985年12月11日 | 清水　安三先生 |
| | 2代 | 2012年　4月　1日 | 佐藤　東洋士先生 |
| 学園長 | 初代 | 1946年　5月29日 | 清水　郁子先生 |
| | 2代 | 1964年　6月25日 | 清水　安三先生 |
| | 3代 | 1974年　6月29日 | 清水　畏三先生 |
| | 4代 | 2000年　4月　1日 | 川村　健爾先生 |
| | 5代 | 2004年　4月　1日 | 柳原　鐵太郎先生 |
| | 6代 | 2012年　4月　1日 | 佐藤　東洋士先生 |
| 大学長 | 初代 | 1966年　1月25日 | 清水　安三先生 |
| | 2代 | 1985年12月11日 | 大野　一男先生 |
| | 3代 | 1996年　4月　1日 | 佐藤　東洋士先生 |
| | 4代 | 2012年　4月　1日 | 三谷　高康先生 |
| | 5代 | 2018年　4月　1日 | 畑山　浩昭先生 |
| 短期大学長 | 初代 | 1950年　3月14日 | 清水　安三先生 |
| | 2代 | 1989年　4月　1日 | 三田　宰子先生 |
| | 3代 | 2001年　4月　1日 | 岡村　登志夫先生 |
| | 4代 | 2006年　4月　1日 | 佐藤　東洋士先生 |
| 高等学校長 | 初代 | 1948年　3月10日 | 清水　郁子先生 |
| | 2代 | 1953年　9月　1日 | 川上　ヨシ先生 |
| | 3代 | 1963年　4月　1日 | 橋本　英雄先生 |
| | 4代 | 1984年　3月20日 | 村田　幸郎先生 |
| | 5代 | 1988年　5月16日 | 奥脇　信久先生 |
| | 6代 | 1998年　4月　1日 | ヒックス・ジョーゼフ先生 |
| | 7代 | 2004年　4月　1日 | 本田　栄一先生 |
| | 8代 | 2013年　4月　1日 | 大越　孝先生 |
| | 9代 | 2022年　4月　1日 | 堂本　陽子先生 |
| 中学校長 | 初代 | 1947年　3月20日 | 清水　郁子先生 |
| | 2代 | 1951年　4月　1日 | 川上　ヨシ先生 |
| | 3代 | 1953年　9月　1日 | 清水　郁子先生 |
| | 4代 | 1964年　4月　1日 | 宗像　完先生 |
| | 5代 | 1970年　4月　1日 | 小川　留三先生 |
| | 6代 | 1987年　4月　1日 | 村田　幸郎先生 |
| | 7代 | 1988年　5月16日 | 奥脇　信久先生 |
| | 8代 | 1998年　4月　1日 | ヒックス・ジョーゼフ先生 |
| | 9代 | 2004年　4月　1日 | 本田　栄一先生 |
| | 10代 | 2013年　4月　1日 | 大越　孝先生 |
| | 11代 | 2022年　4月　1日 | 堂本　陽子先生 |
| 幼稚園 | 初代 | 1968年　3月28日 | 清水　安三先生 |
| | 2代 | 1988年　4月　1日 | 高垣　岬先生 |
| | 3代 | 1997年　4月　1日 | 柳原　鐵太郎先生 |
| | 4代 | 2006年　4月　1日 | 藤崎　堅信先生 |
| | 5代 | 2008年　4月　1日 | 羽根田　実先生 |
| | 6代 | 2017年10月　1日 | 志村　望先生 |



# 安三先生語録

※語録末尾の年月日は『復活の丘』『同窓会だより』発行日。
※色紙の年齢は書かれた当時のもの。

①

## 福為可禍轉 …… 写真①

（「災い転じて福となす」1956 年 3 月の火災により講堂と炊事場、倉庫、製パン工場を消失したが、父兄、卒業生、PTA など多くの方々に見舞金を戴いた感謝の気持ちを込めてしたためた。）

## 一天比一天好 …… 写真②

②

## せん方尽くれども希望を失わず

（私たちは、四方八方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず。）
（コリント後書　4 章 8 節）　1987・6・1 …… 写真③

③

## 学而事人（がくじじじん）（学んで人に事える――論語）　1987・11・1 …… 写真④

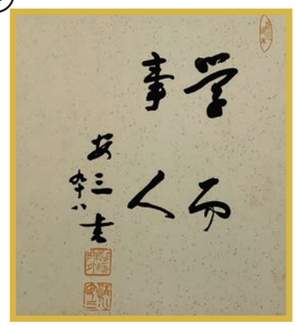
## 二里偕行

（人もし汝に一里ゆくことを強いなば、共に二里ゆけ：マタイ 5 章 41 節）　1988・6・1

## Learning and Labor

1988・11・1

④



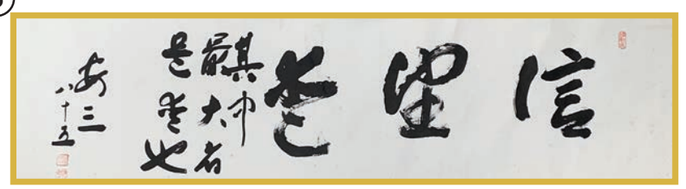

## それ信仰は望むところを確信し、見ぬ物を真実とするなり

（ヘブル 11 章 1 節）　1989・6・1 2003・1・31

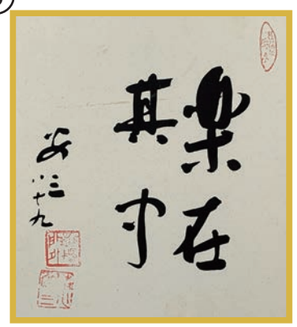
## 信望愛

（げに信仰と希望と愛と此の三つの者は限りなく存らん：コリント前書　13 章 13 節）
1989・11・1 …… 写真⑤

⑤




⑥




## 楽在基中

（楽しみ其の中に在り―論語）　1990・6・1 …… 写真⑥

**如蛇如鳩**
（蛇のごとく慧く、鳩のごとく素直なれ：マタイ 10 章 16 節）
1990・11・10 ……写真⑦

**老人は夢を見、若者は幻を見る**
（ヨエル 2 章 28 節） 1991・7・1

**笑って答えず心自ら閑**（とざす）（李白「山中答俗人」）
1991・11・30 ……写真⑧

**如己愛人**
（おのれの如く、なんぢの隣人を愛すべし：マタイ 22章39 節）
1992・5・15

**明月不沈波**（明月波に沈まず：中江藤樹） 1993・6・1

**学道愛人**（道を学び人を愛す：孫文） 1993・10・15

**利人不利己**（人を利して己を利さず：毛沢東） 1995・6・1

**苦中有望**（苦しき中に望み有り）1995・10・15 ……写真⑨

**夢を見よ夢は必らず成るものぞ、
うそと思わば甲子園に聴け**『石ころの生涯』
夏の甲子園で優勝した後、教育雑誌社から電話があり「あなたの教育を一言でもって尽くせば？」と訊かれたので一言ではなく二言で言うと「生徒に夢を抱かせよ、教育とは結局、愛である」とお答えした。今にうちの高校チームは甲子園で優勝する！と言うて来たがとうとう夢はうつつとなったではないか。しかし夢がうつつとなるまでには、長い長い年月を要した。1996・5・15 ……写真⑩

**今一度　生れ来らば今一度
同じ生涯　生きむとぞ思う**『石ころの生涯』
1996・10・15

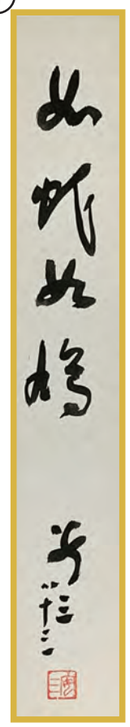
**良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ**
（マタイ 7 章 17 節） 1997・6・1

**終まで耐へ忍ぶものは救はるべし**
（マタイ 10 章 22 節） 1997・10・15

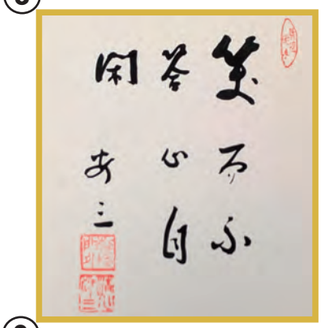
**簡素静寂是本髄**（かんそせいじゃくこれほんずい） 1998・6・1

**わが霊や　天に昇らで　永えに
止まるべきぞ　桜の園に**『石ころの生涯』
（清水安三先生八十六歳の元旦に詠まれた辞世の歌。
私の魂は死んでも天国には行かず桜美林の中に留まって 皆を見ている）… 写真⑪

⑦



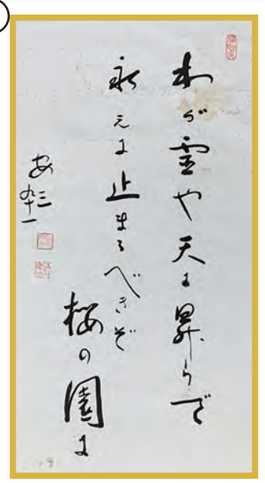
⑧



⑨

⑩

⑪





**忍の一字** 2000・1・31 ……写真⑫

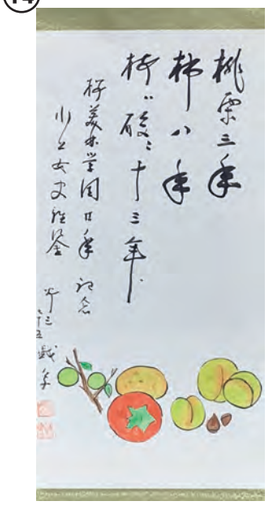
**足跡を日本中国両国に遺して逝くを誇らざら免や** 2000・10・15

**三十歳の祭を迎え百歳の企て立てよ我ら同胞** 2002・1・31
**学長補短（長を学び短を補う）** 2002・7・1

⑫

⑬

⑭



**清濁合呑太平洋　男児須跨太平洋可活躍**
（清濁合わせ太平洋を呑む　男児須らく太平洋を跨いで活躍す可し）2003・7・1

**キリストに　欺かれたり　うまい物
一生食わずに　過ごし来る哉** 2004・1・31

**春風を帆一ぱいに舟出かな**『石ころの生涯』
学園創立の日に、帰国後お世話になった江ノ島の林彰文堂別宅を出て江ノ電で藤沢に向かう途中にて詠む

**粗衣粗食われ六十年（むとそせ）を生きにけり
わが生涯は面白ろかりき**『石ころの生涯』
還暦の年ブラジルへ募金講演旅行中木賃宿の逆旅（げきりょ）にて詠む

**夢見つつここにこそと生きにけり
夢は醒めたり帰りなむいざ** 1974・5・15
終戦後、北京、朝陽門外を立ち去る時に得たるもの

**孝の一字** 2005・2・1 ……写真⑬

**桃栗三年柿八年梅は酸っぱく13年**『石ころの生涯』
（桃栗三年柿八年梅は十三年だ。この林の木々の成長は遅いと言わんといておくれ、学校にはどうしても、五十年の歳月をかけねばならんものだ。安三先生思いを詠む…… 写真⑭

# 校　歌

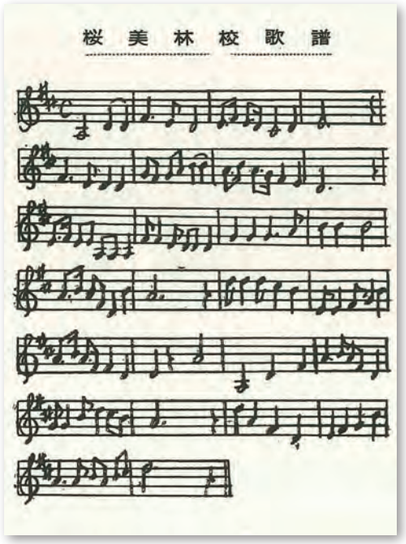
## 新しい校歌

従来は歌詞こそ違え、大伴家持の『海行かば』の譜で校歌を歌っていた。あれでは他日、学園の野球チームが甲子園へ行った場合、『海行かば』の詩が放送されたなら、全国民がびっくり仰天するだろう。あの譜は実に立派な楽譜であるから校歌として用いる時に、後の世に遺るとまで考えたが、やっぱりもう一つ別な校歌を作ることにした。

今度の歌詞は

1.
大空遥か踵をあげて
富士の高嶺は　のぞいてる
桜の園の若人たちは（女声）
桜の園の若人たちは（男声）
健やかに（女声）　逞しく（男声）
育つかと
あゝ　オベリンナー　もろ手をあげて
イエスイエスイエスと（女声）
イエスイエスイエスと（男声）
叫ぼうよ

2.
大空高く十字架の立てる
復活の丘は　きいている
桜の園の若人たちは（女声）
桜の園の若人たちは（男声）
きよらかに（女声）　いさましく（男声）
生けるかと
あゝ　オベリンナー　もろ手をあげて
イエスイエスイエスと（女声）
イエスイエスイエスと（男声）
叫ぼうよ




この歌詞の意味はこうである。1番の富士の高嶺（たかね）が踵（かかと）をあげてのぞいているというのは学園から遥かに仰ぎ見る富士山は丹沢の山々に隠れて、九合目以上しか見えないので、さながら踵をあげてのぞいている如くに見えるからである。これは富士の高嶺といっても、神様を象徴したもので、神様が「今朝も桜美林学園はうまく運ばれているかなー」とのぞいて居られるというところを歌ったものである。

2番の十字架建てる復活の丘が眺めているというのは、十字架ですから、イエス様が眺めていられるというところを象徴したのである。現にこの度建てられたチャペルの高い塔には、十字架が立てられている。この十字架は銅であるから2、3年もすれば緑錆がふいて必ずやおごそかな渋味のある色に変わるであろう。あゝオベリンナーというのはObirinerといってオベリン人（びと）という意味である。

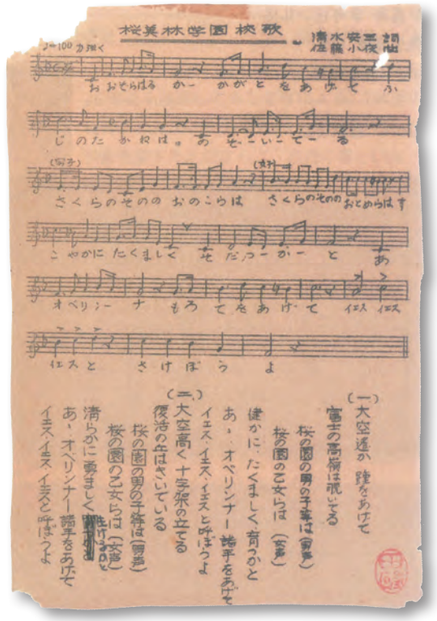
この校歌の特徴は、第一に歌詞が現代語であることだ。「叫ばなむ」とでもいえば詩趣を感じもするが、もう昔の語調にのみ詩趣を持つべきでないから、すっかりモダンな日本語にした。第二の特徴は男女共学であるから女声男声が交々その特色のある高低の音色で以て、唱える様にしておいた。第三の特徴はオベリンナーとか、イエスイエスイエスという様に横文字を混じたところが一層モダンモードが見出される。

ちなみに作詞は例の如くに清水安三先生で、作曲は小川留三先生である。

『復活の丘』第31号/1958年12月15日



## 幻の校歌に旧交を深めて




「校歌の作曲は小川留三先生と佐藤小夜先生（当時の音楽教師）お二人の競作で、生徒の人気投票なしで小川留三先生作曲の現校歌に安三先生が決められたようです。（左の楽譜は採用されずに幻となった佐藤小夜先生作曲のもの。リ・ユニオンの際に駒田一郎さん（59高校）からお預かりしたもの）」

『同窓会だより』201号/ 2019年9月20日

「海ゆかば」の楽譜で歌った旧校歌

# 旧荊冠堂と校章

## 旧荊冠堂

イエス・キリストが十字架にかけられたとき、荊（いばら）の冠をかぶせられました。これは、ユダヤ人の王と慕われていたので、敵からののののしりの印とされた物です。十字架上で、両手と両足に3本の釘を打ち付けられるという残酷な刑でした。このキリストの苦難を経て、私たちは神の栄光に導き入れられるというキリスト教信仰をシンボライズしたのが、本学園の校章です。荊冠（けいかん）に3本の釘をあしらい、中央上部に十字架と栄光を表す円を配置しました。（「高校生活の手引き」または、中学校の「学校生活の手引き」より）

創立40周年を記念して校旗が作られ、学園共通の校章が制宣されました。従来のものと釘の位置が逆（上に2本、下に1本）上部に十字架がデザインされています。十字架の背後にある円形が栄光を表す、スリーネイルズクラウン「苦難を経て栄光に至る」という意味です。

『復活の丘』第138号/1987年6月1日

校章

## お別れ礼拝

去る2006年2月25日（土）に「荊冠堂チャペルお別れ礼拝」が執り行われた。出席者は600名以上であった。また、桜井先生のもと、高校・大学の聖歌隊のＯＢ・ＯＧをはじめ、現役の学生のクワイヤーも加わり、80名を超える聖歌隊が結成され、素晴らしいコーラスが披露された。第2部は、卒業生や先生方のスピーチがあり、それぞれの時代の荊冠堂チャペルに思いが語られた。その後、桜カフェに場所を移し、和やかな懇親会で幕を閉じた。

『同窓会だより』176号/2006年７月1日

心の故郷桜美林。大学、短大聖歌隊の創設者渡辺麗子先生が、礼拝直後に荊冠堂１階の聖歌隊部室にいらっしゃって、懐かしい仲間、現役メンバーと親しく過ごされました。

佐々木　政幸（82 大英）

チャペルが一番思い出深い場所です。冬は寒くて足元のパイプの暖かさ、ダルマ型ストーブのそばの熱さが懐かしく思い出されます。聖歌隊はガウンを着ていたので暖かかった。

村松　朝子（94 大国）

## 荊冠堂チャペル新旧交代

**チャペルの思い出　　柳原鐵太郎（57高校）**

①旧荊冠堂が建てられる前は、礼拝は今の桜寮の場所にあった古い建物である講堂で行われた。毎朝、清水安三先生の説教であった。次の時間の授業が抜けたことをよく覚えている。特に思い出に残ることは、安三先生の説教であった。これ程、楽しくて面白い説教があるのかと思える程の説教であった。

しかし、その古いチャペルも1958年3月8日の卒業式の真最中に火事になった。私は、その時の卒業生の1人である。

②旧荊冠堂に私が初めて入ったのは、1964年の4月である。就職1年目で、他の先生方と一緒に生徒一同に紹介される時であった。その時、安三先生が言われたことは「どうじゃ、素晴らしいチャペルだろう。特に音響効果は他にはないものであろう」ということであった。ちょっと私は、言葉に詰まってしまった。それは、皆さんが旧荊冠堂を思い浮かべて頂ければ、すぐにおわかりになられることだと思う。

困ったのは、午後のチャペルの掃除だった。今の図書館の所がグラウンドで、砂ぼこりが凄かった。ほこりがチャペルにも入ってきて、掃除の時、チャペル内にほこりが舞い上がったことを覚えている。その当時の生徒たちは、覚えているのではなかろうか。

③2008年4月、新荊冠堂が与えられたことは、喜ばしいことである。音響効果がよく、オルガンも素晴らしいものが与えられた。これから、新荊冠堂は礼拝を中心として色々に用いられると思う。ここで育った青年が、大きく世にはばたく場所であって欲しいと願いながら、教育活動を行いたい。

『同窓会だより』179号/2008年5月1日

Profile

**柳原鐵太郎牧師**

桜美林高校卒業後、国際基督教大学卒業、関東学院大学大学院神学研究科修了。
桜美林大学教授、チャプレンや桜美林幼稚園園長、桜美林教会主任牧師、桜美林学園学園長を歴任。現在は桜美林大学名誉教授、桜美林教会協力牧師。

2017.9.10撮影

# 学園建物・史跡由来（町田キャンパス）

※現在スクールバスは、淵野辺駅行きと多摩センター駅行きがあります。

**①荊冠堂**（けいかんどう）
2008年落成
旧荊冠堂と旧短大校舎跡を整備し、新荊冠堂に生まれ変わった。

**②理化学館**
2008年落成
清水安三先生の希望であった医学部創部はかなわなかったが、新荊冠堂とともに理化学館が誕生した。

**③サレンバーガー館**（旧Ｌ．Ｌ館）
1983年、短大専用校舎として落成
L.L館とは、命名者の清水安三先生自ら二説を主張。一説はLanguage Laboratory「語学演習室」もう一説はLearning and Labor「学習と労働」。2007年度に名称変更。アメリカ駐留軍厚木基地の少佐級のチャプレンだったサレンバーガー氏が、桜美林学園のために土地購入費用として、基地における礼拝献金をそっくり寄付されたことによる。

**④以徳館**（いとくかん）
1972年落成
「怨に報いるに徳をもってす」という老子の格言から得たもの。
2022年3月に、同窓会室が移転。

**⑤三到図書館**（さんとうとしょかん）
1970年完成
桜美林に初めて本格的な独立した図書館が完成した。
三到とは、朱子の言葉で心読看読することをいう。『せん方尽くるとも』

**⑥更賜体育館**（こうしたいいくかん）
1966年、桜美林学園創立20周年を記念して、待望久しかった体育館が完成した。
戦前、本学の前身である北京の崇貞学園にあった体育館が終戦後没収された。
だが今、また更に、神様より賜ったという故事が名称の由来。

**⑦止戈徳館**（しかとくかん）
1974年落成
ある時安三先生が校内を歩いていると、高校女子剣道部の生徒が踵を真っ赤にしながら、素足のまま冷たいコンクリートの上で素振りをしているのを目にとめられ建てたのが、この剣道、柔道プラストレーニングセンターの建物。

**⑧清友館**（せいゆうかん）
1977年落成
止戈徳館に隣接し、ロードサイドグランドに面した学生たち憩いの場。讃美歌452番から交情清らかな友を意味する。高校野球部が甲子園出場の度に常宿とした旅館が「清友旅館」だったので、それに因んで命名された。現在はコンビニも入っている。

**⑨明々館**（めいめいかん）
2006年落成
明々館の名称の由来は「明明徳」から得た。「明明徳」とは、私欲で覆われ暗くなっている、生まれながらに備わっている人間の特性を、私欲を払い除くことによって明らかにするという意味である。学園創成記の鉄筋コンクリート校舎第1号であった明々館がその役割を終え、新たに建設されたこの建物に機能を引き継ぐ。9階にはウッドデッキの屋上庭園。1階のエントランスロビーは床暖房システム完備。
『同窓会だより』176号/2006年7月1日

**⑩太平館**（たいへいかん）
1994年落成
「太平」とは、世の中が静かに治まること。桜美林学園創立当時の校歌、「養はむかな萬世に太平拓く大和心を」という句節から得た。また、崇貞女子工読学校が北京の朝陽門外の太平倉で開校式を行ったことにちなんで命名された。（この建物は、元女子寮「太平荘」を取り壊した跡地に建設。）

**⑪崇貞館**（すうていかん）
2002年落成
崇貞の名は、学園の創立者である清水安三先生が中国北京の朝陽門外に設立した崇貞学園（1921年創設）に由来している。123以上の研究室が入り、学生のためのカフェテリアなどが配置された。

**⑫栄光館**（えいこうかん）
1999年落成
学園の発展のために全職員が共に汗をして学び、努力を惜しまず、生徒や学生そして社会に役立つこと、希望に向かって励むことの機会を与えられるという願いを込められて建設された。1階は学生ラウンジ、その他は事務部門が配置されている。
『同窓会だより』164号/2000年6月1日

**⑬碩学会館**（せきがくかいかん）
1979年落成
「碩学」とは大学者のこと。「桜美林の教員たちは学問諸分野の第一人者たれ」という、安三先生の励ましの思いで命名された。

**⑭亦説館**（えきせつかん）
1963年 第二期工事落成
これは「学んで時に習う また楽しからずや」という論語の一句から得たのである。

＊⑭～⑯までの建物が移転。開発地域となり、今後工事予定

**⑮其中館**（きちゅうかん）
1973年落成
論語の「子曰く、疎食（そし）を食ひ、水を飲み、肘を曲げて之を枕とす。楽も亦其の中に在り」とある、その「其の中」を採って名付けられた。できた当時は法人本部などが入っていた。

**⑯旧同窓会館**
1975年に同窓生（中原一雄氏の設計）で建設された建物。当初、生徒会館として、その後、長い間入試事務室（アドミッションセンター）として使われていた。
2004年11月から2022年3月まで、同窓会事務局として使用されていた。

**⑰待望館**（たいぼうかん）
1975年落成
400名大教室が2つ、200名大教室が2つなど。
1972年の以徳館ではまだ足りず、さらに大きな教室が待望されていた。
『同窓会だより』162号/1999年6月15日

**⑱けやきの広場**
1981年完成
学園東側の敷地に憩いの広場ができた。以前はバレーボールやテニスなどのコートや通路などに使われていた。広さは、約2400平方メートル。
その他野外ステージが設けられ、大学祭のときには観客を集めている。
『せん方尽くるとも』

**⑲一粒館**（いちりゅうかん）
2004年落成
大学インフォメーションセンター。

**⑳学而館**（がくじかん）
2007年落成
基盤教育センター。

**㉑黎明館**（れいめいかん）・**同志館**
1999年落成
それまで崇貞館と硯学会館の間に建っていた部室が矢部八幡の森に隣接する一角に移転したもの。町田街道沿いに建っているのが黎明館、奥が同志館。

**㉒桜寮**
1983年完成
現在の桜寮は、基本的に「広々とゆったり」を目標に設計した。町田街道沿いに地上4階地下1階、のべ面積は約3400平米。短大、大学の女子学生用である。「ソーラーシステム」を給湯に使うことになっている。4人で一部屋の構成。
『復活の丘に見る桜美林学園の歩み』

**㉓徳望館**（とくぼうかん）
1987年落成
創立者、清水安三先生の愛踊聖句「為ん方尽くれども望みを失はず」（コリント後書）に意を取り望みを得（得望）とした。また中国の古い訓話に「徳は得なり」というので「徳望」とした。徳ある名望（名声）の意も兼ねている。

**㉔又賜体育館**（ゆうしたいいくかん）
1980年夏完成
復活の丘の中腹に、昔あった味噌工場近くに建てられた。又々賜ったという意味である。屋根にはソーラーシステムが設置され、省エネルギーに協力している。
『同窓会だより』172号/2004年7月1日

**㉕紫雲館**（しうんかん）**大学弓道場**
2017年落成

**㉖老実館**（ろうじつかん）
1984年落成
メイングラウンド沿いに中高に向かって歩いていった、左側にあるレンガ色の建物。1階が老実館食堂になっている。
『同窓会だより』180号/2008年11月15日

**㉗桜美林中学校　立志館**（りっしかん）
2001年落成
4階建てで、上から見ると三角形に近い形をしており、大きな特徴はなんといっても中心部で、1階のエントランスホールは4階まで吹き抜けになっている。

**㉘桜美林高校　大志館**（たいしかん）
1992年落成
各階が別々の色でコーディネイトされた近代的な建物。校舎以外の体育館部分としては1階に屋外のスポーツ種目が雨天時に練習できる広場及び楽器の練習ホール。2階は教員室及び400人収容の食堂。3階は軽スポーツホール。4、5階が1500人収容できる体育館兼多目的ホール。

**㉙桜美林幼稚園**
1987年落成
園舎の象徴は「イエスと幼な子」のステンドグラスである。階段の踊り場から幼な子らを見守る柔和なキリストは、高校の中里光教諭の原画を、仏国で製作したもの。清水安三園長（当時）は「幼児教育は、いずれの学校教育に勝って大切」と言われた。

**㉚石ころ庵**
1970年完成
安三先生はご自身で進んで会堂守を買って出て、終の栖とすることを決心されていた。1970年完成し、「石ころ庵」と名付けられた。「神はこれらの石ころからでもアブラハムの子を起こすことができるのだ」から「石ころ庵」や『石ころの生涯』という本の題名とともにご自身に当てはめられた。

**㉛桜美林教会（日本基督教団　復活の丘教会）**
1966年7月15日完成
1964年頃から復活の丘頂上に教会を建てたいという願いが高まり、当時の教員・生徒学生さらには外国からのボランティアによって、コンクリートブロックを積み上げ手作りの教会が完成した。1967年より日曜日には欠かさず礼拝が守られており、時には結婚式・葬式も行われている。

**㉜川上記念教育館**
1991年落成
元桜美林中学校・高等学校長川上ヨシ先生が退職金をすべて桜美林学園と桜美林教会に捧げられた。その結果、学園ではチャペルにパイプオルガンを設置し、教会では教育館を建設するにいたった。これを記念して、「川上記念教育館」と命名した。美しいステンドグラスの窓からの光が美しい。

**㉝復活の丘**
「復活の丘」の名称は、中国に残してきた崇貞学園をあそこに復活させるぞという希望をもって名付けられたもの。当初はグランド北側の道路から上全部が「復活の丘」と呼ばれていたが、現在は尾根緑道ぞいの高台を称している。

**㉞常盤館（株式会社ナルド）**
旧施設管理部棟。現在は桜美林学園100%出資事業会社。

# 史跡

### Ⓐ-1 安三先生銅像

1986年6月1日除幕式
桜美林学園同窓会学園創立40周年記念事業として建立。
新荊冠堂が建てられた後、理化学館の前を整備し、安三先生の銅像、郁子先生のレリーフ、「せん方の碑」がチャペルや学園を見つめている。

### Ⓐ-2 郁子先生レリーフ

1977年10月2日除幕式
郁子先生召天後13年たって造られた。東京女子高等師範学校卒業後に渡米し、オベリン大学、ミシガン大学院で学ばれ女性の権利向上を訴え、日中教育文化交流に尽力し、桜美林学園の創立発展に生涯を捧げられた郁子先生。2016年お茶の水女子大学では、郁子先生の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、人文社会科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰することを目的に「小泉郁子賞」を創設した。

### Ⓐ-3「せん方尽くれども　希望を失わず」碑

安三先生愛唱の聖句。（コリント後書　4章8節）
この石碑は元PTA役員松田幹夫さんの寄付。

### Ⓐ-4「大学設立こそは少き（わかき）日に 新島襄に享けし夢かも」石碑

1996年74歳にして大学設立の許可を得た。その場の喜びを歌ったもの。桜美林大学設立は若い時からの新島襄先生(同志社大学設立者)から受けた夢であり、野望であった。

### Ⓑ 中江藤樹陶像

中江藤樹は安三先生の生家の隣村安曇川町出身、江戸時代の儒学者。安三先生の一生の心の師。この陶像は郷里滋賀県の信楽焼である。
（本誌5頁参照）

### Ⓒ-1 清水美穂先生懐念碑

1995年1月30日記念碑除幕式
「利人不利己、愛的奉献」
崇貞学園第1期生として清水安三先生の教えを受け、その後母校崇貞学園の教員もなさった馬淑秀先生が、1994年7月に来校され、特別講演をされたときに、講演の謝礼金を返されて「これで美穂先生の記念碑を造ってください」と差し出された。その費用で建立された石碑。

### Ⓒ-2 創立者誕辰百年記念石碑

### Ⓓ 清水安三先生辞世の句

「わが霊や　天に昇らで永遠に　止まるべきぞ桜の園に」
清水安三先生80歳の元旦に詠まれた辞世の歌。安三先生は80歳ころから、毎年「私は今年中に死にます」と言われるのが口癖になった。それから16年も生きられたので、辞世の歌も「昇らず」になったり、「永久に」になったりした。先生長生きの証である。私の魂は死んでも天国には行かず桜美林の中に留まって皆を見ているという意味である。

## ひろがる桜美林キャンパス

### プラネット淵野辺キャンパス（PFC）　2003年4月開設。

故佐藤東洋士理事長によると「相模原市の淵野辺という町は、周辺に文部科学省の宇宙科学研究所がある関係から、もともと【銀河をかけるまち】というキャッチフレーズを持ち、駅前通りにも星座の名前がついています。駅前にキャンパスをつくるなら、市の街づくりに関連するイメージづくりをしたいということで【プラネット淵野辺キャンパス】のニックネームになりました。」
『同窓会だより』170号/2003年7月1日

### 多摩アカデミーヒルズ（多摩キャンパス）

もともとは社会保険庁所有「ウェルサンピア多摩」。社会保険庁改革の一環として一般に競争入札が行われ、桜美林学園が落札した建物。航空、マネジメント学群の拠点のほか、学園の研修や会議、同窓会活動の支部会懇親会会場としても利用されている。
『同窓会だより』184号/2010年11月20日

### 千駄ヶ谷キャンパス　2015年9月に四谷キャンパスより移転。

JR千駄ヶ谷駅より徒歩6分というところにあるキャンパスで、社会人の通学にも便利な立地であり、グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム、老年学学位プログラムなどの大学院生の為のキャンパスとなっている。

### 新宿キャンパス　2019年4月開設。ビジネスマネジメント学群校舎

新宿区百人町3丁目の国有地を取得。新宿に進出することで、都心にある各大学との活発な交流により、学生の視野を広げる事を目的としています。また、企業と連携した実践的教育を強化するため、食堂・カフェ・厨房や屋上イベントスペースなどは、全て学生のための実習の場として活用されます。日本初の本格的な電子図書館計画も、国内外の教育関係者から注目を集めています。
2017年3月『OBIRINER No.40』より

### 東京ひなたやまキャンパス　2020年4月開設。　芸術文化学群校舎

町田市本町田の本町田中学校と本町田西小学校の跡地を市から借り受け、延べ約2.2万平方メートルの新キャンパスを開設。町田キャンパス（常磐町）にある芸術文化学群を移転。教室棟、スタジオ棟、音楽棟など、用途に合わせた5つの建物で構成され、2022年4月には劇場、音楽ホール、ギャラリー棟も整備。
2019年3月『J.F.Oberlin　Tokyo No.1』より

# 桜美林学園創立100周年記念
# 同窓会記念事業

同窓会では、学園創立100周年を記念して、五つのプロジェクトを企画し現在(2022年5月)進行しております。

## VOL.1。桜の園日本一計画

桜の林の中に校舎が建てられていると詠った清水安三先生と郁子先生。お二人が学ばれたオベリン大学に因んだ「桜美林」の名に相応しい学び舎を、今後この学園で過ごす後輩たちのために、そして同窓生のために、さらに未来の学園のために、日本一の桜の園にすることを目指したプロジェクトです。同窓生の皆さまから寄付金の協力をいただき、新たな桜植樹、植え替え費用、そして養生費用に充てさせていただき、ご寄付をいただいた方のお名前を学園に刻んでいきます。

(プロジェクトリーダー 大沢 則夫 96大院)

大学生協西側

桜植樹第1号「けやきの広場」
故佐藤東洋士理事長のご高配により1本目を植樹

三角駐車場奥

## VOL.2。同窓会創立65周年記念誌(本誌)

同窓会の成り立ち、創立者の想いなど、学園で青春を過ごしたすべての卒業生の方々にあの頃の想いや郷愁を感じてもらいたい。そしてこれから同窓会を支えていく未来の仲間たちに向け、学園創立100周年を祝い、同窓会65年の活動の歴史を振り返ってもらうための記録と記憶の一冊。(2022年7月冊子発行、データ版2022年12月配信予定)

(プロジェクトリーダー 田邊 佳織 77大英)

## VOL.3。石ころ庵改修・復活の丘聖地化プロジェクト

創立者清水安三先生の生き様と精神が刻まれている石ころ庵(先生が住まわれていた家屋)、そして桜美林教会礼拝堂、川上記念館など、学園の歴史が刻まれている復活の丘の聖地化を目指すプロジェクトです。創立100周年を機に、完成まで数十年を要する同窓会史上最も壮大な計画です。

(プロジェクトリーダー 木村 智次 00大国)

## VOL.4。中国・北京 陳経綸中学訪問ツアー

桜美林学園のルーツである北京陳経綸中学(元崇貞学園)を訪問する。崇貞学園は今、そして崇貞学園から桜美林学園はどのようにして続いていったのか‥ここでしかわからない、創立者清水安三先生・郁子先生の軌跡を巡る旅!100周年記念ツアーとして現在航空会社と企画検討中。実施は2023年を予定しています。

(プロジェクトリーダー 数馬田 啓 94大国)

清水安三先生胸像

開校当初の崇貞学園

現:北京陳経綸中学門

現在の陳経綸中学の門。表には現在の名前、裏には「崇貞学園」と記されている。
(2011年10月15日現在)

## VOL.5。清水安三先生関連書籍感想文コンクール

創立者清水安三先生、美穂先生、郁子先生の業績を偲び、キリスト教主義に基づく人道主義の精神を広く周知するために開催を検討しております。学園設置校の生徒および学生、そして卒業生、一般に至るまでコンクールの対象としており、本年より募集する予定です。対象書籍は『希望を失わず』『石ころの生涯』『朝陽門外』としております。

(プロジェクトリーダー 大沢 則夫 96大院)

同窓会ではこれまで様々な事業を重ねてまいりました。この100周年記念事業も学園の発展、そして同窓生の活力に繋がるよう願っております。今後も新たな100年に向け同窓生の皆さま、そして学園と共に歩んでまいります。皆さまのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(同窓会幹事 一同)

※上記 記念事業の進捗状況は同窓会ホームページにてお知らせいたしております。

# 歴代同窓会会長・副会長一覧

| | 就任日 | 会長 | 副会長 |
|---|---|---|---|
| 初代 | 1957年 | 平本　昌一 | 井上　佳忠・齊藤　まさ |
| 2代 | 1961年 | 奥脇　弘久 | 井上　佳忠・齊藤　まさ |
| 3代 | 1962年 | 松本　忠 | 徳田　栄一・大川　道代 |
| 4代 | 1967年 | 平本　昌一 | 梅沢　秀郎・黒川　圭子 |
| 5代 | 1972年 | 川合　貞義 | 藤田　紀世志・鈴木　雅美 |
| 6代 | 1975年4月29日 | 藤田　紀世志 | 徳田　栄一・小椋　郊一 |
| 7代 | 1976年4月29日 | 川合　貞義 | 鈴木　圓子・小椋　郊一 |
| | 1982年7月4日 | 〃 | 小椋　郊一・平木　厚子・鈴木　千鶴子・小礒　明 |
| | 1984年7月1日 | 〃 | 向井　孝次・平木　厚子・鈴木　千鶴子・小礒　明 |
| 8代 | 1985年7月7日 | 向井　孝次 | 小椋　郊一・小礒　明・鈴木　千鶴子・飯塚　晴美 |
| | 1986年6月1日 | 〃 | 小椋　郊一・小礒　明・鈴木　千鶴子・榎木　隆子 |
| | 1989年7月2日 | 〃 | 小礒　明・鈴木　千鶴子・榎木　隆子・徳田　栄一 |
| | 1993年7月4日 | 〃 | 小礒　明・徳田　栄一・榎木　隆子・大竹　利枝 |
| | 1995年7月2日 | 〃 | 小礒　明・徳田　栄一・大竹　利枝・北井　京 |
| 9代 | 1998年7月5日 | 小礒　明 | 徳田　栄一・大竹　利枝・北井　京 |
| | 2000年7月2日 | 〃 | 時田　宝文・大沢　則夫・北井　京 |
| | 2002年9月16日 | 〃 | 時田　宝文・大沢　則夫・藤本　順子 |
| | 2004年9月20日 | 〃 | 時田　宝文・大沢　則夫・藤本　順子 |
| 10代 | 2006年9月16日 | 時田　宝文 | 藤本　順子・三宅　洋・佐藤　誠一郎<br>久保　久子・片桐　幸宏 |
| | 2008年7月26日 | 〃 | 藤本　順子・三宅　洋・佐藤　誠一郎<br>久保　久子・片桐　幸宏 |
| | 2010年7月24日 | 〃 | 佐藤　誠一郎・久保　久子・片桐　幸宏<br>澤村　克実・長谷川　哲雄 |
| | 2012年6月2日 | 〃 | 佐藤　誠一郎・久保　久子・片桐　幸宏<br>澤村　克実・長谷川　哲雄 |
| 11代 | 2014年6月7日 | 佐藤　誠一郎 | 澤村　克実・長谷川　哲雄・海藤　嘉郎・田邊　佳織 |
| | 2016年5月28日 | 〃 | 澤村　克実・長谷川　哲雄・海藤　嘉郎<br>木下　浩司・藤田　学 |
| 12代 | 2018年6月2日 | 長谷川　哲雄 | 海藤　嘉郎・田邊　佳織・山本　美浩<br>木下　浩司・藤田　学 |
| 13代 | 2020年5月29日 | 山本　美浩 | 藤本　順子・井原　剛・坂本　尋 |

# 同窓会幹事会組織図

# 御　礼

**桜美林学園　総合企画部広報課　の皆様**
**桜美林学園　ＩＲアーカイブセンター学園史編さん室　の皆様**
**桜美林学園　中学校・高等学校・短期大学・大学・大学院卒業生　の皆様**

桜美林学園創立100周年記念、および桜美林学園同窓会創立65周年記念誌発行に際し、
写真やデータのご提供をいただきました。心より御礼申し上げます。

## 記念誌制作を終えて

桜美林学園創立 100 周年を祝して、同窓会ではこれまでの 65 年にわたる様々な行事や活動をまとめ、記念誌といたしました。卒業生の皆様には、学園の歴史を垣間見ながら学生時代を振り返ることのできる一冊となっております。

この記念誌は、創立者清水安三先生が発刊された『復活の丘』そして『同窓会だより』を基に制作いたしました。編集にあたり、出来るだけ当時の文章を忠実に記載しております。

制作が進むにつれて、安三先生はもちろんのこと、これまで同窓会を担って下さった方々に、改めて感謝の思いを強くいたしました。

同窓会総会＆リ・ユニオンそして全国の支部会、さらに桜美林学園同窓会の特徴的な活動としての「賀寿（傘寿・喜寿・古希・還暦）祝い礼拝」など、ご参加いただいた方々は、当時を懐かしんでいただけるのではないでしょうか。まだ参加されたことのない方には、このような活動を知っていただき、ご参加いただけましたら大変嬉しく思います。

巻末資料として、大きく発展した現在の学園の建物、史跡、懐かしい校歌や校章、創立者清水安三先生語録など、オベリンナーとして知っておきたい資料を掲載しております。学園を訪れる際には、ガイドブックとして楽しんでいただけましたら幸いです。

**桜美林学園創立 100 周年記念**
**同窓会創立 65 周年記念誌プロジェクト委員会**

100 周年特別委員会委員長
井伊　公友　（79 大商）

記念誌プロジェクトリーダー
田邊　佳織　（77 大英）

記念誌プロジェクト委員（五十音順）

石川　和広　（86 大商）
榎木　隆子　（68 短家）
藤本　順子　（78 大英）
伊東　茂治　（83 大経）
霧生　　保　（71 高校）
米山　定克　（74 大経）
植松　智子　（77 大英）
新森百合子　（68 短家）

## 参考図書


| | | |
|---|---|---|
| 1. 聖書 | | |
| 2.『石ころの生涯』改定増補第 4 版 | 清水安三　著 / 清水畏三　編 | 1988 年 2 月 29 日発行 |
| 3.『桜美林物語』第四版 | 清水安三　著 | 2010 年 3 月 6 日発行 |
| 4.『復活の丘』復刻版　第一巻 | 桜美林学園同窓会 | 1991 年 9 月 1 日発行 |
| 5.『復活の丘』復刻版　第二巻 | 桜美林学園同窓会 | 1996 年 7 月 1 日発行 |
| 6.『同窓会だより』151 号〜 205 号 | 桜美林学園同窓会 | 1993 年 10 月 15 日〜<br>2022 年 3 月 25 日発行 |
| 7.『復活の丘』に見る桜美林学園の歩み | 60 周年記念事業実行委員会 | 2006 年 5 月 25 日発行 |
| 8.『せん方尽くるとも』 | 桜美林学園同窓会 | 2006 年 5 月 29 日発行 |
| 9.『東支那海を越えて』 | 小林　茂　著 | 2011 年 6 月 30 日発行 |
| 10.『OBIRINER　No. 40」 | 桜美林学園広報室 | 2017 年 3 月 24 日発行 |
| 11.『 J.F.Oberlin Tokyo　No. 1』 | 桜美林学園総合企画部広報課 | 2019 年 3 月発行 |



桜美林学園創立100周年記念
桜美林学園同窓会創立65周年記念誌

# 桜美林学園同窓会
# 65年の歩み

2022年7月1日 初版第 1 刷　発行

発行者　桜美林学園同窓会
〒194-0294　東京都町田市常盤町3758
TEL. 042-797-1632

企画・編集　桜美林学園同窓会記念誌プロジェクト
制作・印刷　コムネッツ株式会社



不許複製・禁転載
非売品

ANNIVERSARY 100th
J. F. OBERLIN 2021

ANNIVERSARY 100th
J. F. OBERLIN 2021